

天理市立井戸堂・柳本小学校 トイレ改修工事

天理市立井戸堂・柳本小学校トイレ改修工事

[illegible][illegible]

天理市立井戸堂・柳本小学校トイレ改修工事特記仕様書

I. 工事概要

1. 工事場所 柳本小学校 奈良県天理市柳本町1213

2. 建物概要 小学校 RC造 3階建

3. 工事種目 トイレ改修工事

Ⅱ. 建築改修工事仕様

1. 共通仕様
図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事項）平成31年版」（以下「改修標準仕様書」という。）による。ただし、改修標準仕様書に規定されていない項目以外は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事項）平成31年版」（以下「標準仕様書」という。）による。
2. 特記仕様
(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
○印のつかなかった場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。
- (2) 特記事項は、・印の付いたものを適用する。
- (3) 特記事項に記載の〔 〕内表示記号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
〔 〕内表示記号は標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

	項 目	特 記 事 項													
改修工事一般事項	①適用基準等	○建築工事標準詳細図 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(平成31年度版) ○建築改修工事監理指針上・下 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(平成31年版) ○建築工事監理指針上・下 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和元年版) ○建築物解体工事共通仕様書 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(平成31年版) ・県土マネジメント部建築工事監督及び検査必携 奈良県県土マネジメント部 ・建築及び設備工事監督・検査事務処理様式集 奈良県県土マネジメント部													
	②工事実績情報の登録	※適用する [1.4]													
	③発生材の処理等	○県内処分場にて処理する。(安定5品目) 半径() km、以内 (安定5品目:がれき類、ｽﾗｸﾞｽず及び陶磁器ｽず、廃ﾌﾗｽﾄﾝ粉、金属ｽず類、ﾌﾟﾛﾂ) [1.12] ・引渡しを要するもの() ・特別管理産業廃棄物() 処理方法() ・現場において再利用を図るもの() ○再生資源化を図るもの(県内処理) ○コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ・建設発生木材 ○再生資源化を図るもの ○金属類 ・小型二次電池 ・蛍光ランプ、HIDランプ ・硬質ポリ塩化ビニル管、継手 ・ガラス ※再生資源利用【促進】計画(実施)書提出する。 (建設副産物対策近畿地方連絡協議会) ※産業廃棄物の処理 関係法令に従い構外排出適切処理とし、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を提出する。 なお、県内の最終処分場へ搬入することとなる場合は、奈良県産業廃棄物税相当額を支払うこと。 処理に注意を要する建設廃棄物 ・COA処理木材 ・ひ素、カドミウム含有石膏ボード													
	④電気保安技術者	※適用する [1.3]													
	⑤施工条件	※現場説明書による [1.5]													
	⑥建築材料等	本工事に使用する材料等のうち、特定のものが特記された場合には、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。但し、同等のものとする場合は、監督員の承諾を受ける。 なお、「評価名簿による」と特記されたものについては、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿(最新版)」による。 ※ホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆の規格に適合するものを使用する。 ※VOC発生量の少ないものを使用する。 ※ステアアルデヒド及びスチレンが発散しないか、発散が少ないものを使用する。 ※トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ないものを使用する。													
	⑦特別な材料の工法	改修標準仕様書、標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定する工法とする。													
	8 施工調査	施工数量調査 調査範囲 ・図示 [1.5.2] 調査方法 ・図示 [1.5.2] 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 [1.5.3] ・図示													
	⑨技能士	[1.6]													
		<table><tr><th>技能検定の職種</th><th>作業の種別</th></tr><tr><td>防水改修工事(○防水施工・左官・建築板金)</td><td>・全て・</td></tr><tr><td>外装改修工事(・左官・ﾁｬｰｷﾞﾘ・塗装 ・樹脂接着剤注入施工)</td><td>・全て・</td></tr><tr><td>建具改修工事(○サッシ施工・ガラス施工)</td><td>○全て・</td></tr><tr><td>内装改修工事(○内装仕上げ施工(床・天井仕上げ等) ・表装 左官・建築大工 ○内装仕上げ施工(鋼製下地) ・ﾀｲﾙ張り)</td><td>○全て・</td></tr><tr><td>塗装改修工事(・塗装)</td><td>・全て・</td></tr><tr><td>耐震改修工事(・鉄筋・型枠・とび)</td><td>・全て・</td></tr></table>	技能検定の職種	作業の種別	防水改修工事(○防水施工・左官・建築板金)	・全て・	外装改修工事(・左官・ﾁｬｰｷﾞﾘ・塗装 ・樹脂接着剤注入施工)	・全て・	建具改修工事(○サッシ施工・ガラス施工)	○全て・	内装改修工事(○内装仕上げ施工(床・天井仕上げ等) ・表装 左官・建築大工 ○内装仕上げ施工(鋼製下地) ・ﾀｲﾙ張り)	○全て・	塗装改修工事(・塗装)	・全て・	耐震改修工事(・鉄筋・型枠・とび)
技能検定の職種	作業の種別														
防水改修工事(○防水施工・左官・建築板金)	・全て・														
外装改修工事(・左官・ﾁｬｰｷﾞﾘ・塗装 ・樹脂接着剤注入施工)	・全て・														
建具改修工事(○サッシ施工・ガラス施工)	○全て・														
内装改修工事(○内装仕上げ施工(床・天井仕上げ等) ・表装 左官・建築大工 ○内装仕上げ施工(鋼製下地) ・ﾀｲﾙ張り)	○全て・														
塗装改修工事(・塗装)	・全て・														
耐震改修工事(・鉄筋・型枠・とび)	・全て・														

16 化学物質の濃度測定 ※室内空気中の化学物質については、「学校環境衛生の基準」に基づく濃度以下にすること。 [1.6.9]

環境測定の方法は次のとおりとする。（室温25℃に換算すること。）

ホルムアルデヒド：0.08 ppm	エチルベンゼン：0.08 ppm
トルエン：0.07 ppm	キシレン：0.20 ppm
スチレン：0.05 ppm	パラジクロロベンゼン：0.04 ppm

※施工完了時に室内空気中の濃度測定を行い報告する。
・着工前及び施工完了時に室内空気中の濃度測定を行い報告する。

測定対象室
測定箇所数

17 中間技術検査

・行う [1.7.2]

- ・基礎・地中梁配筋完了時
- ・屋上床版配筋完了時
- ・鉄骨建方完了時
- ・天井下地工事完了時
- ・中間階床版配筋完了時
- ・その他見え隠れとなる重要部分の工事完了時

・行わない

18 完成時の提出図書 [1.8.1][1.8.2]

- 完成図（施工図、施工計画書を除く）
- 完成図CADデータ（C/D-R等）
- 施工図、施工計画書
- 安全に関する資料（提出部数 1部 部）
- 工事写真、各種承諾図、保証書等

完成図の作成方法、原図のサイズ [1.8.3][1.8.4]

※諸員者に於いて設計図に基づき全ての図面を完成図として作成（設計図第2原図訂正可）し、複製製本図面 2部提出する。

※完成図は、原則として黒文字製本とし、表紙の書き方は現場監督員の指示とする。
・改訂標準仕様書表1.8.1による

19 工事写真・完成写真 [1.2.4]

※工事写真 奈良県土木マネジメント部監修 工事写真の撮影マニュアルによる。

区分	分類・規格	撮影枚数	部数	備考
※着工前	○作業基準による	○作成基準による	1	
※工事中	同上	同上		
	・カラーサービス判	・0・6・9		
	○カラーキャビネ判	監督員指示による	2	
※完成時	・カラーズライド	・0・10・20		
	・カラーパナール半切	・0・1・2		
	・白加色キャビネ判	・1		

（ただし、上記写真は、アルバム製本とする。）

・完成写真として、全紙パネルを 部提出する。
・完成写真撮影業者（完成写真撮影場所は監督員の指示による）
・監督員の承諾する撮影業者。

20 設備工事との取合い

施工範囲

- 図示した貫通孔、開口部の型枠及びそれらの補強
- 図示した壁、天井仕上材、下地材の切り込み及び下地材の補強
- ・駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ
- ・自動閉鎖装置取付の箇所の切り込み及び補強

施工図

設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して監督員の承諾を受ける。

図示・

21 設計 G L

22 環境への配慮

ホルムアルデヒドの放散量が「規制対象外」に該当する材料とは以下のものとする。

- 1) JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 [1.4.1]
- 2) 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品
- 3) 下記表記のあるJAS規格品
 - a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用
 - b. 接着剤等不使用
 - c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用
 - d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用
 - e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用
 - f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用

ホルムアルデヒドの放散量が「第三種」に該当する材料とは以下のものとする。

- 1) JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品
- 2) 建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品
- 3) JISのEa規格品
- 4) JISのE規格品

アスベスト含有建材

本工事に使用する材料については、標準仕様書1.3.11(b)に準じて、JIS Z 7253による安全データシート(SDS)等により確認を行い、アスベスト含有建材を使用しない。

23 足場その他 [2.1.1]

※きつた、足場板等

外部足場

種類 ※施工箇所面に枠組足場を設ける。 [2.2.1]

- ・施工箇所面にくさび型足場を設ける。
- ・施工箇所面に単管足場を設ける。
- ・仮設ゴンドラを使用する。
- ・移動式足場を使用する。

※足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について（厚生労働省 平成21年4月）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

防護シートによる養生 ・養生シート（防災1類） ・防音シート [2.2.1]

・朝顔養生

材料、撤去材等の運搬方法 [2.2.1][2.2.2]

- ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種

24 既存部分の養生 [2.4.1]

養生方法

※ビニルシート、パーベニア養生板等による

既存ブラインド、カーテン等の養生方法及び保管場所等 [2.4.1]

固定された備品、机、椅子等の移動

・行う（図示）

既存部分における既存家具等の養生 [2.4.1]

※ビニルシート等による

3 監督職員事務所

仮設間仕切りの種別
種別 材質
※C種 シート張り
○B種 ・合板張り(厚さ ※9.0)
○A種 ○せうこボード張り(厚さ ※9.5)
仮設屏の種別
※木製屏、合板張り程度
・設ける
位置 ・既存建物内の一部を使用する
・構内に新設する
規模 ・10㎡程度 ・20㎡程度 ・30㎡程度
仕上の程度
部 位 仕 様
床 ・合板張り又はビニル床シート張り
内壁・天井 ・合板張り又は石膏ボード張り+塗装
屋 根 ・塗装溶融塗料をメッキ鋼板張り又は鉄板張り+塗装
※設ける(種類及び数量は、監督員の指示による) ・設けない

1 降雨等に対する養生方法(とけ共)

※改修標準仕様書3.1.3(a)による

2 改修用ドレン

・設ける(P0AS, P0ASI, P0D, P0DI, P0S, P0SI, P0X工法の場合)

3 脱気装置

・設ける(M3D, P0D, P0DI, M3DI, M4DI, M3AS, P0AS, M3ASI, M4ASI, P0ASI, P0S, P0SI, S4S, S4SI, S3S, S3SI, M4S, M4SI, P0X, L4X工法の場合)
種類及び設置数量 ※ルーフング類製造所の指定するもの

4 アスファルト防水

防水改修工法の種類
新根防水層の種別
屋根保護防水
・P1B工法
・P1BI工法・T1BI工法
・P2A1工法
・P2A工法
屋根露出防水
・M4C工法
・M3D工法 ・P0D工法
屋根露出防水
・P0DI工法・M3DI工法
・M4DI工法
屋内防水
・P1E工法 ・P2E工法
部外粘着層付改質アスファルトシート及び改質アスファルトシートの種別及び厚さ
種別 厚さ(mm)
・部分粘着層付改質アスファルトシート
・改質アスファルトシート
押さえる金物の材質、形状寸法
※アルミニウム製、L=30×15×2.0程度
断熱材(屋根保護防水断熱工法)
材質 ※JIS A 9521による押出法製ポリウレタン断熱材2種(1)及び(2)
又はJIS A 9511の4種押出法製ポリウレタン断熱材の保温板2種(1)及び(2)
厚さ(mm)
断熱材(屋根露出防水断熱工法)
材質 ※JIS A 9521による硬質ポリウレタン断熱材2種(1)及び(2)
の保温板2種(1)及び(2)を2号で選定係数を除く規格に適合するもの又はJIS A 9511による硬質ポリウレタン断熱材の保温板2種(1)及び(2)を2号で選定係数を除く規格に適合するもの
厚さ(mm)
断熱シートに使用する材料
※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上
(屋根保護防水密着工法及び屋根保護防水断熱工法の場合)
・フラットヤーンクロス(70g/㎡程度)
(屋根保護防水密着工法及び屋根保護防水断熱工法の場合)
保護コンクリート
厚さ ※改修標準仕様書3.3.5(d)(2)による
設計基準強度(N/㎡) ※18
スランプ(cm) ※15又は18
立上り部の保護の方法
・乾式保護材
・れんが押え(れんがの種類 ※JIS R 1250)
・モルタル押え(屋内等)
・コンクリート押え
既存下地の修繕箇所
既存露出防水層表面の仕上り塗装(M4AS, M4ASI, M4C, M4DI工法の場合)
・除去する
P1E工法、P2E工法の保護層
・設ける
M4C工法、M3D工法、P0D工法、P0DI工法、M3DI工法、M4DI工法の仕上り塗料塗り
・有り 種類
使用量
5 改質アスファルトシート防水
防水層の種別
防水改修工法の種類 防水層の種別 備考
屋根露出防水
密着工法
・M4AS工法
・AS-T1 ・AS-J2
・AS-T2
屋根露出防水
・M3AS工法
・AS-T3 ・AS-J1
・P0AS工法
・AS-T4 ・AS-J3
屋根露出防水
・M3ASI工法
・ASI-T1
・M4ASI工法
・ASI-J1
・P0ASI工法

	改質アスファルトシート（JIS A 6013） 種類 ※改修標準仕様書3.4.2(a)による 厚さ (mm) 断熱材（屋根露出防水絶縁断熱工法） 材質 ※JIS A 9521による硬質ウレタン断熱材2種1号若しくは2号で透湿係数を除く規格に適合するもの又はJIS A 9511によるA種硬質ウレタン保温材の保温板2種1号若しくは2号で透湿係数を除く規格に適合するもの 厚さ (mm) 防湿層（屋根露出防水絶縁断熱工法） AS-T3工法、AS-T4工法、AS-J1工法、AS-J3工法、AS-I-T1工法、AS-I-J1工法の仕上り塗料塗り ・有り 種類（ ） 使用量（ ）	[3.4.2] [3.4.2] [3.4.3] [3.4.3] [3.4.3]
6 合成高分子系ルーフィングシート防水	防水層の種類 [表3.1.1] [3.5.3] [表3.5.1～表3.5.3] 防水改修工法の種類 新規防水層の種類 施工箇所 厚さ(mm) ・PUS工法 ・S-F1 ・S-M1 ・S4S工法 ・S-F2 ・S-M2 ・ S-M3 ・ P0SI工法 ・SI-F1 ・SI-M1 ・S4SI工法 ・SI-F2 ・SI-M2 ・S3S工法 ・S-F1 ・S-F2 ・S3SI工法 ・SI-F1 ・SI-F2 ・M4S工法 ・S-M1 ・S-M2 ・M4SI工法 ・SI-M1 ・SI-M2 ・PI1S工法 ・S-C1	・1.2 ・1.5 ・2.0 ・
	P0S工法及びP0SI工法（機械的固定工法）の既存保護防水層を撤去し、防水層を非撤去とした立ち上がり部等の補修、措置 ※改修標準仕様書3.2.6(d) [3.(vi)]とする 断熱材（SI工法） 種類 ※改修標準仕様書3.5.2(c)による 厚さ 固定金具の材質及び形状 ※厚さ0.4mm以上で防錆処理した銅板、ステンレス鋼板及びそれらの片面又は両面に樹脂を積層加工した銅板 仕上げ塗料塗り（S-C1工法を除く） ・有り 種類（ ） 使用量（ ） 絶縁用シートの材質 ※発泡ポリエチレンシート ルーフィングシート製造所仕様による一般部のルーフィングシートの張付け 機械的固定工法（建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法） ・適用する 保護コンクリート（屋内防水で平場に使用する場合） 厚さ	[3.4.2] [3.4.2] [3.5.2] [3.5.2] [3.5.3] [3.5.2] [3.5.4] [3.5.4]
7 塗膜防水	防水改修工法の種類 新規防水層の種類 備考 ・POX工法 ※X-1 ・X-2 ・L4X工法 ・X-1 ※X-2 ・PIY工法 ※Y-2 ・P2Y工法 既存塗膜防水層表面の仕上げ塗装（L4X工法の場合） ・除去する POX工法、L4X工法の仕上げ塗料塗り ・有り 種類（ ） 使用量（ ）	[表3.1.1][3.6.3][表3.6.1][表3.6.2] [3.6.3] [3.6.3] [3.6.3] [3.6.3] [3.6.3]
8 シーリング	シーリング改修工法の種類 [3.1.4][表3.1.2] ・シーリング充填工法 ・シーリング再充填工法 ・拡幅シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法 シーリング材の種類、施工箇所 [3.1.4][3.1.2][4.2.2][表3.1.1] ※被接着体に応じたものとし、改修標準仕様書表3.7.1を標準とする ・種類（ ） 施工箇所（ ） シーリング材の目地寸法 [3.1.3] 箇所 幅(mm) 深さ(mm) ウレタン打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※20以上 ※10以上 ガラス回りの目地 ※5以上 ※5以上 その他の場合 ※10以上 ※10以上 ブリッジ工法 [3.1.7] ボンドブレイカー張り ・適用する エッジング材張り ・適用する 接着性試験 [3.1.8] ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験（部位） といその他の材質等 ・図示（図面番号） [3.8.2][表3.8.1] 鋼管製としての防露 [3.8.2][表3.8.4] ※行う（施工箇所 ※改修標準仕様書表3.8.4による） 縦どいの受け金物の取付け [3.8.3] ルーフトレンの取付け [3.8.3] ※水はけよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタル充填 （モルタルの割合は、容積比でセメント１：砂３）	[3.1.4][表3.1.2] [3.1.4][3.1.2][4.2.2][表3.1.1] [3.1.3] [3.1.3] [3.1.3] [3.1.3] [3.1.7] [3.1.8] [3.8.2][表3.8.1] [3.8.2][表3.8.4] [3.8.3] [3.8.3] [3.8.3]

					<div style="text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">日 誠 建 設 株 式 会 社</div>	承 認	照 合	製 図	縮尺	工事名称 天理市立井戸堂・柳本小学校トイレ改修工事	

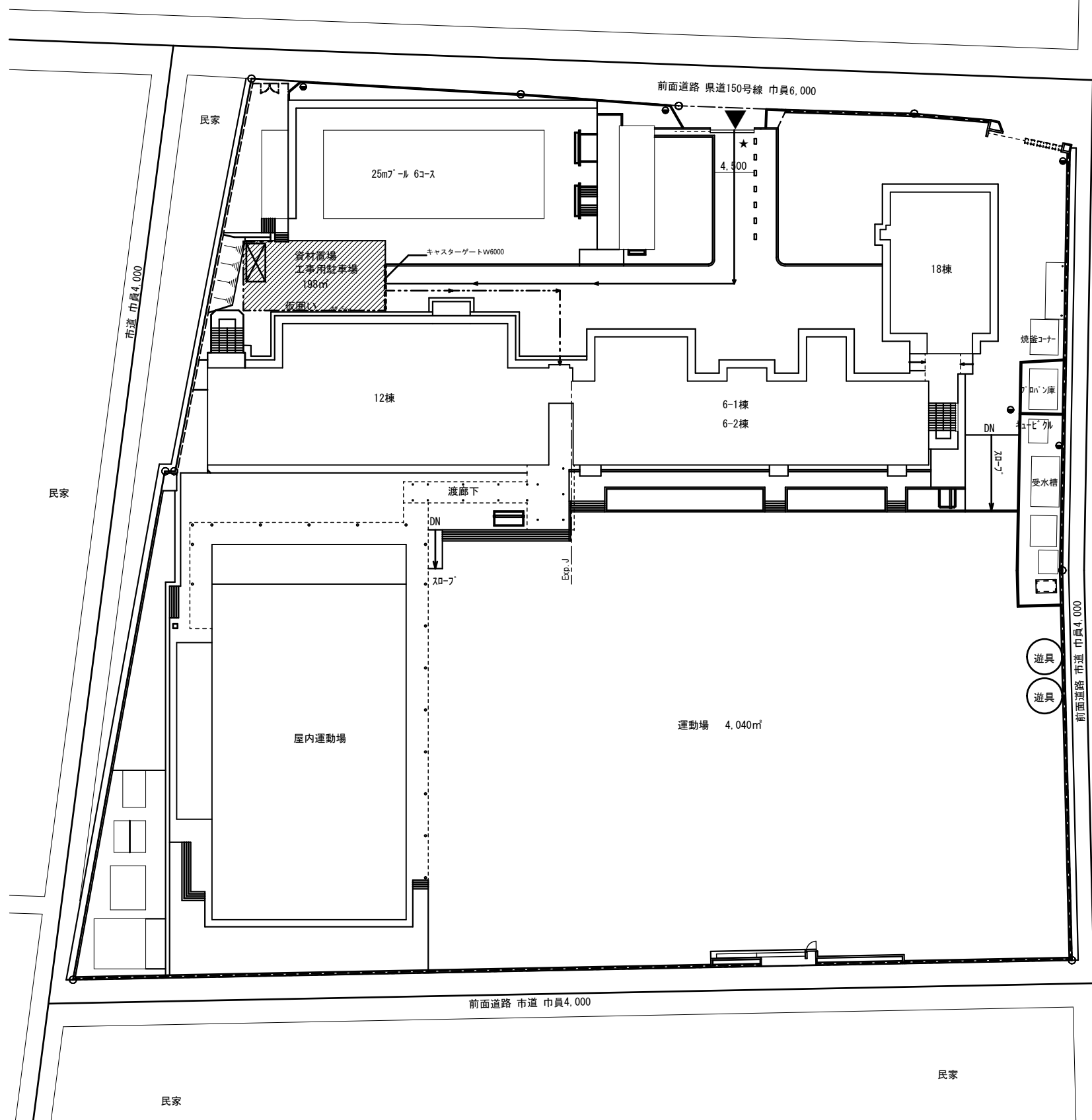
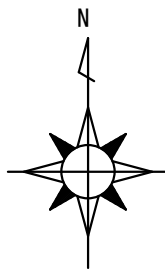
									設計年月日		
									図面名称	天理市立柳本小学校 特記仕様書 Ⅰ	No. A-01

[illegible]

[illegible]

[illegible]

天理市立柳本小学校



凡 例 (仮設)

- 作業員ルート
- 【指定仮設】
カスターゲートH1800 W6000
- 【指定仮設】
仮囲い 防音シート張り H2000
資材置場 工事用駐車場
- 【指定仮設】
交通誘導員 (35人工)

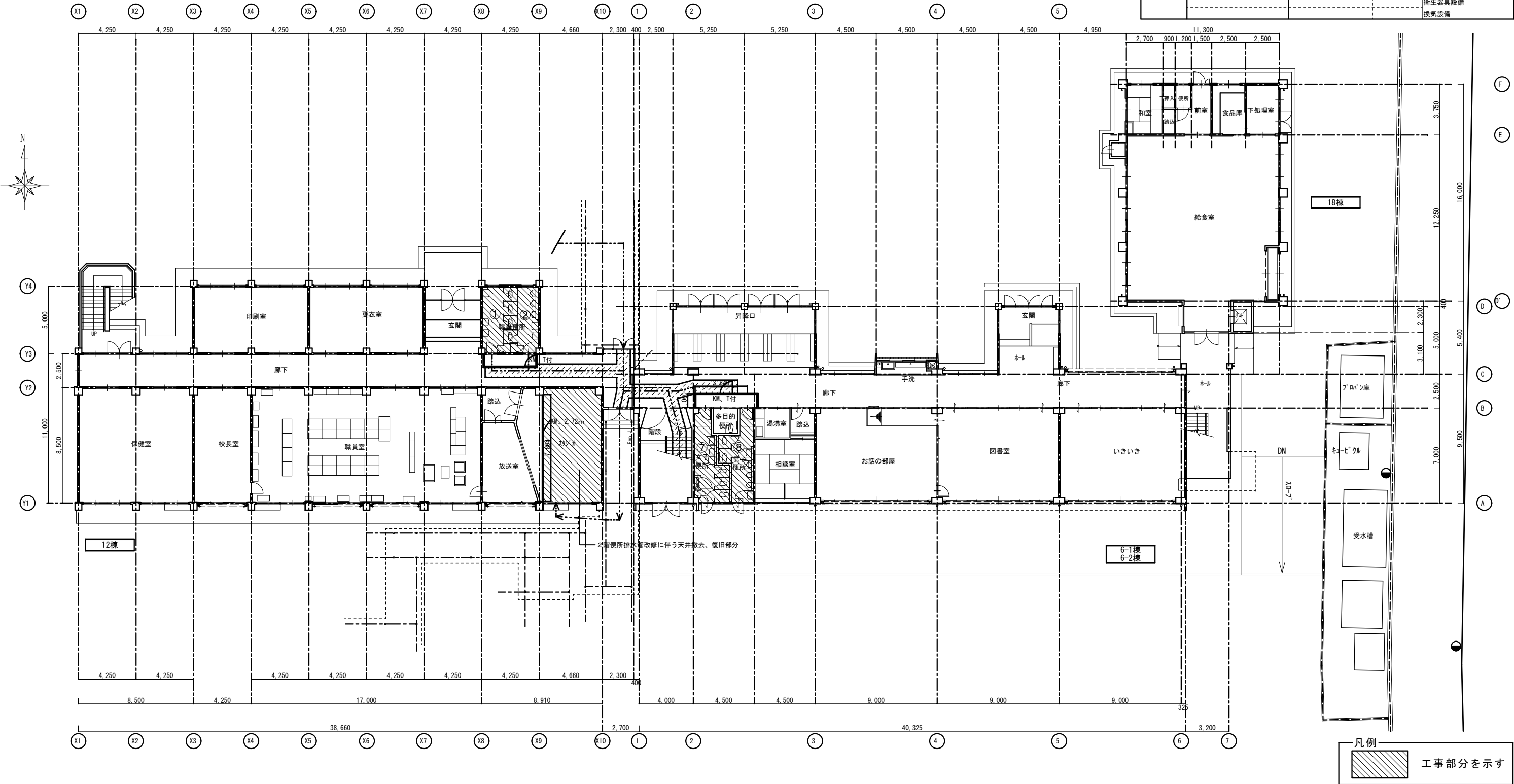
日 誠 建 設 株 式 会 社

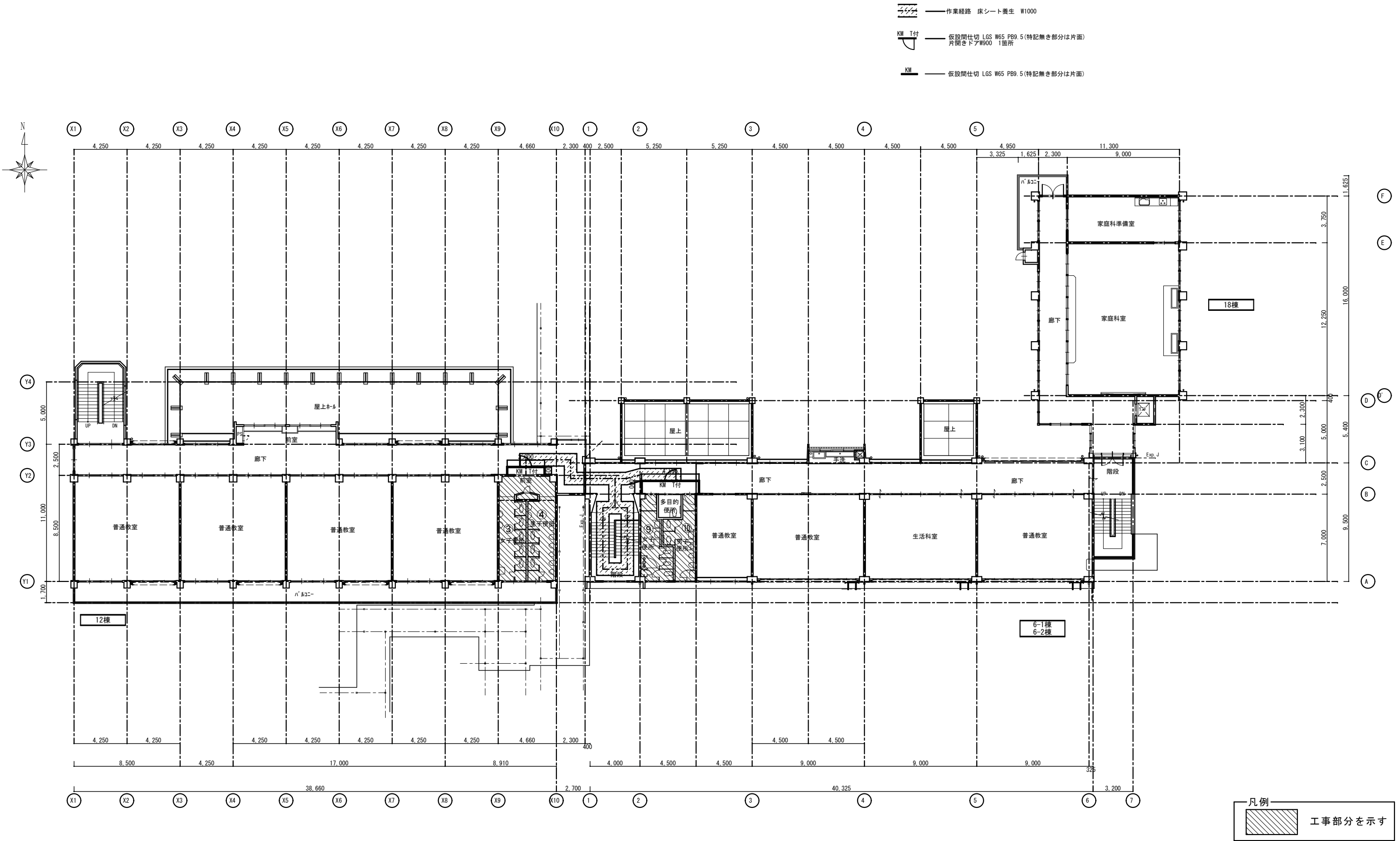
承認	照合	製図	縮尺 A2 1:400	工事名称 天理市立井戸堂・柳本小学校トイレ改修工事
			設計年月日	天理市立柳本小学校 配置図兼仮設計画図
				No. A-07

天理市立柳本小学校																
内部仕上表																
棟	階	室名		床		巾木		壁		天井			廻縁	天井高	備考	
				仕上	下地	仕上	高さ	仕上	下地	仕上	下地					
12棟	1階	女子職員便所	現況	〈撤去〉モザイクタイル貼り	〈撤去〉タイル下地モルタル t40			100角タイル貼り	モルタル下地 t30	〈撤去〉▲ﾌﾙｷﾝｸﾞﾙﾙｰﾄﾞ 目透し張り	〈撤去〉LGS		2.500	〈撤去〉ライニング、CB100下地 人造石天板 t25		
			改修	抗菌塩ビシート張りt2.0 溶接(多湿仕様) 踏込：ノンスリップシート張りt2.0 溶接	レベリング t10 土間コンクリート t120_D13縦横@150 ポリスチレンフォーム t20 防湿シート t0.15 x2	ソフト巾木 アルミ金物	100	化粧ケイカル板 t6.0 (NM-4339) 参考品番	シーｼﾝｸﾞ PB t12.5 LGS下地 (ﾗｲﾆﾝｸﾞ 壁耐水ﾌｻﾝ合板 t12)	石膏化粧ボード t9.5	LGS	塩ビ	2.400	ライニング、LGS65下地 ポストフォーム天板 t20 衛生設備機器 トイレブース		
		男子職員便所	現況	〈撤去〉モザイクタイル貼り	〈撤去〉タイル下地モルタル t40			100角タイル貼り	モルタル下地 t30	〈撤去〉▲ﾌﾙｷﾝｸﾞﾙﾙｰﾄﾞ 目透し張り	〈撤去〉LGS		2.500	〈撤去〉ライニング、CB100下地 人造石天板 t25		
			改修	抗菌塩ビシート張りt2.0 溶接(多湿仕様) 小便器部分汚垂石	レベリング t10 土間コンクリート t120_D13縦横@150 ポリスチレンフォーム t20 防湿シート t0.15 x2	ソフト巾木 アルミ金物		化粧ケイカル板 t6.0 (NM-4339) 参考品番	シーｼﾝｸﾞ PB t12.5 LGS下地 (ﾗｲﾆﾝｸﾞ 壁耐水ﾌｻﾝ合板 t12)	石膏化粧ボード t9.5	LGS	塩ビ	2.400	ライニング、LGS65下地 ポストフォーム天板 t20 衛生設備機器 トイレブース		
	2階 3階	男子便所 2階3階共通	現況	モザイクタイル貼り	タイル下地モルタル t40 防水押えコンクリート			100角タイル貼り	モルタル下地 t30	〈撤去〉▲ﾌﾙｷﾝｸﾞﾙﾙｰﾄﾞ 目透し張り	〈撤去〉LGS		2.500	〈撤去〉ライニング、CB100下地 人造石天板 t25		
			改修	抗菌塩ビシート張りt2.0 溶接(多湿仕様) 小便器部分汚垂石	ラワンベニア t=12 ネダマット敷	ソフト巾木 アルミ金物	100	化粧ケイカル板 t6.0 (NM-4339) 参考品番	シーｼﾝｸﾞ PB t12.5 LGS下地 (ﾗｲﾆﾝｸﾞ 壁耐水ﾌｻﾝ合板 t12)	石膏化粧ボード t9.5	LGS	塩ビ	2.400	ライニング、LGS65下地 ポストフォーム天板 t20 衛生設備機器 トイレブース		
		女子便所 2階3階共通	現況	モザイクタイル貼り	タイル下地モルタル t40 防水押えコンクリート			100角タイル貼り	モルタル下地 t30	〈撤去〉▲ﾌﾙｷﾝｸﾞﾙﾙｰﾄﾞ 目透し張り	〈撤去〉LGS		2.500	〈撤去〉ライニング、CB100下地 人造石天板 t25		
			改修	抗菌塩ビシート張りt2.0 溶接(多湿仕様)	ラワンベニア t=12 ネダマット敷	ソフト巾木 アルミ金物	100	化粧ケイカル板 t6.0 (NM-4339) 参考品番	シーｼﾝｸﾞ PB t12.5 LGS下地 (ﾗｲﾆﾝｸﾞ 壁耐水ﾌｻﾝ合板 t12)	石膏化粧ボード t9.5	LGS	塩ビ	2.400	ライニング、LGS65下地 ポストフォーム天板 t20 衛生設備機器 トイレブース		
		前室 (男子便所、女子便所共通) (2階3階共通)	現況	〈撤去〉長尺塩ビシート張り t2.0	下地モルタル t40	〈撤去〉ソフト巾木	100	E P	モルタル下地 t30	〈撤去〉▲ｷﾞｬﾙﾎﾞｰﾄﾞ t6.0(NM-8578) EP-G	〈撤去〉LGS		2.400			
			改修	抗菌塩ビシート張りt2.0 溶接(多湿仕様)		ソフト巾木	100	E P－G P S 壁：化粧ケイカル板 t6.0	モルタル下地 t30 P S 壁：シーｼﾝｸﾞ PBt12.5 LGS下地	石膏化粧ボード t9.5	LGS	塩ビ	2.400			
		6-1棟 6-2棟	1階	男子便所	現況	〈撤去〉モザイクタイル貼り	〈撤去〉タイル下地モルタル t40			100角タイル貼り	モルタル下地 t30	〈撤去〉▲ﾌﾙｷﾝｸﾞﾙﾙｰﾄﾞ 目透し張り	〈撤去〉LGS		2.500	〈撤去〉ライニング、CB100下地 人造石天板 t25
					改修	〈撤去〉踏込：塩ビシート 抗菌塩ビシート張りt2.0 溶接(多湿仕様) 小便器部分汚垂石	〈撤去〉土間コンクリート レベリング t20 土間コンクリート t120_D13縦横@150 ポリスチレンフォーム t20 防湿シート t0.15 x2	ソフト巾木 アルミ金物	100	化粧ケイカル板 t6.0 (NM-4339) 参考品番	シーｼﾝｸﾞ PB t12.5 LGS下地 (ﾗｲﾆﾝｸﾞ 壁耐水ﾌｻﾝ合板 t12)	石膏化粧ボード t9.5	LGS	塩ビ	2.400	〈撤去〉衛生設備機器 トイレブース ライニング、LGS65下地 ポストフォーム天板 t20 衛生設備機器 トイレブース
女子便所	現況			〈撤去〉モザイクタイル貼り 〈撤去〉踏込：塩ビシート	〈撤去〉タイル下地モルタル t40 〈撤去〉土間コンクリート			100角タイル貼り	モルタル下地 t30	〈撤去〉▲ﾌﾙｷﾝｸﾞﾙﾙｰﾄﾞ 目透し張り	〈撤去〉LGS		2.500	〈撤去〉ライニング、CB100下地 人造石天板 t25		
	改修			抗菌塩ビシート張りt2.0 溶接(多湿仕様)	レベリング t20 土間コンクリート t120_D13縦横@150 ポリスチレンフォーム t20 防湿シート t0.15 x2	ソフト巾木 アルミ金物		化粧ケイカル板 t6.0 (NM-4339) 参考品番	シーｼﾝｸﾞ PB t12.5 LGS下地 (ﾗｲﾆﾝｸﾞ 壁耐水ﾌｻﾝ合板 t12)	石膏化粧ボード t9.5	LGS	塩ビ	2.400	ライニング、LGS65下地 ポストフォーム天板 t20 衛生設備機器 トイレブース		
2階 3階	男子便所 2階3階共通		現況	〈撤去〉モザイクタイル貼り	〈撤去〉タイル下地モルタル t40 防水押えコンクリート			100角タイル貼り	モルタル下地 t30	〈撤去〉▲ﾌﾙｷﾝｸﾞﾙﾙｰﾄﾞ 目透し張り	〈撤去〉LGS		2.500	〈撤去〉ライニング、CB100下地 人造石天板 t25		
			改修	抗菌塩ビシート張りt2.0 溶接(多湿仕様) 小便器部分汚垂石	モルタル金鍍押え	ソフト巾木 アルミ金物	100	化粧ケイカル板 t6.0 (NM-4339) 参考品番	シーｼﾝｸﾞ PB t12.5 LGS下地 (ﾗｲﾆﾝｸﾞ 壁耐水ﾌｻﾝ合板 t12)	石膏化粧ボード t9.5	LGS	塩ビ	2.400	ライニング、LGS65下地 ポストフォーム天板 t20 衛生設備機器 トイレブース		
	女子便所 2階3階共通		現況	〈撤去〉モザイクタイル貼り	〈撤去〉タイル下地モルタル t40 防水押えコンクリート			100角タイル貼り	モルタル下地 t30	〈撤去〉▲ﾌﾙｷﾝｸﾞﾙﾙｰﾄﾞ 目透し張り	〈撤去〉LGS		2.500	〈撤去〉ライニング、CB100下地 人造石天板 t25		
			改修	抗菌塩ビシート張りt2.0 溶接(多湿仕様)	モルタル金鍍押え	ソフト巾木 アルミ金物	100	化粧ケイカル板 t6.0 (NM-4339) 参考品番	シーｼﾝｸﾞ PB t12.5 LGS下地 (ﾗｲﾆﾝｸﾞ 壁耐水ﾌｻﾝ合板 t12)	石膏化粧ボード t9.5	LGS	塩ビ	2.400	ライニング、LGS65下地 ポストフォーム天板 t20 衛生設備機器 トイレブース		
使用材料（材料記号）※内装仕上げの部分については、全てシックハウス規制の対象外（F☆☆☆☆）の建築材料を使用する。																
◎ 使用材料を示す。																
断熱材																
・ S O P	合成樹脂調合ペイント	E P－T	合成樹脂エマルションペイント模様塗料塗り	P B	石膏ボード	F K－P	吸音穴あき無石綿セメントけい酸カルシウム板	L G S	軽量鉄骨下地	床	A種押出法ポリスチレンフォーム保温板3種 t20					
C L	クリアラッカー塗り	E P	合成樹脂エマルションペイント塗り	耐水 P B	シーリング石膏ボード	P F	ポリスチレンフォーム保温板	C o n	コンクリート							
F E	フタル酸樹脂エナメル	U C	ウレタン樹脂ワニス塗り	化粧 P B	化粧石膏ボード	M B	メラミン樹脂化粧板	M o	モルタル	壁						
N A D	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	O S	オイルステイン塗り	強化 P B	強化石膏ボード			S t	鉄							
A E	アクリル樹脂エナメル塗り	O S V	オイルステイン・ワニス（ウレタン樹脂）塗り	GW	グラスウール	M S－2	変成シリコーン系シーリング	S U S	ステンレス	天井						
②－U E	2液型ポリウレタンエナメル塗り	D	アクリル樹脂焼付塗装			S R－1、2	シリコーン系シーリング	W	木							
②－F U E	常温乾燥形フッ素樹脂エナメル塗り	S P	内装薄塗材 E	V	ソフト巾木	P S－2	ポリサルファイド系シーリング	C B	コンクリートブロック	S G P						
E P－G	つや有り合成樹脂エマルションペイント塗り	D P	耐候性塗料塗り	T C	タイルカーペット	P U－2	ポリウレタン系シーリング	V P	硬質塩化ビニル管（厚肉管）		配管用炭素鋼鋼管					



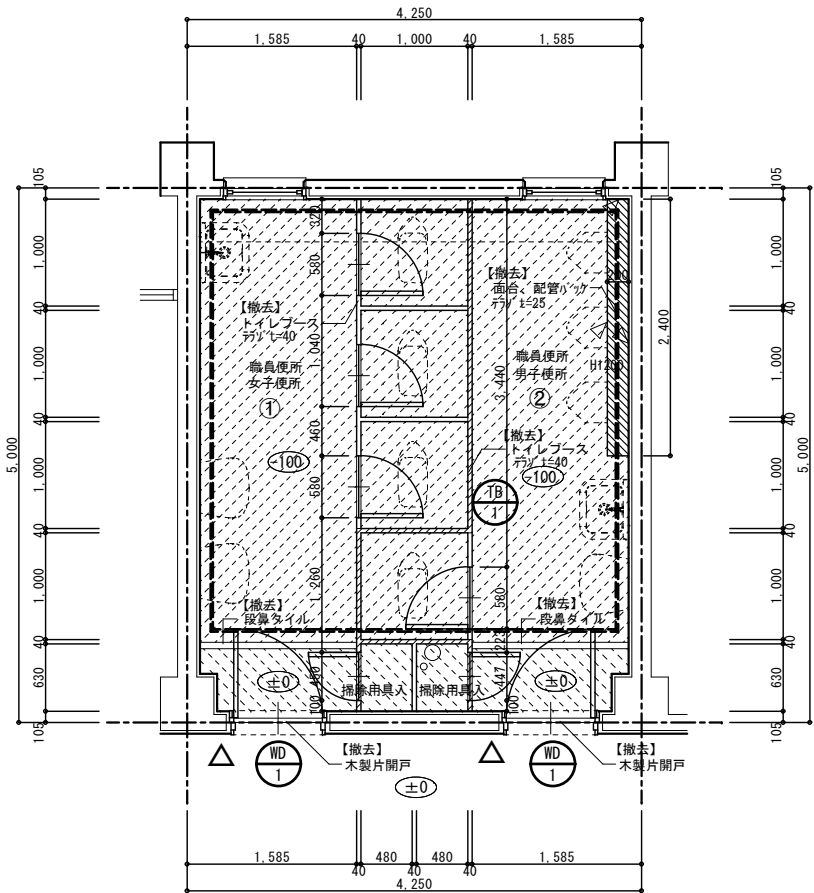
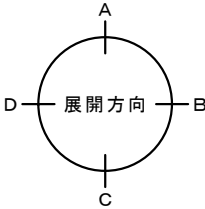
管理棟・教室棟 12棟	場 所		内装改修
	3階建	1F 便所	
		2F 便所	
	便所6	3F 便所	
柳本小学校	場 所		内装改修
	教室棟 6-1棟 6-2棟		
	3階建	1F 便所	
		2F 便所	
	便所6	3F 便所	







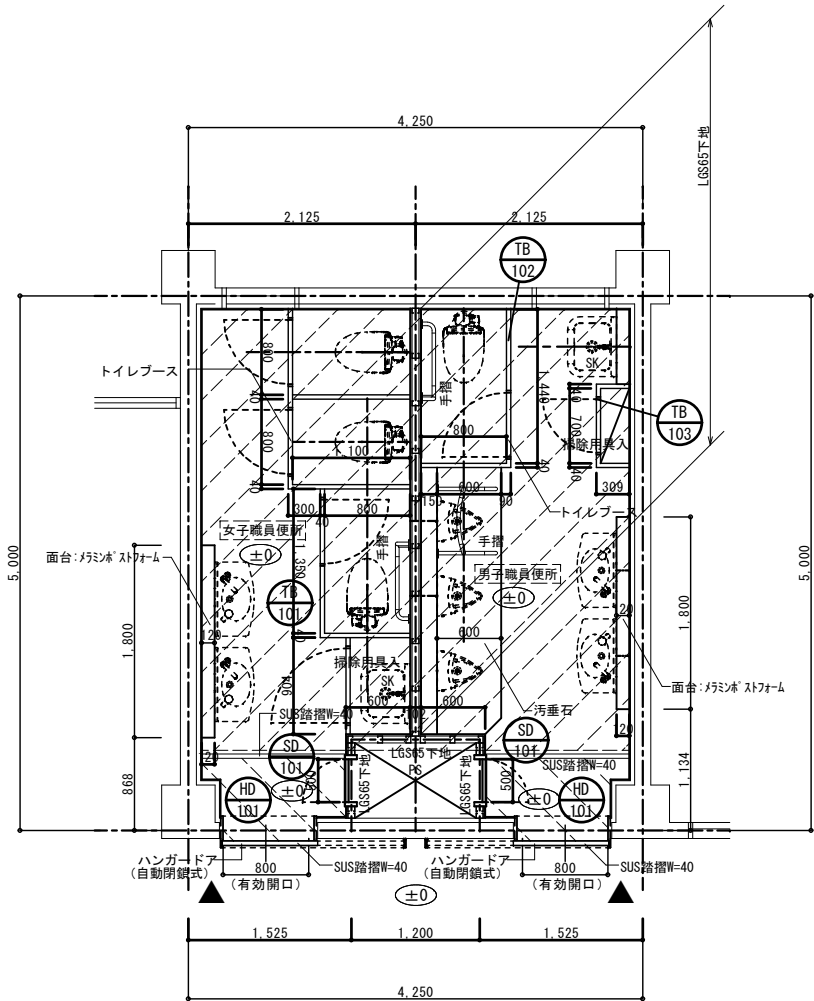
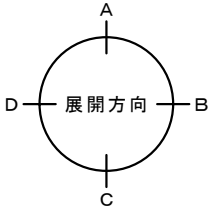
既設 平面図



既設 1階 平面図 1/50

凡例	
	撤去部分を示す
	カッター切を示す
	トイレブース撤去部分を示す 木製フラッシュt=40
	室名札撤去部分を示す。
	1階 土間コンクリート撤去範囲を示す 周囲カッター切り
	床：モザイクタイル撤去範囲を示す
	床：塩ビシート撤去範囲を示す

改修 平面図



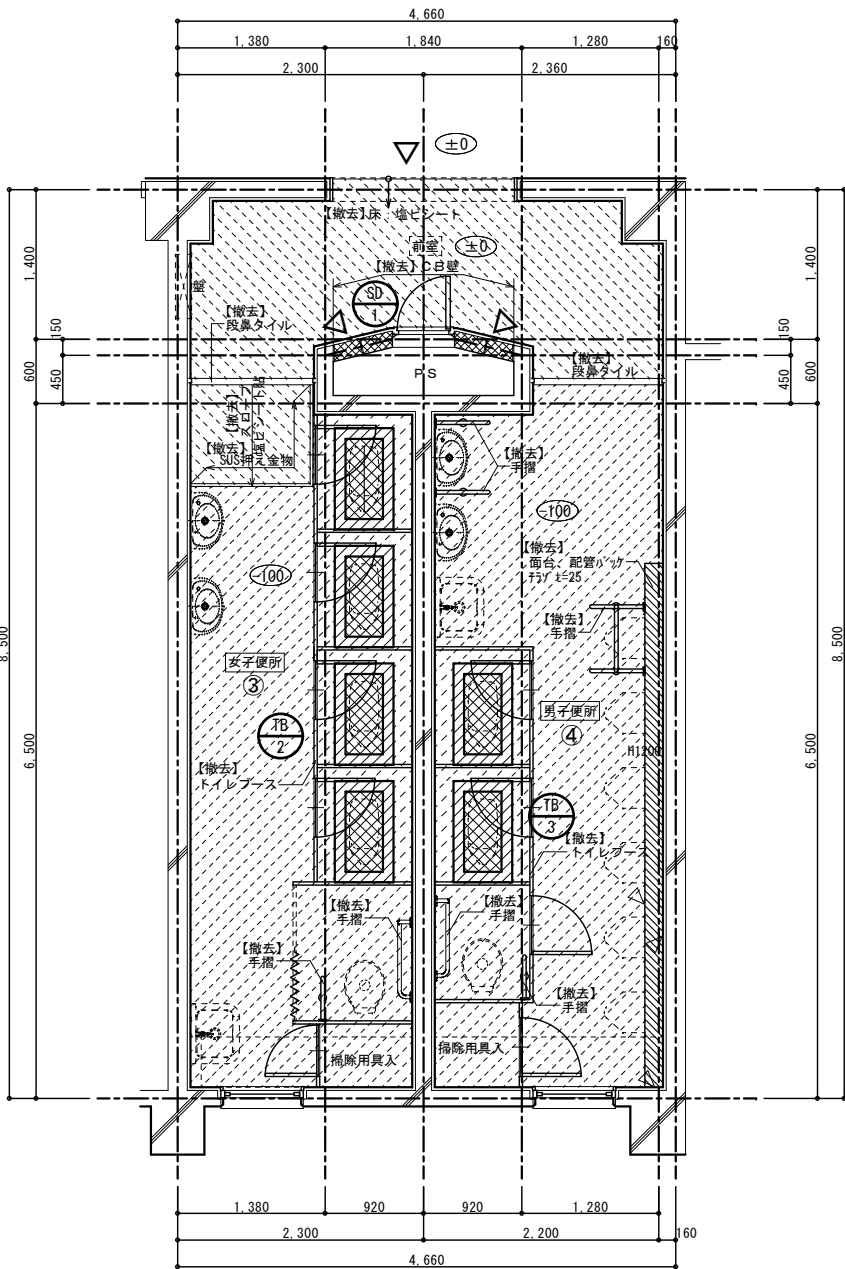
改修 1階 平面図 1/50

凡例	
	抗菌塩ビシート張りt2.0 溶接(多湿仕様) レベリング t10 土間コンクリート t120 D13縦横@150 ポリスチレンフォーム t20 防湿シート t0.15x2
	ノンスリップシート張りt2.0 溶接
	室名札取付部分を示す (特記なき限り平付けとする。)

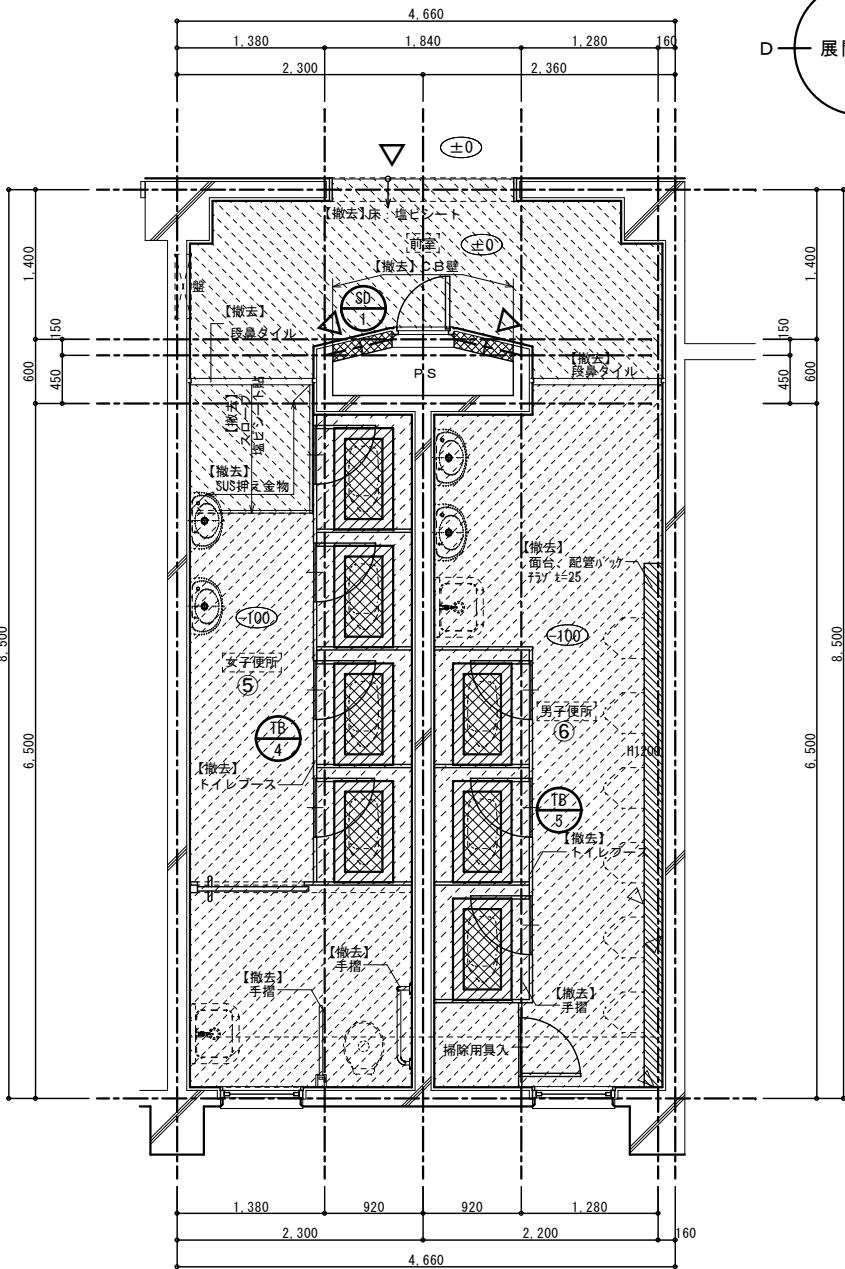
日誠建設株式会社

承認	照合	製図	縮尺	工事名称 天理市立井戸堂・柳本小学校トイレ改修工事	
			1/50		
			設計年月日	図面名称 天理市立柳本小学校 平面図 (1)	No. A-12

既設 平面図



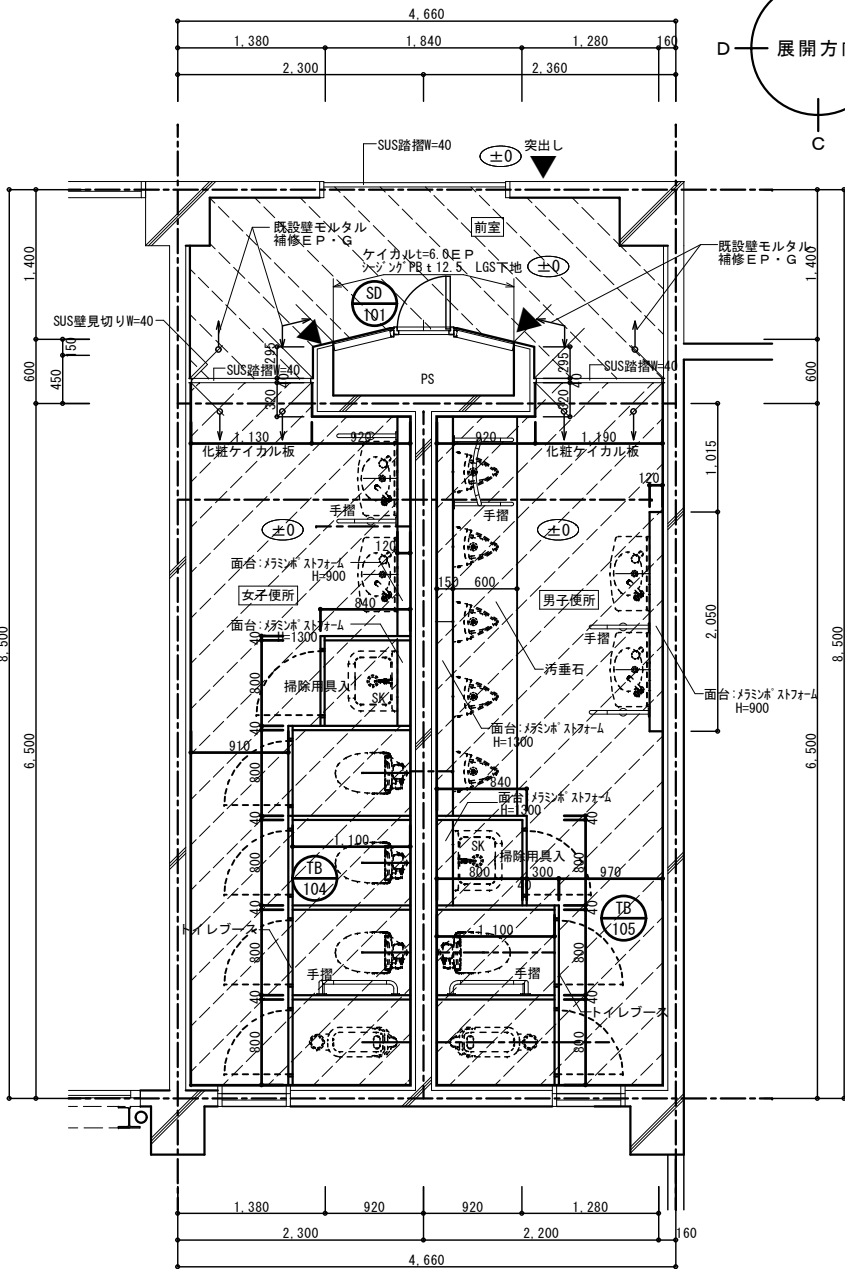
既設 2階 平面図 1/50



既設 3階 平面図 1/50

凡例	
	撤去部分を示す
	カッター切を示す
	トイレブース撤去部分を示す
	室名札撤去部分を示す。
撤去、復旧	 防水押えコット張り範囲を示す (アスファルト防水は存置) アスファルト防水 防水押えコット範囲を示す
	 床張り範囲を示す 周囲カッター切り (既存鉄筋は出来る限り存置) スラブ復旧範囲を示す
 床・モザイクタイル撤去範囲を示す	
 床：塩ビシート撤去範囲を示す	

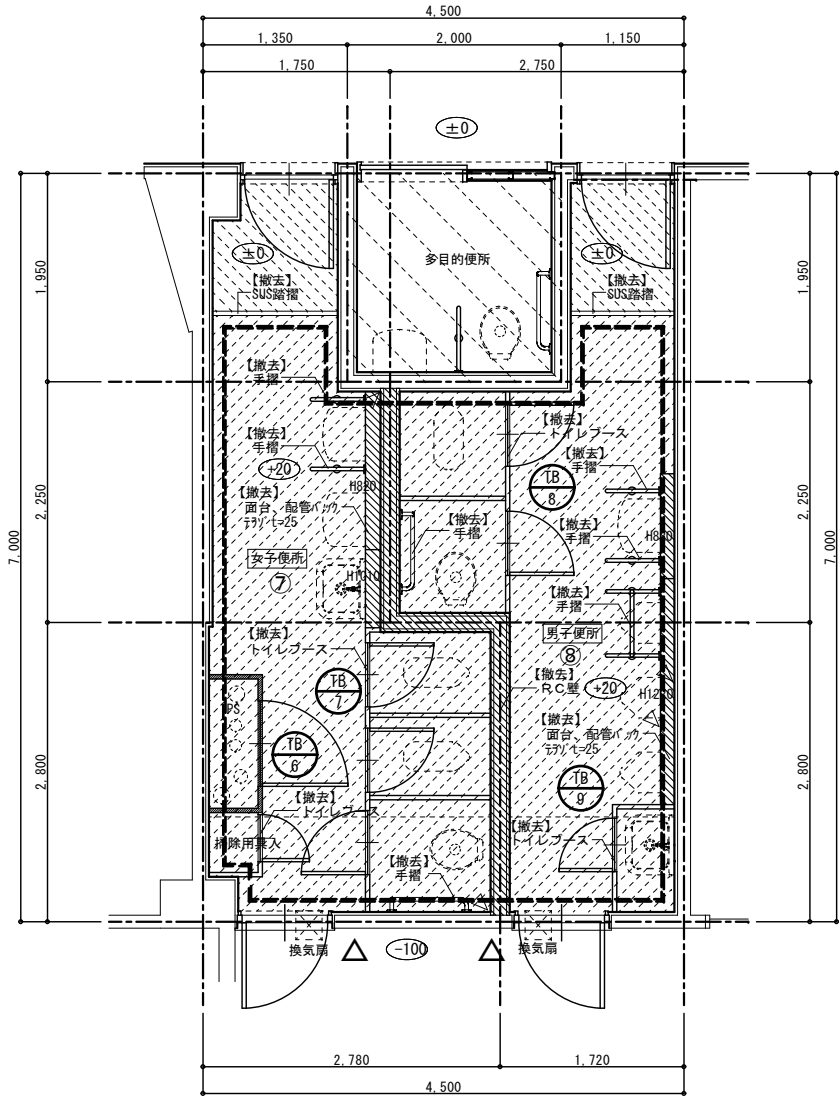
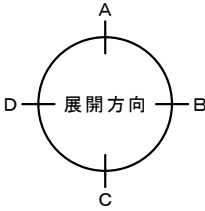
改修 平面図



改修 2・3階 平面図 1/50

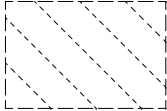
凡例	
	抗菌塩ビシート張りt2.0 溶接(多湿仕様) ラワンベニア t=12 ネダマット敷 土間タイル樹脂モルタルしごき
	抗菌塩ビシート張りt2.0 溶接(多湿仕様)
	室名札取付部分を示す (特記なき限り平付けとする。)

既設 平面図



既設 1階 平面図 1/50

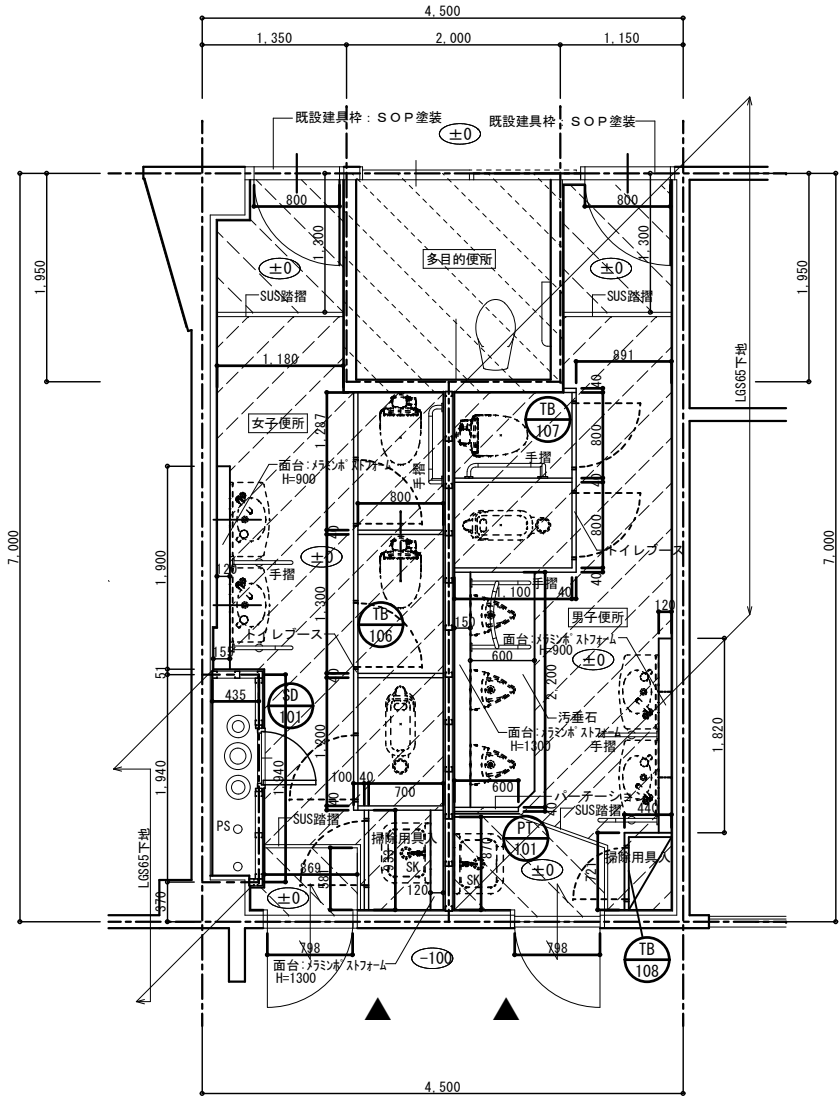
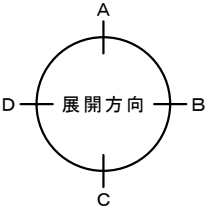
凡 例



工事範囲外の便所を示す

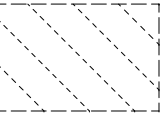
凡 例	
	撤去部分を示す
	カッター切を示す
	トイレブース撤去部分を示す 木製フラッシュt=40
	室名札撤去部分を示す。
	1階 土間コンクリート撤去範囲を示す 周囲カッター切り
	床：モザイクタイル撤去範囲を示す
	床：塩ビシート撤去範囲を示す

改修 平面図



改修 1階 平面図 1/50

凡 例



工事範囲外の便所を示す

凡 例	
	抗菌塩ビシート張りt2.0 溶接(多湿仕様) レベリング t20 土間コンクリート t120 D13縦横@150 ポリスチレンフォーム t20 防湿シート t0.15 x 2
	抗菌塩ビシート張りt2.0 溶接(多湿仕様) (廊下側前室部分)
	ノンスリップシート張りt2.0 溶接 (外部側前室部分)
	室名札取付部分を示す (特記なき限り平付けとする。)

日 誠 建 設 株 式 有 限 公 司

承認 照合 製図

縮尺

1/50

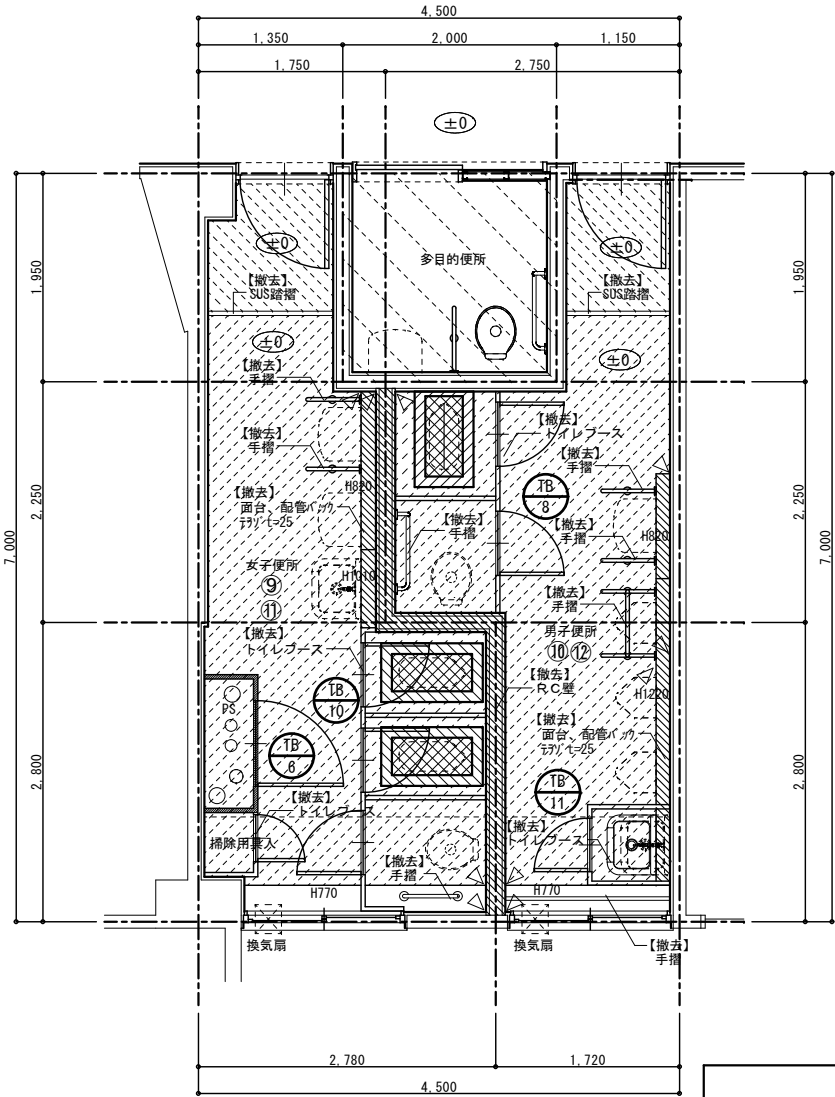
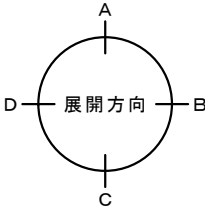
設計年月日

工事名称 天理市立井戸堂・柳本小学校トイレ改修工事

図面名称 天理市立柳本小学校
平面図 (3)

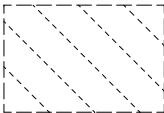
No. A-14

既設 平面図







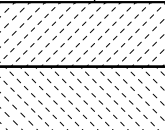
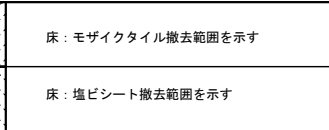


既設 2・3階 平面図 1/50

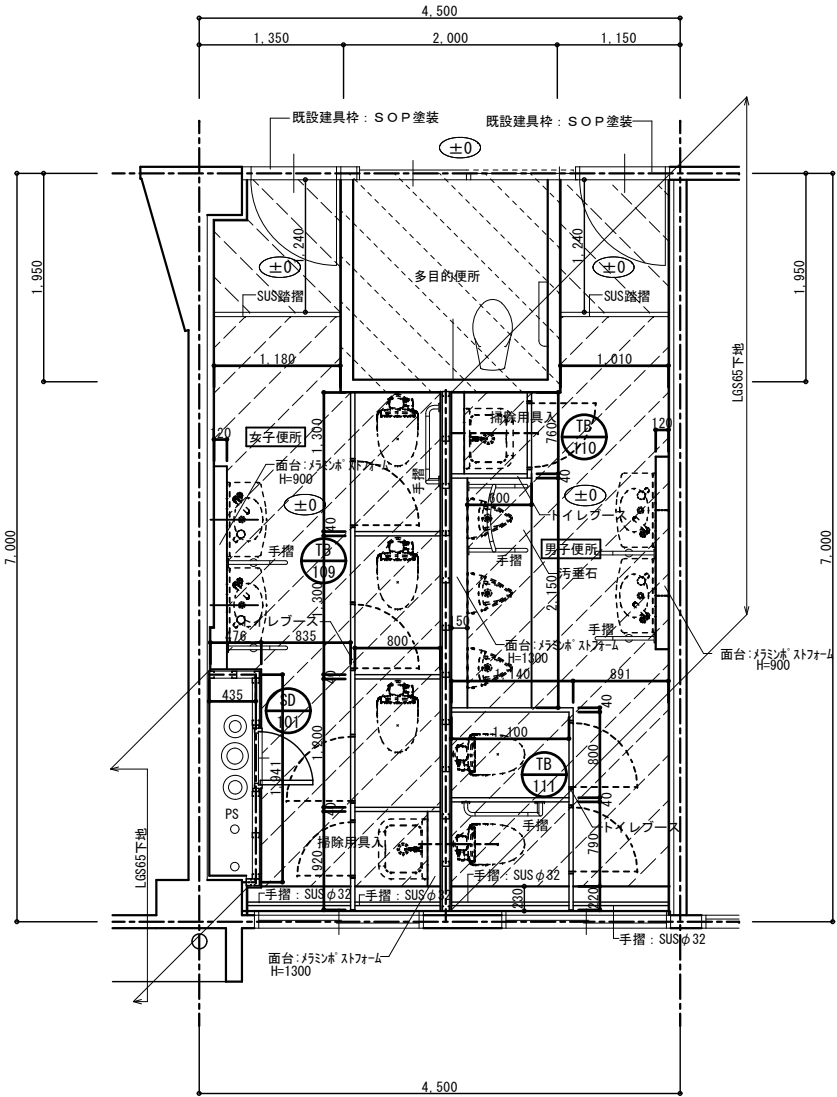
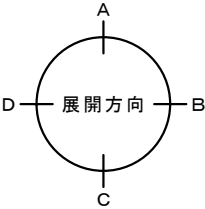
凡 例



工事範囲外の便所を示す

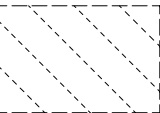
凡例	
	撤去部分を示す
	カッター切を示す
	トイレブース撤去部分を示す
	室名札撤去部分を示す。
撤去、復旧	 防水押えコンクリート削り範囲を示す (アスファルト防水は存置) アスファルト防水 防水押えコンクリート範囲を示す
	 床削り範囲を示す 周囲カッター切り (既存鉄筋は出来る限り存置) スラブ復旧範囲を示す
	床：モザイクタイル撤去範囲を示す
	床：塩ビシート撤去範囲を示す

改修 平面図



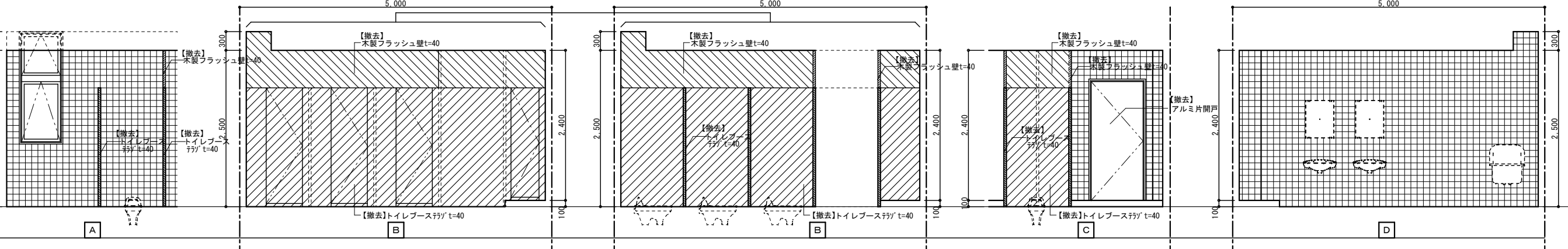
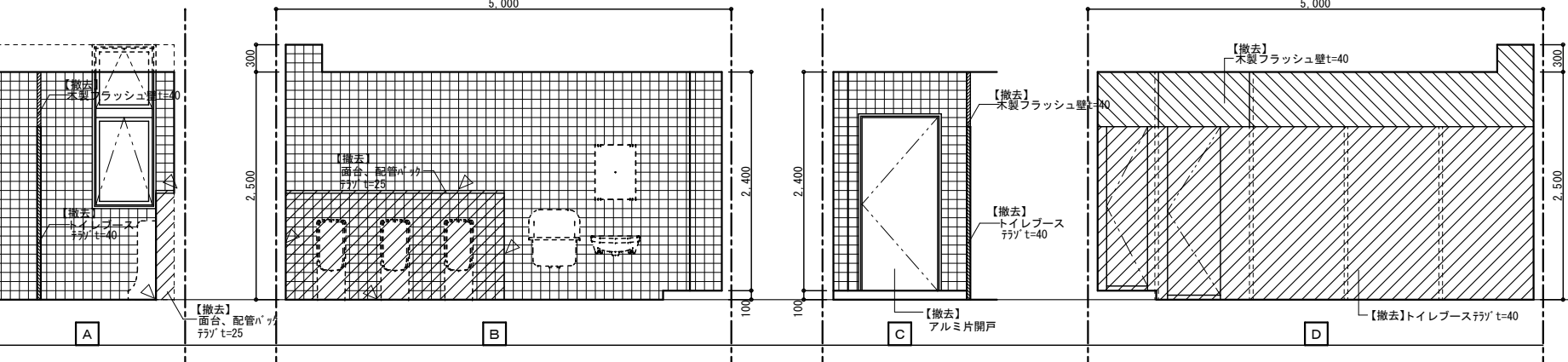
改修 2・3階 平面図 1/50

凡 例



工事範囲外の便所を示す

凡 例	
	抗菌塩ビシート張りt2.0 溶接(多湿仕様) モルタル金鍍押え
	抗菌塩ビシート張りt2.0 溶接(多湿仕様)
	室各札取付部分を示す (特記なき限り準付とする。)

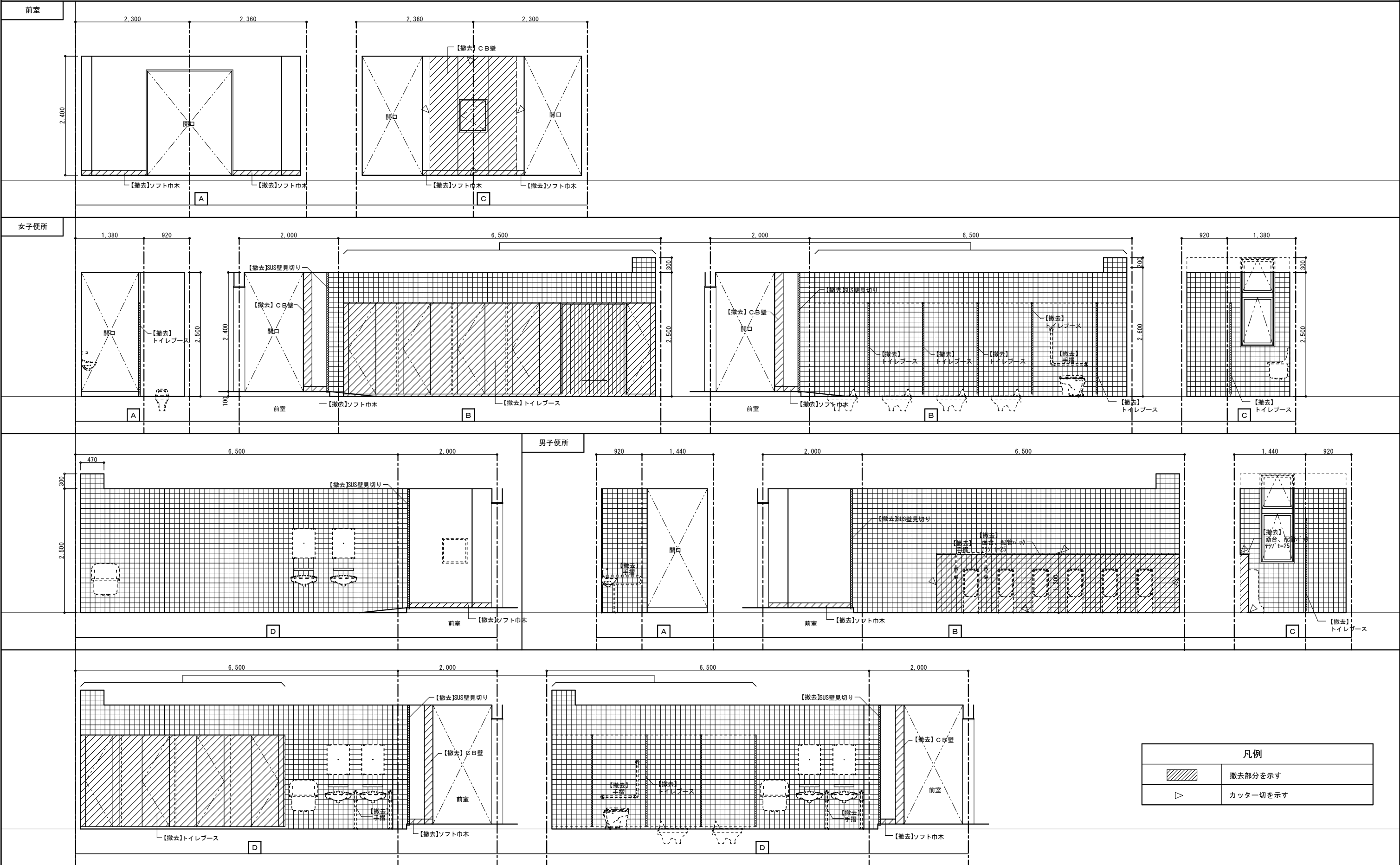
天理市立柳本小学校					12棟	1階	職員便所	撤去	展開図					
職員便所 女子便所														
職員便所 男子便所														

天理市立柳本小学校

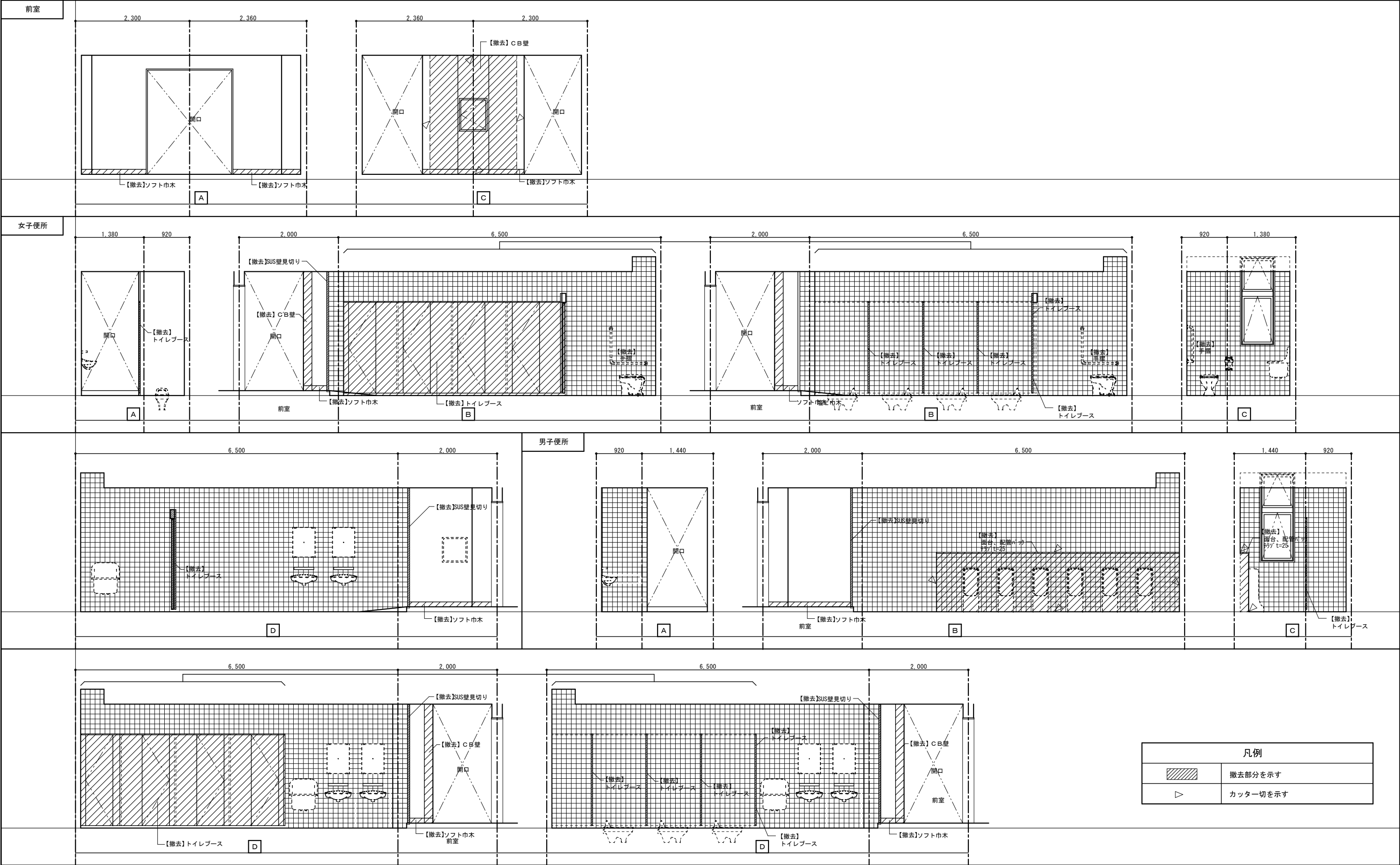
12棟

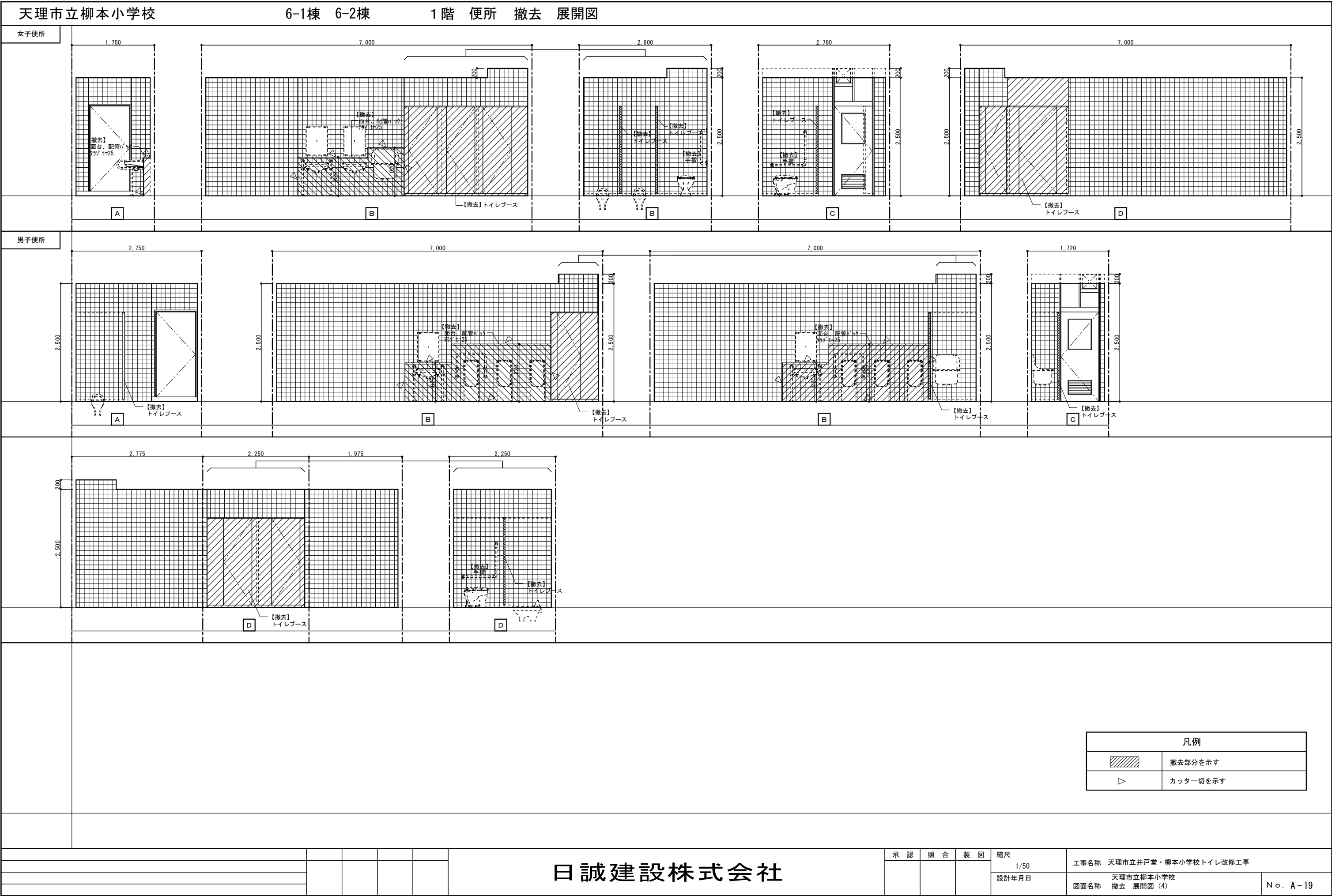
2階 便所

撤去 展開図



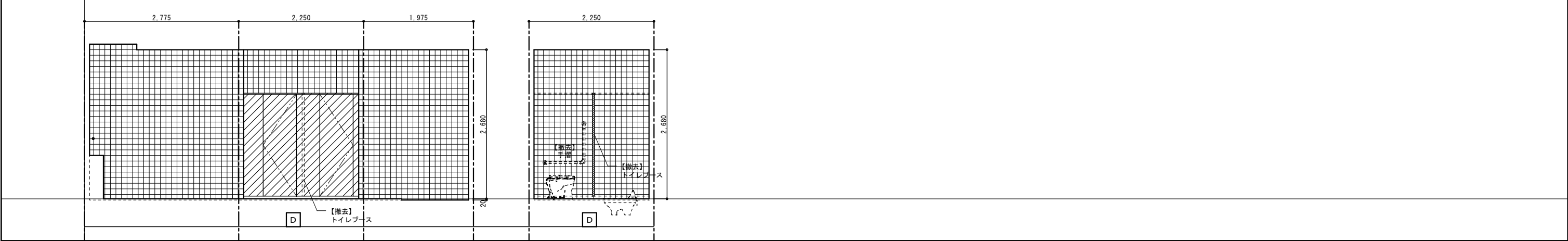
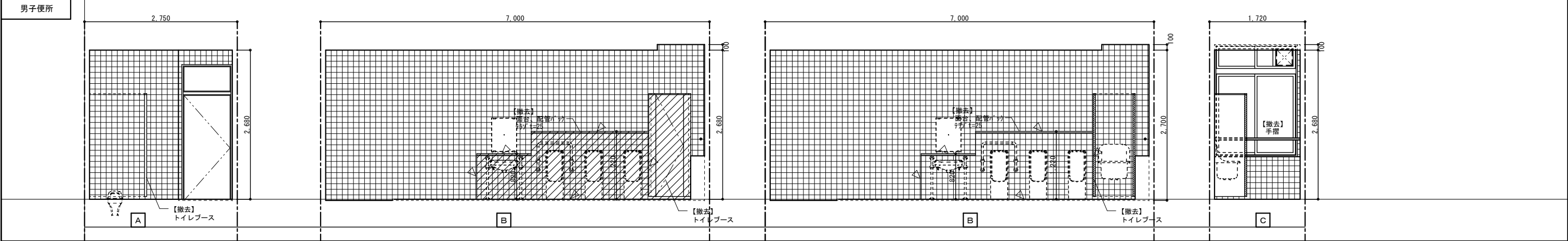
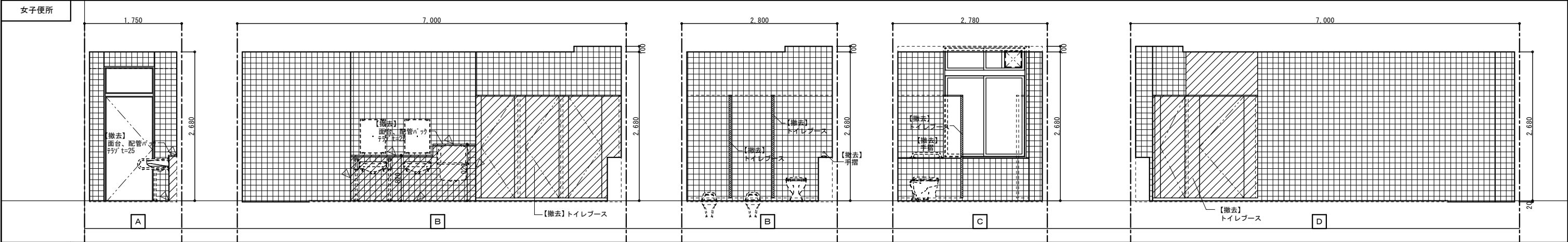
天理市立柳本小学校 12棟 3階 便所 撤去 展開図





日誠建設株式会社

天理市立柳本小学校 6-1棟 6-2棟 2・3階 便所 撤去 展開図



凡例	
	撤去部分を示す
	カッター切を示す

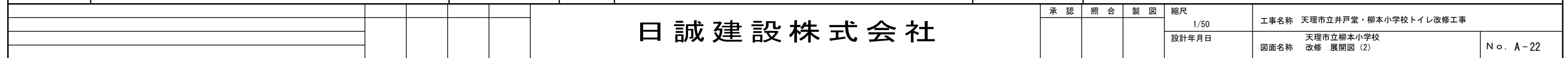
改修 展開図

D

D

No. A-21

改修 展開図



天理市立柳本小学校					6-1棟 6-2棟					1階 便所 改修 展開図				
女子便所														
男子便所														
					</									

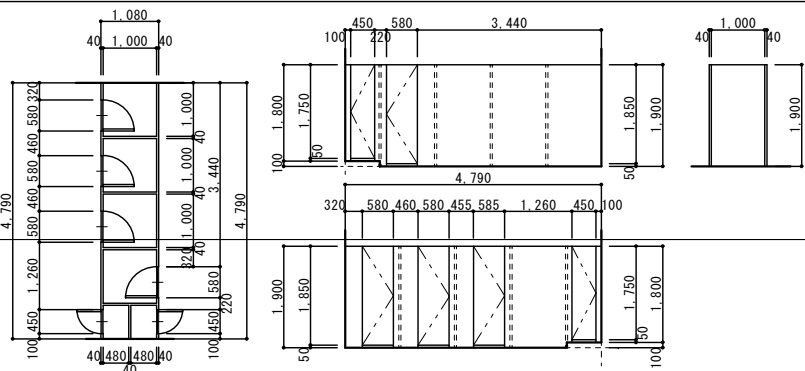
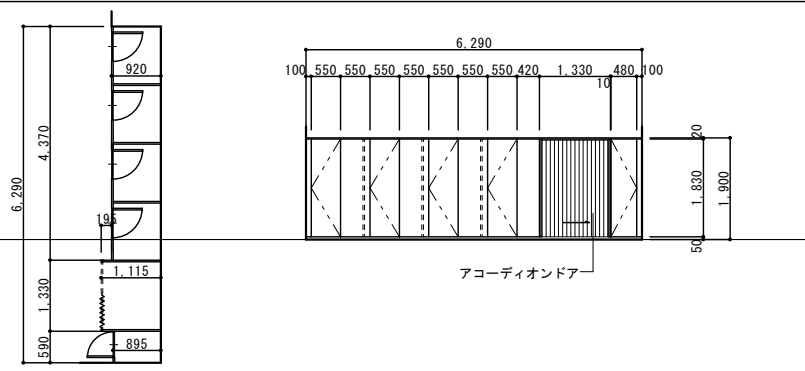
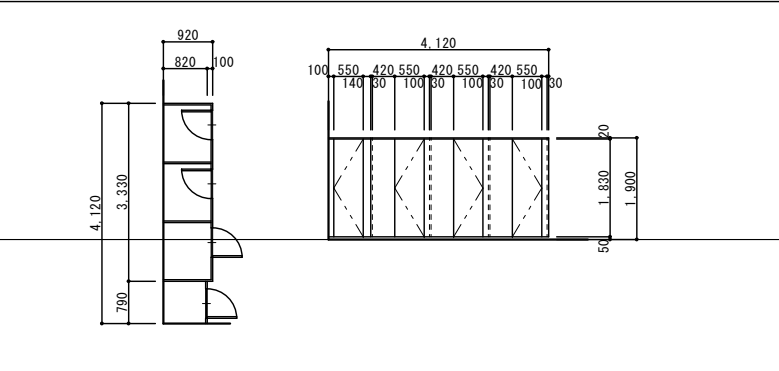
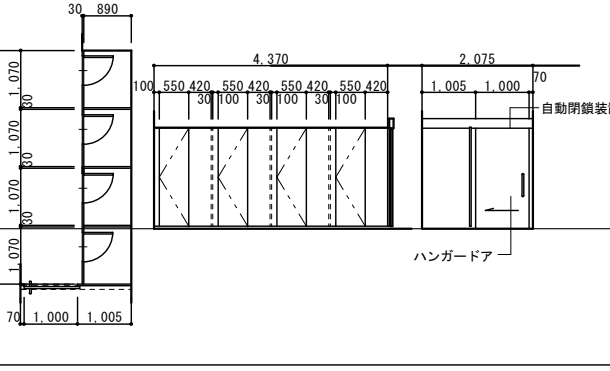
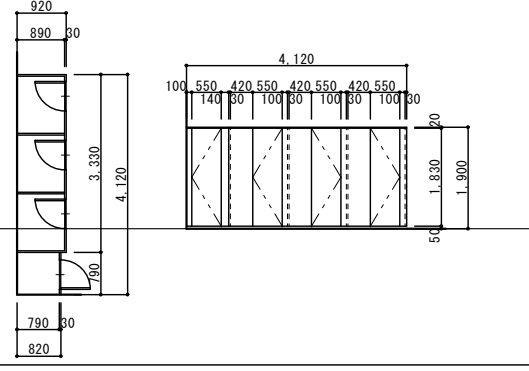
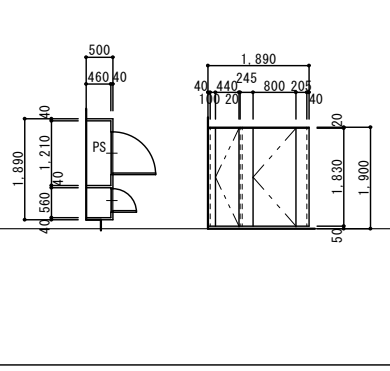
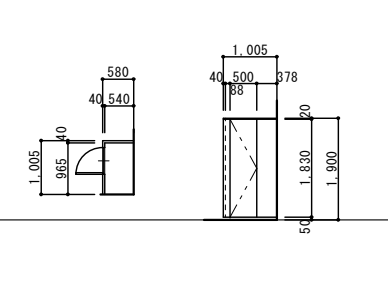
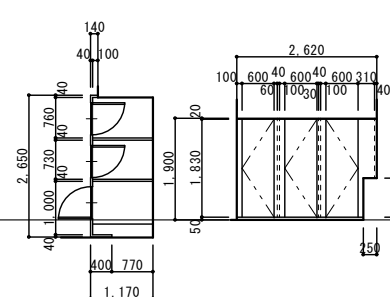
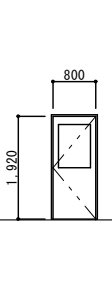
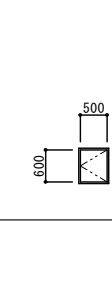
天理市立柳本小学校

6-1棟 6-2棟

2・3階 便所

改修 展開図

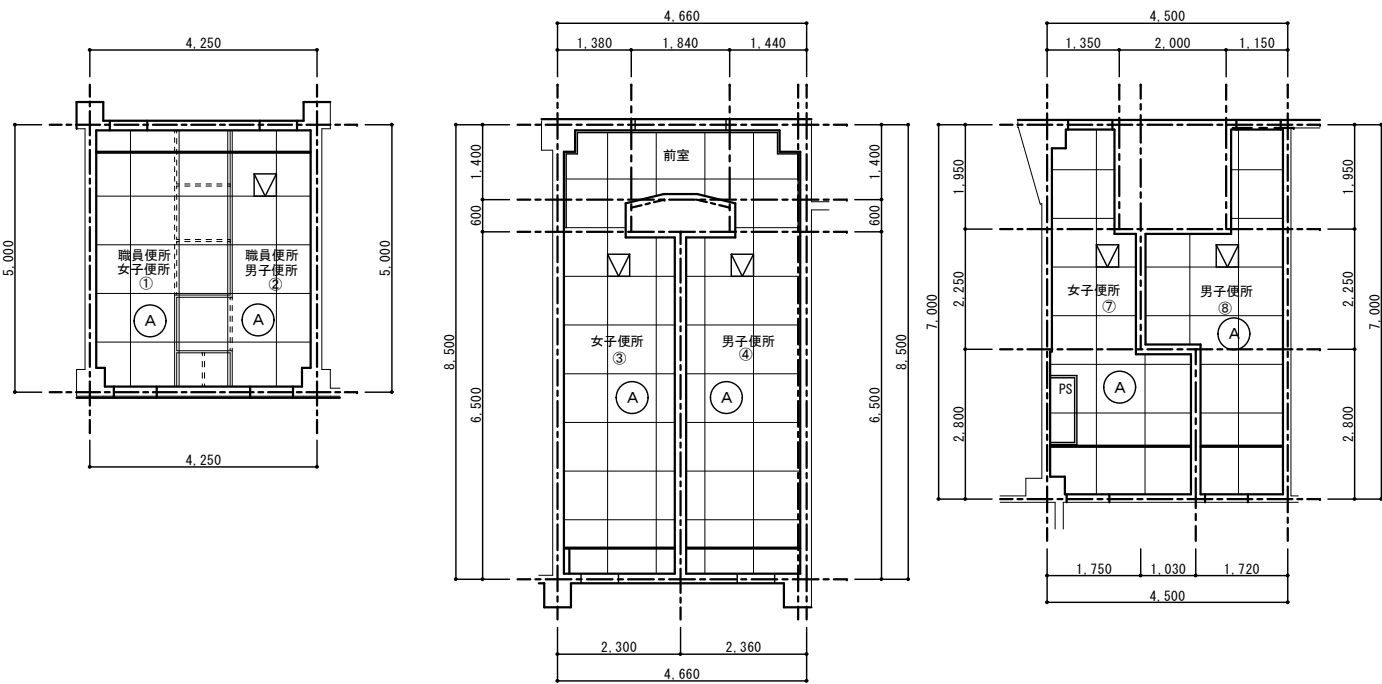


符号・型式・数量	TB 1	トイレブース	1	TB 2	トイレブース	1	TB 3	トイレブース	1
場所	12棟 1階 職員便所			12棟 2階 便所			12棟 2階 便所		
形状・寸法									
見込	40			40			40		
ガラス・材質・仕上	ブース：テラズブロックt=40 扉：木製フラッシュ			一体成型パーティクルボード			一体成型パーティクルボード		
金物									
備考									
符号・型式・数量	TB 4	トイレブース	1	TB 5	トイレブース	1	TB 6	トイレブース	3
場所	12棟 3階 便所			12棟 3階 便所			6-1棟 6-2棟 1～3階 便所		
形状・寸法									
見込	40			40			40		
ガラス・材質・仕上	一体成型パーティクルボード			一体成型パーティクルボード			一体成型パーティクルボード		
金物									
備考									
符号・型式・数量	TB 9	トイレブース	1	TB 10	トイレブース	2	WD 1	片開き戸	2
場所	6-1棟 6-2棟 1階 便所			6-1棟 6-2棟 2・3階 便所			12棟 1階 職員便所		
形状・寸法									
見込	40			40			40		
ガラス・材質・仕上	一体成型パーティクルボード			一体成型パーティクルボード			メラミンフラッシュ 40 型板ガラス4.0		
金物									
備考							額縁共撤去		
符号・型式・数量	SD 1	片開きPS点検口	2						
場所	12棟 2・3階 便所								
形状・寸法									
見込	60								
ガラス・材質・仕上	スチール								
金物									
備考									

天理市立柳本小学校 改修 建具リスト

符号・型式・数量			<div>TB101</div>	トイレブース		1	<div>TB102</div>	トイレブース		1	<div>TB103</div>	トイレブース		1	<div>TB104</div>	トイレブース		2	<div>TB105</div>	トイレブース		2				
場所			12棟 1階 職員便所				12棟 1階 職員便所				12棟 1階 職員便所				12棟 2・3階 便所				12棟 2・3階 便所							
形状・寸法																										
見込			40				40				40				40				40							
ガラス・材質・仕上			ポリ合板				ポリ合板				ポリ合板				ポリ合板				ポリ合板							
金物			T型サポート、アルミ笠木、ヒンジ、取手、戸当り、他附属金物一式				T型サポート、アルミ笠木、ヒンジ、取手、戸当り、他附属金物一式				T型サポート、アルミ笠木、ヒンジ、取手、戸当り、他附属金物一式				T型サポート、アルミ笠木、ヒンジ、取手、戸当り、他附属金物一式				T型サポート、アルミ笠木、ヒンジ、取手、戸当り、他附属金物一式							
備考			手すり設置部分は下地補強すること 指詰め防止仕様				手すり設置部分は下地補強すること 指詰め防止仕様				指詰め防止仕様				手すり設置部分は下地補強すること 指詰め防止仕様				手すり設置部分は下地補強すること 指詰め防止仕様							
符号・型式・数量			<div>TB106</div>	トイレブース		1	<div>TB107</div>	トイレブース		1	<div>TB108</div>	トイレブース		1	<div>TB109</div>	トイレブース		2	<div>TB110</div>	トイレブース		2				
場所			6-1棟 6-2棟 1階 便所				6-1棟 6-2棟 1階 便所				6-1棟 6-2棟 1階 便所				6-1棟 6-2棟 2・3階 便所				6-1棟 6-2棟 2・3階 便所							
形状・寸法																										
見込			40				40				40				40				40							
ガラス・材質・仕上			ポリ合板				ポリ合板				ポリ合板				ポリ合板				ポリ合板							
金物			T型サポート、アルミ笠木、ヒンジ、取手、戸当り、他附属金物一式				T型サポート、アルミ笠木、ヒンジ、取手、戸当り、他附属金物一式				T型サポート、アルミ笠木、ヒンジ、取手、戸当り、他附属金物一式				T型サポート、アルミ笠木、ヒンジ、取手、戸当り、他附属金物一式				T型サポート、アルミ笠木、ヒンジ、取手、戸当り、他附属金物一式							
備考			手すり設置部分は下地補強すること 指詰め防止仕様				手すり設置部分は下地補強すること 指詰め防止仕様				指詰め防止仕様				手すり設置部分は下地補強すること 指詰め防止仕様				指詰め防止仕様							
符号・型式・数量			<div>TB111</div>	トイレブース		2	<div>PT101</div>	トイレブース		1	<div>HD101</div>	片引ハンガードア		2	<div>SD101</div>	PS点検口		7								
場所			6-1棟 6-2棟 2・3階 便所				6-1棟 6-2棟 2・3階 便所				12棟 1階 職員便所				6-1棟 6-2棟 1階 2・3階 便所 12棟 2・3階 便所 12棟 1階 職員便所											
形状・寸法																										
見込			40				40				化粧鋼板 厚0.6 スチール枠厚1.2 見付：131				60											
ガラス・材質・仕上			ポリ合板				ポリ合板				2mmポリカーボネート版(型板マット)				スチール DP塗装											
金物			T型サポート、アルミ笠木、ヒンジ、取手、戸当り、他附属金物一式				付属部品一式				把手、ハンガー金物一式、戸当たりゴム				分電盤錠											
											他附属金物一式															
備考			手すり設置部分は下地補強すること 指詰め防止仕様								アルミガラリ															

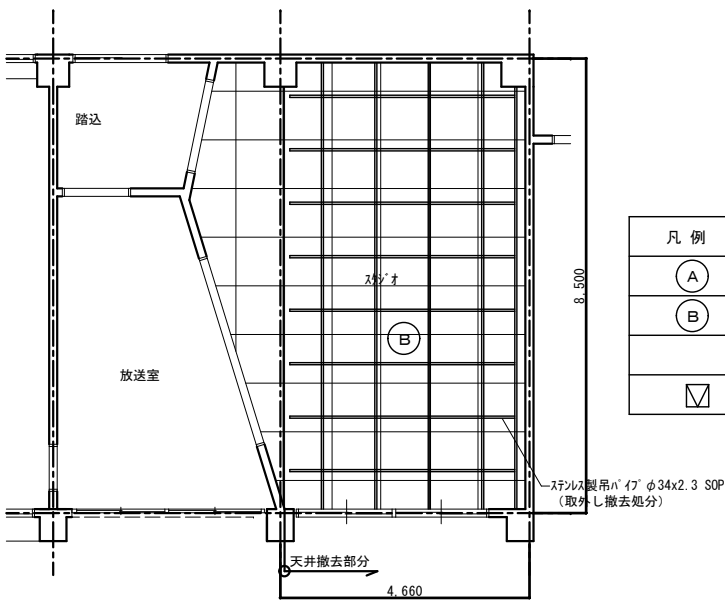
撤去



12棟 1階 職員便所 1/100

12棟 2・3階 便所 1/100

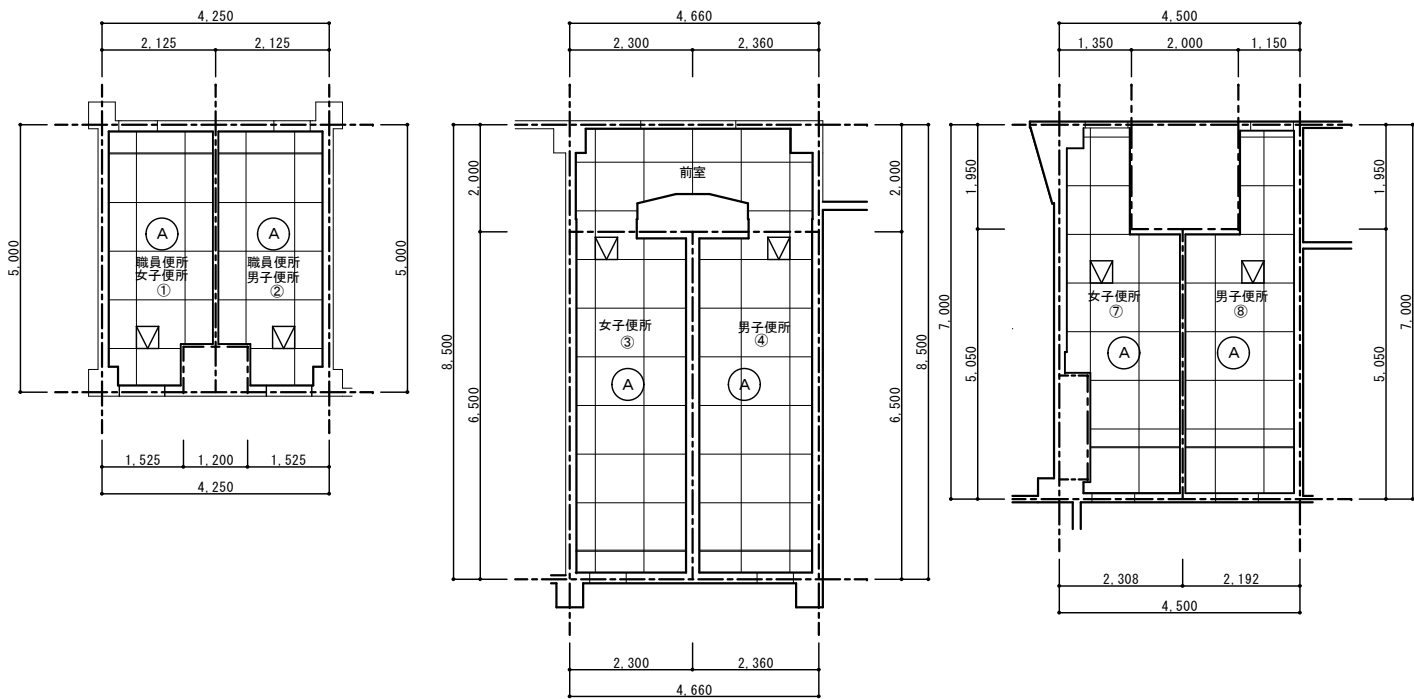
6-1棟 6-2棟 1～3階 便所 1/100



既設 1階 平面図 1/100

凡 例	天 井 仕 上	
(A)	▲ フレキシブルシート 目透し張り 5×910×910	LGS下地
(B)	有孔練り付けベニヤ (白ラワン) t5.5 UC塗装 グラスウール t50	LGS下地
▽	天井点検口 (アルミ製) 450角	

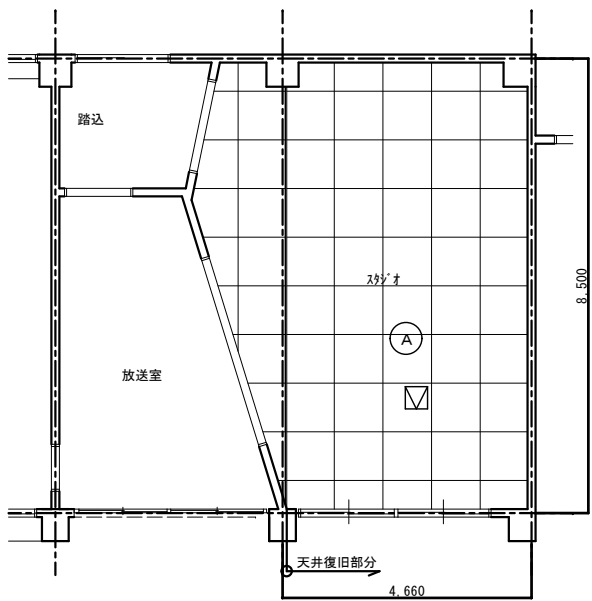
改修



12棟 1階 職員便所 1/100

12棟 2・3階 便所 1/100

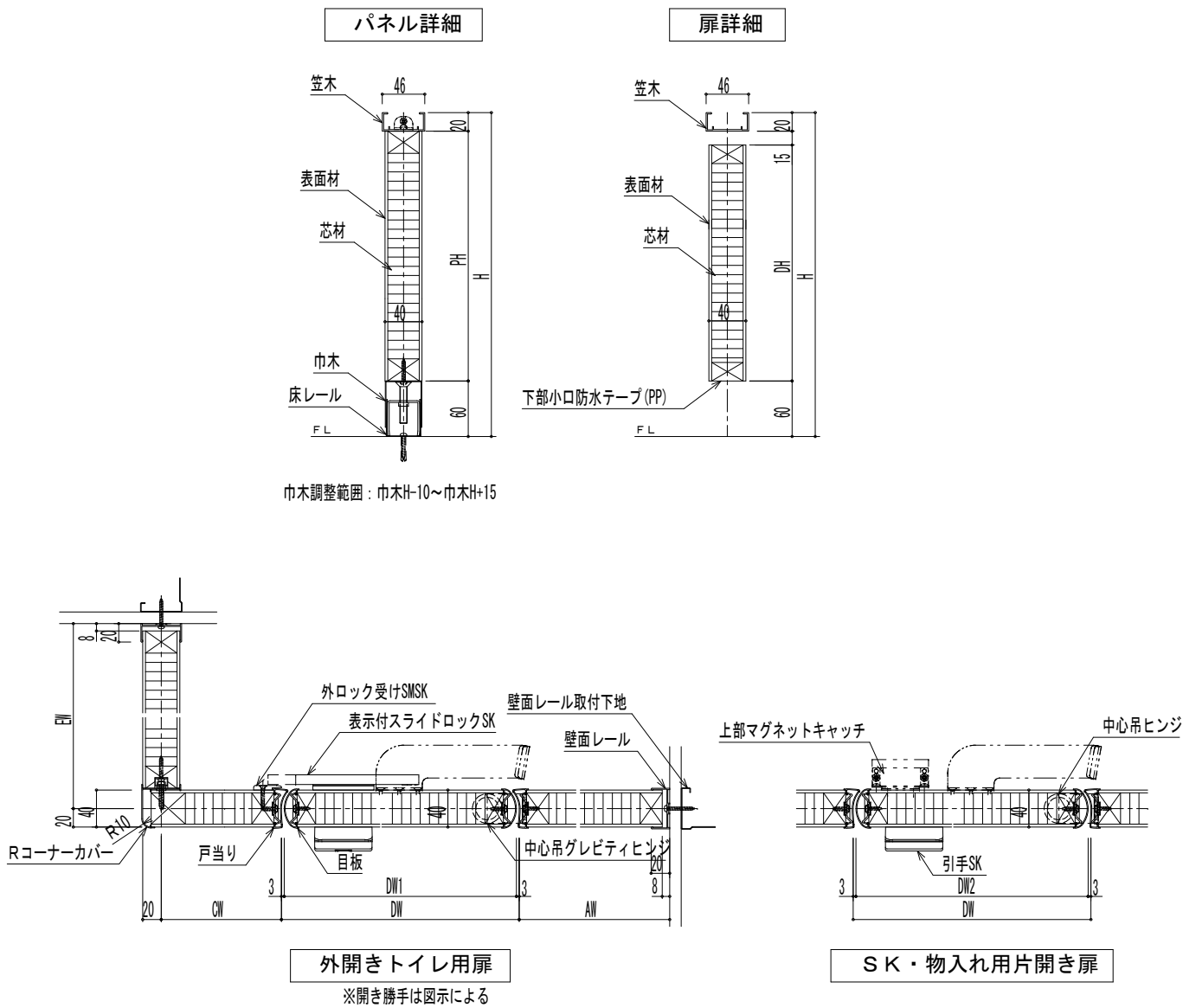
6-1棟 6-2棟 1～3階 便所 1/100



既設 1階 平面図 1/100

凡 例	天 井 仕 上	
(A)	石膏化粧ボード t9.5	LGS下地
(B)	有孔練り付けベニヤ (白ラワン) t5.5 UC塗装 グラスウール t50	LGS下地
▽	天井点検口 (アルミ製) 450角 (開口補強)	

<div> <div>LGS壁ボード貼り（出隅・入隅部）詳細図</div> <div>1/5</div> <div> <p>T型取合い</p> <p>シーリング (65X45X0.8) 打込みピン @1200程度 シーリング</p> <p>シーリング シーリング シーリング</p> <p>シージング石膏ボードt12.5の上 化粧珪酸カルシウム板 t6</p> <p>6 12.5 65 12.5 6</p> <p>L型取合い</p> <p>アルミジョイナー 巾木：ソフト巾木 H=100（新設） H</p> <p>シーリング</p> <p>6 12.5 65 12.5 6</p> <p>アルミ ジョイナー</p> <p>註）開口部周りは、C-60×30×10×2.3 にて補強の事。</p> </div> </div>	<div> <div>壁LGS（一般）詳細図</div> <div>1/5</div> <div> <p>野縁受 タッピンねじ @900程度 野縁 ランナー LGS壁下地<65></p> <p>野縁受 タッピンねじ 又は溶接 @900程度 野縁 ランナー LGS壁下地<65></p> <p>-頭部 ランナーが野縁と直角の場合-</p> <p>-頭部 ランナーが野縁と平行の場合-</p> <p>注記 ・仕上材の種別は別図による。</p> </div> </div>	<div> <div>天井開口補強 詳細図</div> <div>1:20 1:50</div> <div> <p>照明器具及び吊ボルト（電気工事） 補強野縁 野縁受 野縁 補強野縁受 野縁 野縁を切断する場合</p> <p>A断面 B断面</p> <p>吊ボルト 野縁 野縁受 野縁 野縁を切断しない場合</p> <p>C断面 D断面</p> <p>取付用補強材 野縁受 天井改め口 天井改め口 天井改め口の場合</p> <p>E断面 F断面</p> <p>注記 ・開口補強は建築工事とする。・器具の取付は各々設備、電気工事とする。・補強野縁は野縁と同材とする。 ・その他の補強野縁受、取付用補強材は野縁受と同材とする。・野縁受のはね出しが300以上の場合は増吊をする。</p> </div> </div>
<div> <div>便所窓際 上り天井納り標準詳細図</div> <div>1/5</div> <div> <p>キャリングチャンネル 溶接止め 振止め 鉄筋 9φ 溶接止め 天井見切 塩ビ製 (天井仕上に依る) L型 見切縁 アルミ製</p> </div> </div>	<div> <div>室名札</div> <div>1/4</div> <div> <p>平付</p> <p>イラスト又は文字 (表示は現場指示による) 男女便所表示</p> <p>仕様 フレーム：ABS樹脂 クリア 面板：樹脂板(12棟1～3階) 面板：ステンレスHL ABS樹脂はめこみ(6-1, 2棟1階) 株式会社 フジタ CF160 同等以上(12棟1～3階) 株式会社 研創 SW200A 同等以上(6-1, 2棟1階)</p> <p>突出</p> <p>イラスト又は文字 (表示は現場指示による) 男女便所表示</p> <p>仕様 フレーム：ABS樹脂 クリア 面板：樹脂板(12棟1～3階) 面板：ステンレスHL ABS樹脂はめこみ(6-1, 2棟1階) 株式会社 フジタ CF160 同等以上(12棟1～3階) 株式会社 研創 SW200A 同等以上(6-1, 2棟1階)</p> </div> </div>	<div> <div>1階 便所床コンクリート復旧詳細図</div> <div>1:20</div> <div> <p>撤去</p> <p>土間コンクリート 土間コンクリート 存置 ← 撤去 モザイクタイル撤去 既設：土間スラブ D13@150 (既存鉄筋は出来る限り存置) ハッチングは撤去部分 [12棟 1階]</p> <p>改修</p> <p>抗菌塩ビシート張りt2.0 溶接(多湿仕様) セルフレベルリング t=10 土間コンクリート D13@150 A種押出法ポリスチレンフォーム保温板3種 t20 防湿シート0.15x2 再生砕石 ハッチングは既設部分 [12棟 1階]</p> <p>撤去</p> <p>土間コンクリート 土間コンクリート 存置 ← 撤去 塩ビシート撤去 モザイクタイル 既設：土間スラブ D13@150 (既存鉄筋は出来る限り存置) ハッチングは撤去部分 [6-1棟 6-2棟 1階]</p> <p>改修</p> <p>抗菌塩ビシート張りt2.0 溶接(多湿仕様) セルフレベルリング t=20 ステンレス巻(7)2.0 ノンスリップシート 張りt2.0 溶接 土間コンクリート D13@150 A種押出法ポリスチレンフォーム保温板3種 t20 防湿シート0.15x2 再生砕石 ハッチングは既設部分 [6-1棟 6-2棟 1階]</p> <p>FC=18 N/mm2 S=15</p> </div> </div>
<div> <div>SUS上框 詳細図</div> <div>1/10</div> <div> <p>【新設】 抗菌塩ビシート張りt2.0 溶接(多湿仕様) レベルリングモルタルt=10 軽量コンクリートt=60 ((ワイヤーメッシュφ6 150x150)) 現場発泡硬質ウレタンフォーム t70</p> <p>SUS上框 (新設) ステンレスHL加工 踏摺用アンカー@600 (新設)</p> <p>【新設】 ノンスリップシート張りt2.0 溶接 レベルリングモルタルt=10</p> <p>50 100 100</p> </div> </div>	<div> <div>日誠建設株式会社</div> </div>	<div> <div>承認 照合 製図 縮尺</div> <div>工事名称 天理市立井戸堂・柳本小学校トイレ改修工事</div> <div>設計年月日</div> <div>図面名称 天理市立柳本小学校 部分詳細図 (2)</div> <div>N o . A - 29</div> </div>



断面図 S = 1 / 5

◇仕様表

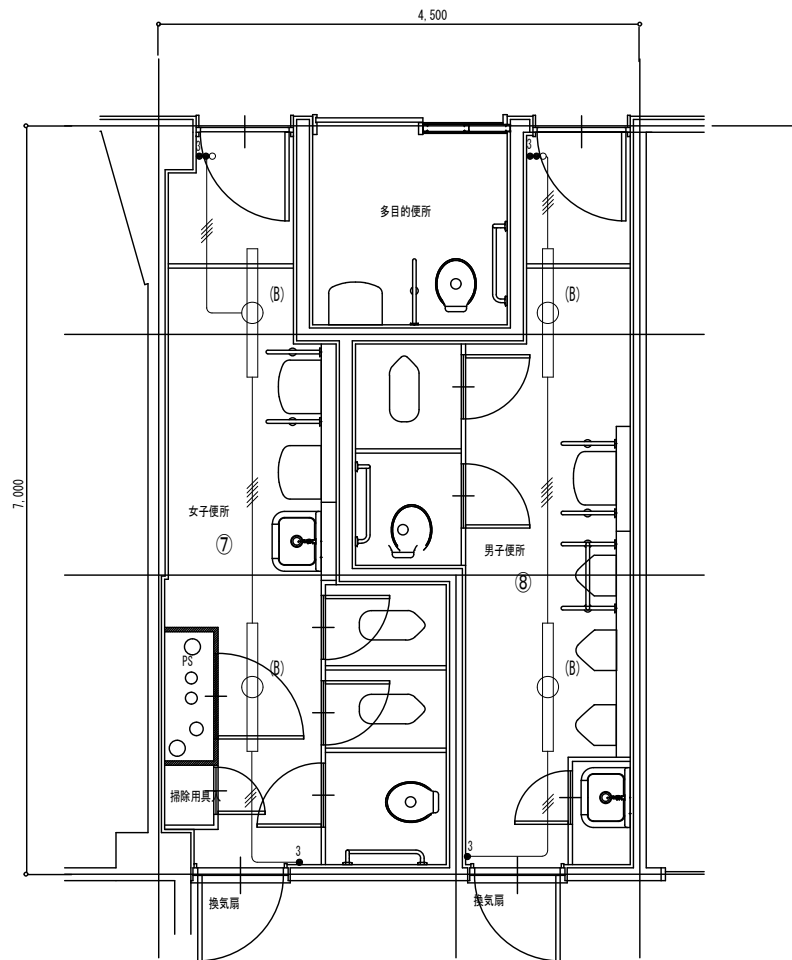
参考品番
(小松ウオール サニティTB-GPRタイプ)

項 目	部 材	材 料 (板厚mm)
パネ ル	パネル表面材	ポリ合板(下地:MDF)・ポリエステル樹脂化粧板
	芯 材	ペーパーコア
	目板／戸当り	アルミ押出形材 〈アルマイトクリア処理仕上〉
付 属 品	巾木／床レール	ステンレス 0.8mm 〈ヘアライン仕上〉
	笠木	アルミ押出形材 〈アルマイトクリア処理仕上〉
	壁面レール／コーナーカバー	アルミ押出形材 〈アルマイトクリア処理仕上〉
	ヒンジ／SKヒンジ	中心吊グレビティヒンジ／中心吊ヒンジ
	ロック	表示付スライドロックSK
	引手	引手SK

※手摺取付の場合は補強材を入れる事

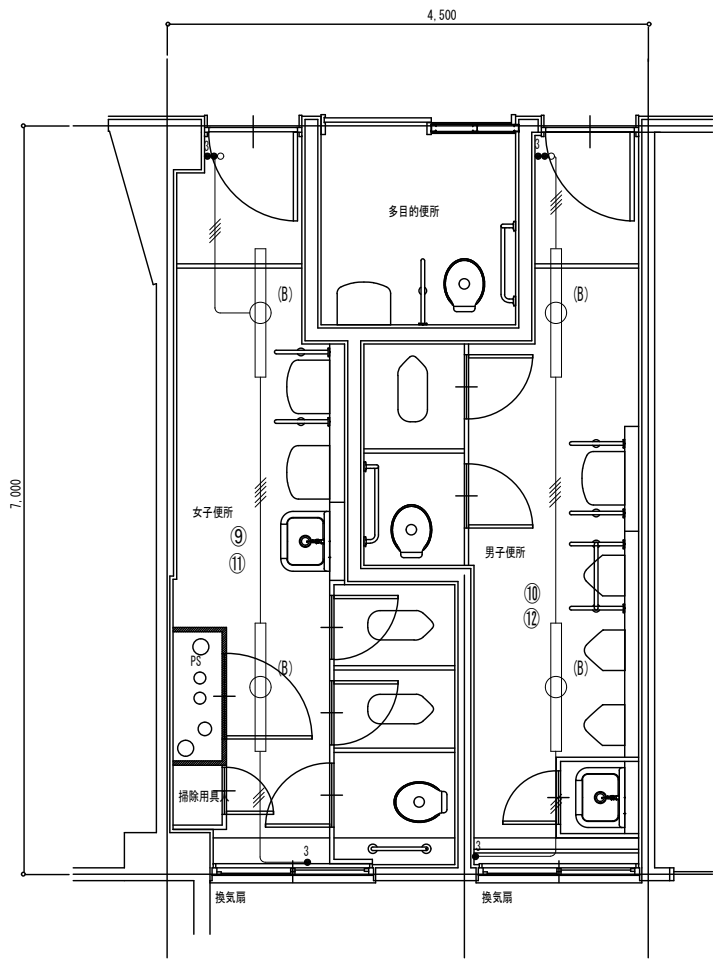
[illegible]

No. E - 02



既設 1階 平面図 1/50

既設分電盤



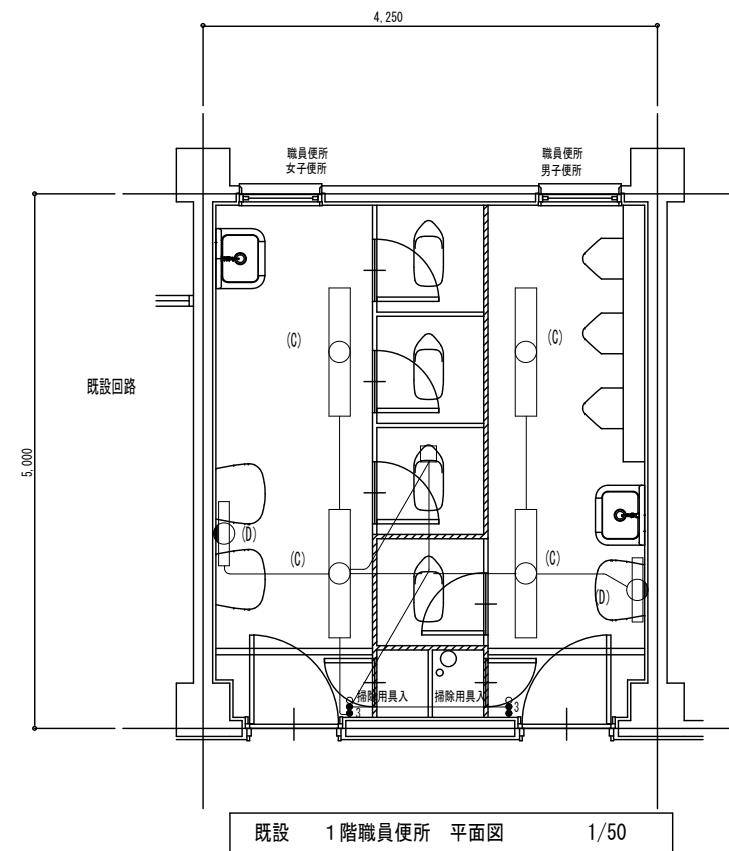
既設分電盤









既設 2・3階 平面図 1/50

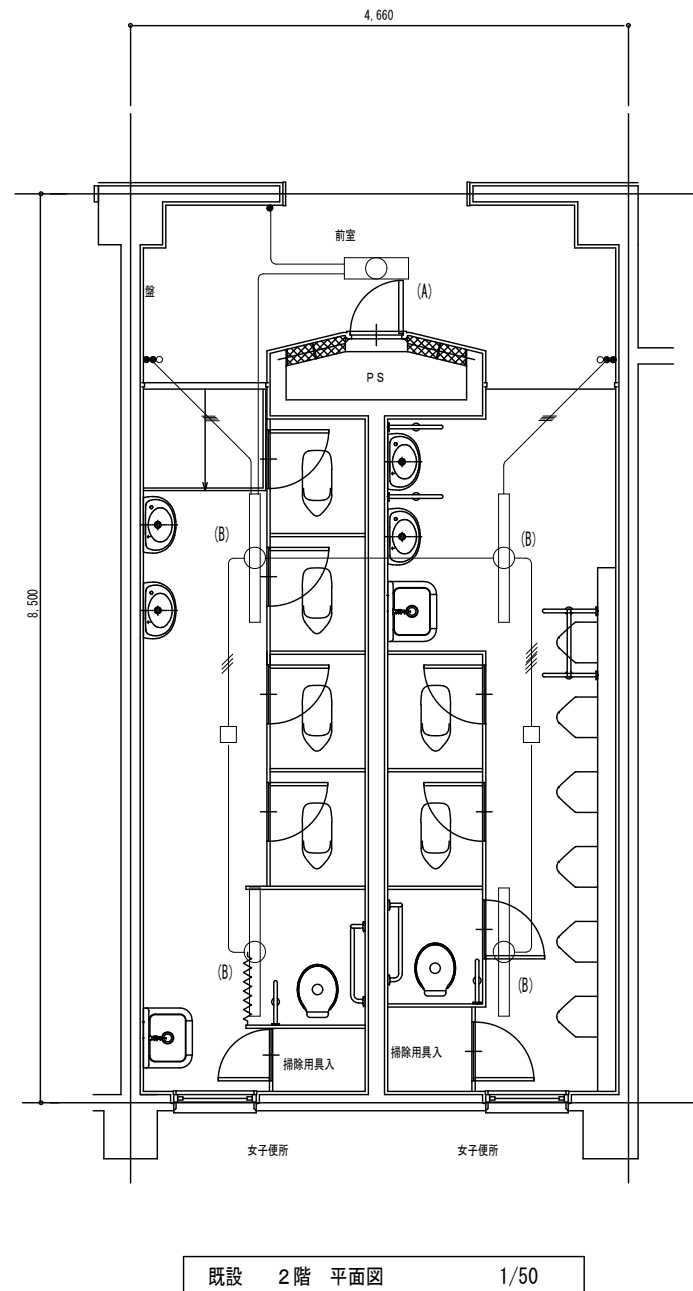
【 注 記 】

1. 図中実線部分の器具及び配管配線の撤去を行うこと		
図中特記なき配管配線は下記とする		
	1V1.6×2	(19)
	1V1.6×3	(19)
	1V1.6×4	(25)
	1V2.0×2 E2.0	(19)

記 号	名 称	備 考
	照明器具	
	照明器具	
	照明器具	
	照明器具	
	スイッチ	1P15A×1
	スイッチ	1P15A×1
	コンセント	2P15A×1
	防水型コンセント	2P15A×2
	天井扇	換気設備
	天井扇	換気設備







記 号	名 称	備 考
 (A)	照明器具	
	照明器具	
 (C)	照明器具	
 (D)	照明器具	
 (E)	スイッチ	1P15A×1
 (F)		1P15A×1
 (G)	コンセント	2P15A×1
 (H)	防水型コンセント	2P15A×2
	天井扇	換気設備
	天井扇	換気設備



【 注 記 】

1. 図中寒線部分の器具及び配管配線の撤去を行うこと

図中特記なき配管配線は下記とする

	1V1.6×2	(19)
	1V1.6×3	(19)
	1V1.6×4	(25)
	1V2.0×2	(19)
	E2.0	(19)

LEDダウンライト

LRS1-25EL9

定 格	8A 100V AC
	天井取付 熱線センサ付自動スイッチ
	検知後連続動作時間、約10秒～30分
	可変形

熱線センサ用自動スイッチ用操作ユニット (2回路)

2SL

※「リフト」3ヶ所付 レート共

定 格	15A 250V
-----	----------

呼出ボタン (引きひも付)

N

形 状	壁埋込型 (JIS1種用スイッチボックス)
材 質	自己消火性樹脂
備 考	引きひも式、押ボタン式両用

LEDダウンライト

LRS1-15EL9

定 格	5mA 12V DC
-----	------------

熱線センサ付自動スイッチ (子器)

SL

定 格	5mA 12V DC
-----	------------

熱線センサ用自動スイッチ用操作ユニット (1回路)

SL

※「リフト」3ヶ所付 レート共

定 格	15A 250V
-----	----------

プザー付廊下灯

NR-B2L827

形 状	壁埋込型 (JIS2種用スイッチボックス)
材 質	プレート：自己消火性樹脂 ランプカバー：ポリカーボネート
備 考	プザー付

◆LEDベースライト TENQOOシリーズ 直付形 幅120

LEXT412253N-LS9

- LED (昼白色)
- 寸法：幅120×1,250×高53
- 本体：鋼板 白
- LEDバー：ポリカーボネート 乳白
- 定格電圧：AC100V～242V
- 消費電力：17.0W (AC200V時)
- 器具光束：2,500 lm 固有エネルギー消費効率：147.0 lm/W
- 寿命：40,000時間 (光束維持率90%)
- 相関色温度：5000K 平均演色評価数 (Ra)：83

熱線センサ付自動スイッチ (子器・換気扇接続端子付)

KL

定 格	1A 100V AC
	天井取付 換気扇 (100W) 接続端子付
	検知後換気扇連続動作時間、約10秒～30分
	可変形

非常呼出し電源装置 AC100V～DC12V

PS

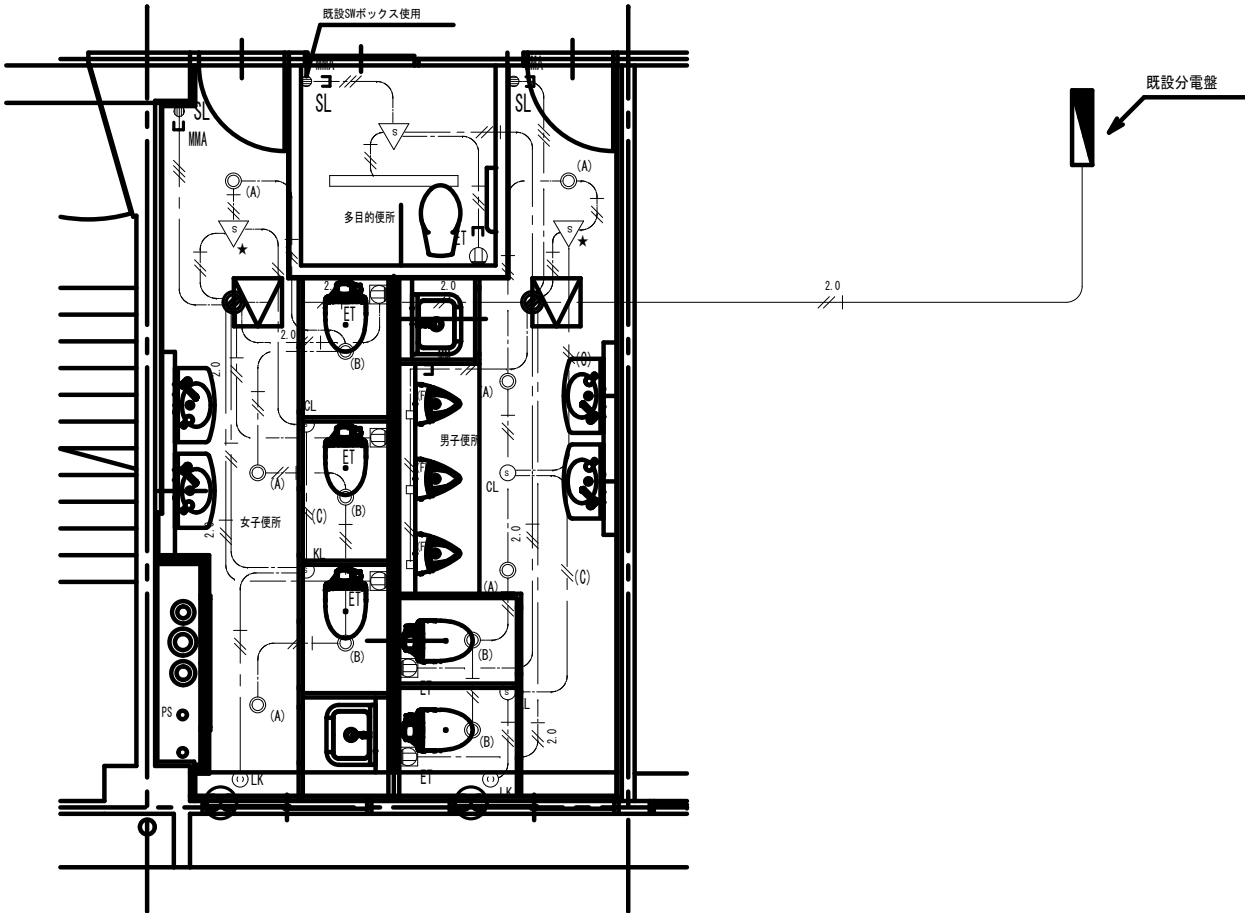
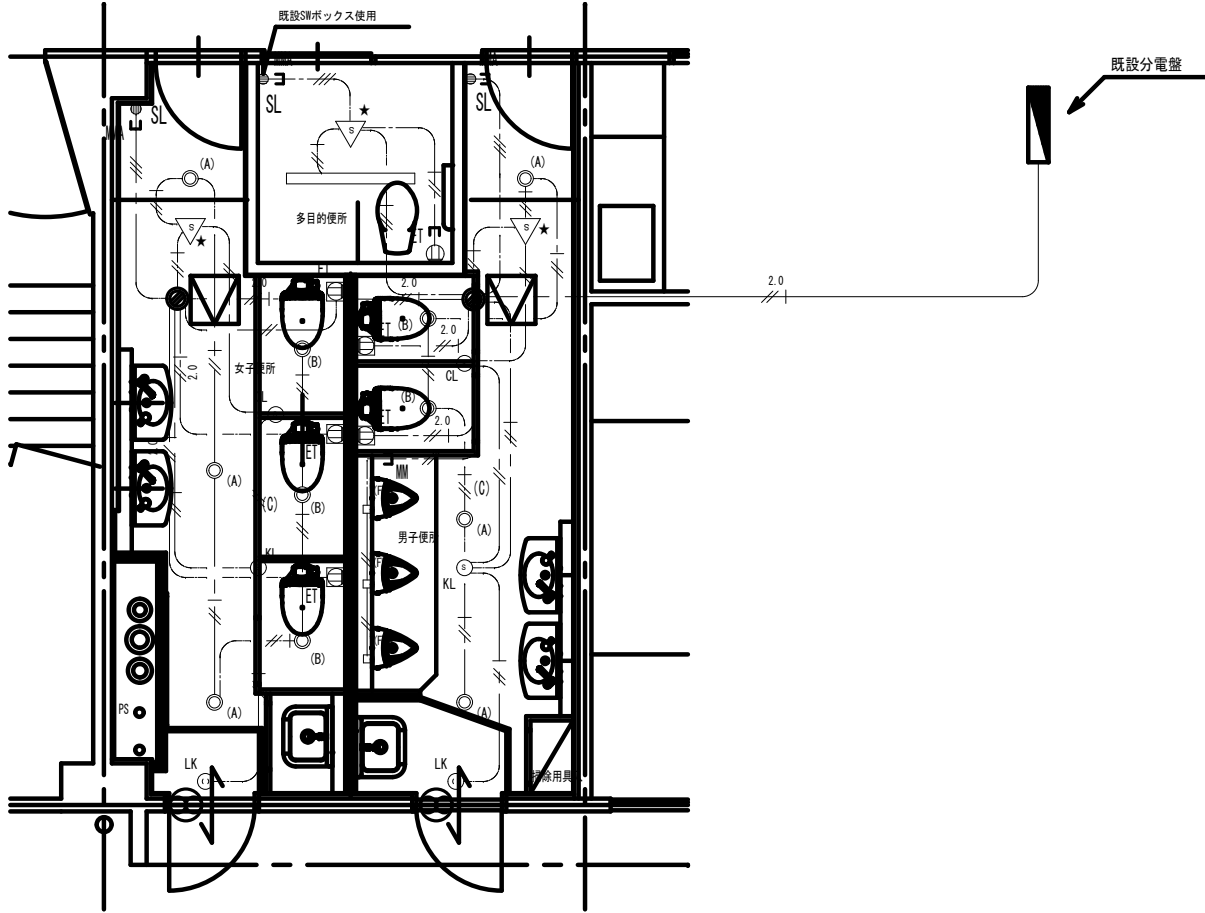
定 格	1A 100V AC
	天井取付 換気扇 (100W) 接続端子付
	検知後換気扇連続動作時間、約10秒～30分
	可変形

復旧ボタン

NR-B2A-C

形 状	壁埋込型 (JIS1種用スイッチボックス)
材 質	樹脂
備 考	非防水形

[illegible]

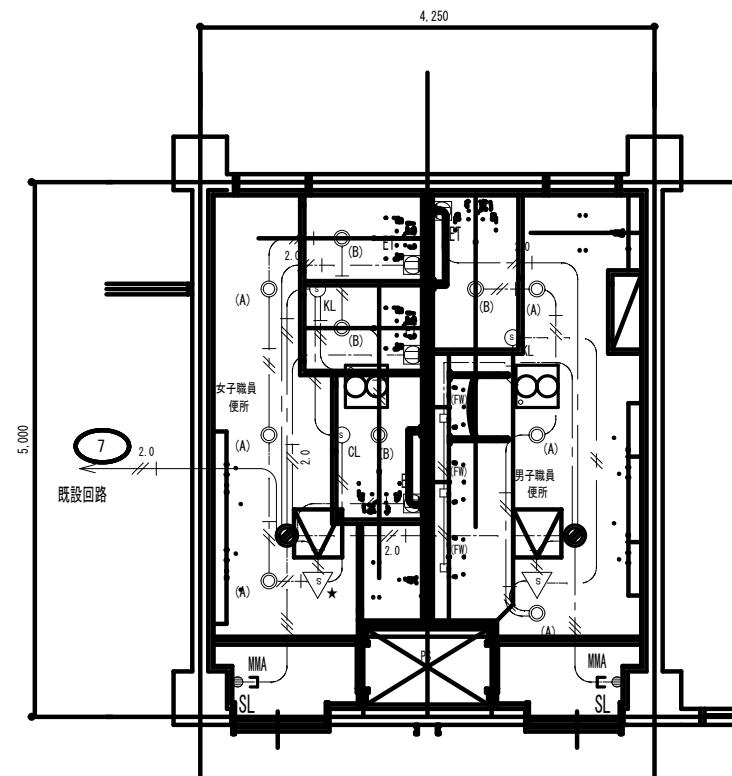


注記 (共通)

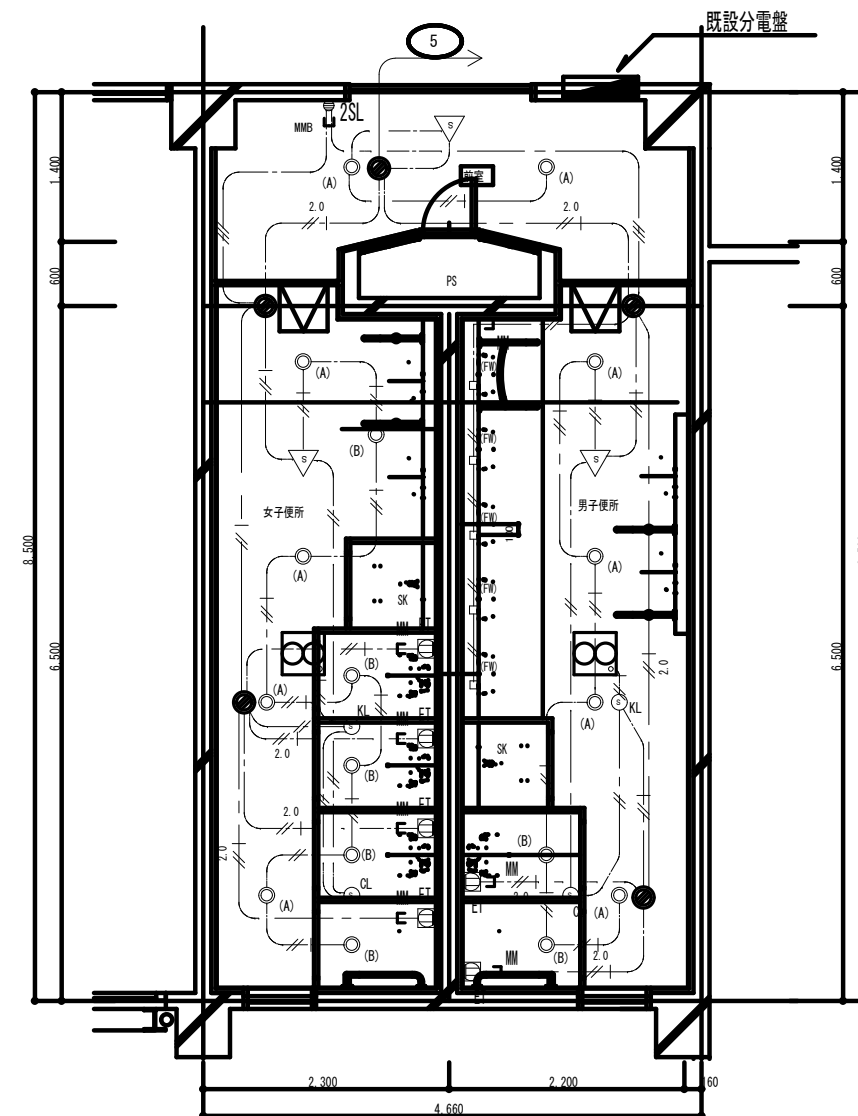
1. 特記なき配管配線は下記による			
	EM-EEF 1.6-2C	天井内コログン配線	
	EM-EEF 1.6-2C x 2	天井内コログン配線	
	EM-EEF 1.6-3C	天井内コログン配線	
	EM-EEF 1.6-3C x 2	天井内コログン配線	
	EM-EEF 2.0-3C (内 1CE)	天井内コログン配線	
	EM-EEF 1.6-2C	天井内コログン配線 (熱線センサ制御線)	
	メタルモールA型	(配線種は上記表記による)	
	メタルモールB型	(配線種は上記表記による)	
	配管PF16	(配線種は上記表記による)	
2. ★箇所について既設配線と接続を行うこと。			

凡例 (共通)

	熱線センサ付自動スイッチ (親器 8A 広角)
	熱線センサ付自動スイッチ (子器)
	熱線センサ付自動スイッチ (子器 換気扇接続端子付)
	熱線センサ付自動スイッチ操作ユニット (1回路用 FL+2,000H MM用露出ボックス ライト SW7° レット共)
	熱線センサ付自動スイッチ操作ユニット (2回路用 FL+2,000H MM用露出ボックス ライト SW7° レット共)
	コンセント 100V 2P15A x 1 (抜止め)
	コンセント 100V 2P15A x 1 (メタルモールスイッチボックス取付)
	換気扇 (換気設備工事)
	天井扇 (換気設備工事)
	小便器感知式フラッシュバル用ボックス
	ジョイントボックス (ナイスハット)











改修 1階 平面図 1/50



改修 2・3階 平面図 1/50

注記（共通）

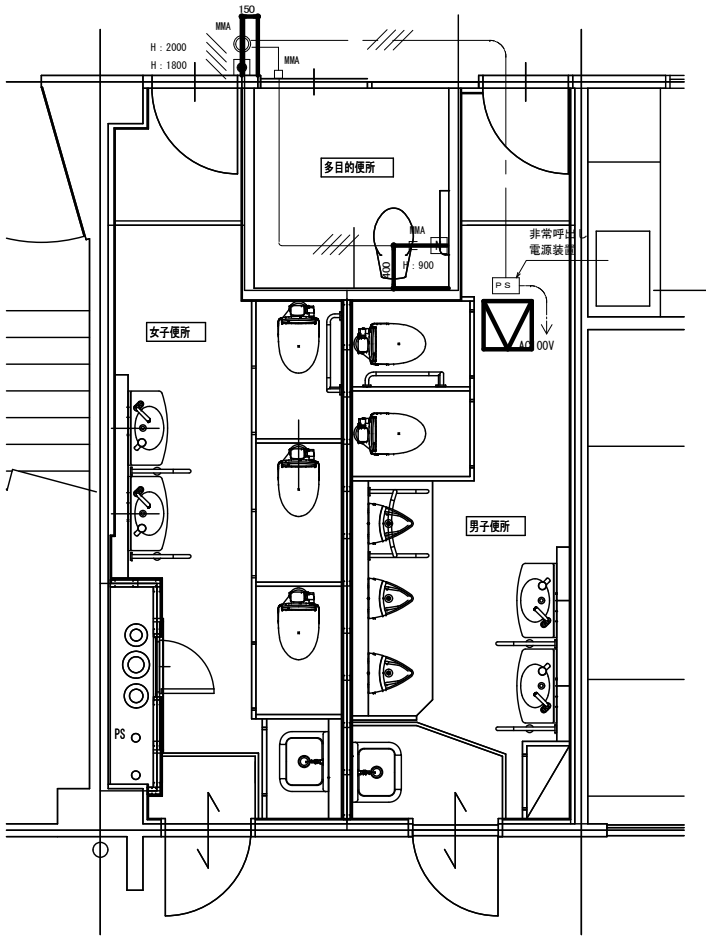
1. 特記なき配管配線は下記による

—  —	EM-EEF 1.6-2C	天井内コログシ配線
—  —	EM-EEF 1.6-2C×2	天井内コログシ配線
—  —	EM-EEF 1.6-3C	天井内コログシ配線
—  —	EM-EEF 1.6-3C×2	天井内コログシ配線
—  —	EM-EEF 2.0-3C (内 1CE)	天井内コログシ配線
—  —	EM-EEF 1.6-2C	天井内コログシ配線(熱線センサ制御線)
—  —	メタルモールA型	(配線種は上記表記による)
—  —	メタルモールB型	(配線種は上記表記による)
— (16) —	配管PF16	(配線種は上記表記による)

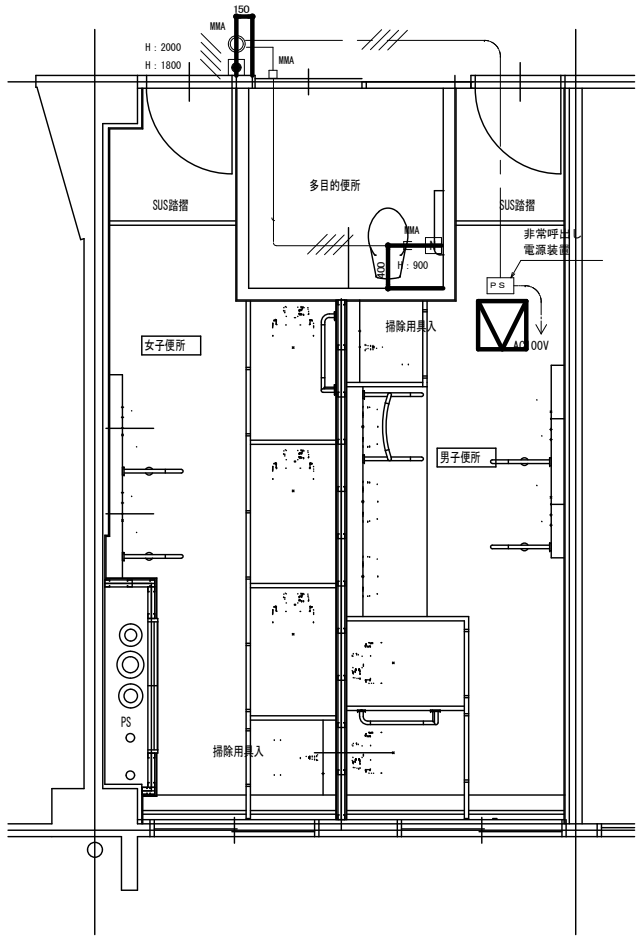
2. ★箇所について既設配線と接続を行うこと。

凡例（共通）

	熱線センサ付自動スイッチ（親器 8A 広角）
	熱線センサ付自動スイッチ（子器）
	熱線センサ付自動スイッチ（子器 換気扇接続端子付）
	熱線センサ付自動スイッチ操作ユニット（1回路用 FL+2, 000H MM用露出ボックサ、ワンポートSW7° レート共）
	熱線センサ付自動スイッチ操作ユニット（2回路用 FL+2, 000H MM用露出ボックサ、ワンポートSW7° レート共）
	コンセント 100V 2P15A×1（抜止め）
	コンセント 100V 2P15A×1（メタルモールスイッチボックス取付）
	換気扇（換気設備工事）
	天井扇（換気設備工事）
	小便器感知式フラッシュバル用ボックス
	ジョイントボックス（ナイスハット）



改修 1階 平面図 1/50



改修 2・3階 平面図 1/50

注記（共通）

1. 特記なき配管配線は下記による			
	EM-AE 1.2-2C	天井内コログシ配線	
	EM-AE 1.2-3C	天井内コログシ配線	
	MMA	メタルモールA型（配線種は上記表記による）	

凡例（共通）

	呼出し押しボタン（引きひも付）	器具リスト参照
	廊下表示灯	器具リスト参照
	復旧ボタン	器具リスト参照
	非常呼出し電源装置 AC100V—DC12V	器具リスト参照

[illegible]

一

般

事

項

共

通

事

項

材料等

基準等

①接着剤

次の1、2及び3を満足するものとする。
1 ホルムアルデヒド放散等級がF☆☆☆☆の規格に適合しているものであること
2 アセトアルデヒド及びスチレンが発散しないか、発散が極めて少ないものであること
3 トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少量のものであること。なお、接着剤及び塗料等に添加されていない材料を使用する場合、フタル酸エステル及びフェニルグリシジルエーテルベンジレン等を含有しない難燃発泡の可塑剤を使用しているものは除く。

②保温材
緩衝材
断熱材

次の1、2を満足するものとする。
1 ホルムアルデヒド放散等級がF☆☆☆☆の規格に適合しているものであること
2 アセトアルデヒド及びスチレンが発散しないか、発散が極めて少ないものであること

③塗料

次の1、2及び3を満足するものとする。
1 ホルムアルデヒド放散等級がF☆☆☆☆の規格に適合しているものであること
2 アセトアルデヒド及びスチレンが発散しないか、発散が極めて少ないものであること
3 トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少量のものであること

④設備機器

製品を構成する建築材料は、次の1及び2を満足するものとする。
1 ホルムアルデヒド放散等級がF☆☆☆☆の規格に適合しているものであること
2 アセトアルデヒド及びスチレンが発散しないか、発散が極めて少ないものであること。
(1.1.4.1)<1.1.4.1>

なお、F☆☆☆☆の規格に適合するものと規定された材料等で、F☆☆☆☆に適合する材料等がない場合は、監督員と協議を行うこと。

●機械の試験

機械の品質及び性能を試験により証明する場合は、試験に先立ち試験計画書を作成し、事前に提出し、原則として監督職員の立ち会いを受けて行う。
ただし、監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。
(1.1.4.6)<1.1.4.6>

●色彩による表示
及び指示

監督職員への指示による。
(1.1.4.2)<1.1.7.4>
<1.1.4.2><1.1.8.5>

○技能士

適用する。
○1級配管技能士（配管工事）
○1級熱絶縁施工技能士（保温工事）
○1級建築板金技能士（ダクト製作及び取付）
○級冷気空調機器施工技能士（冷氣ユニット、パナソニック 空気調和機の据付け整備）

●地中埋設物等

標準仕様書又は改修標準仕様書によるほか、下記による。
施工前に、当該工事に係る地中埋設物等（建物内又は既設コンクリート内の既設配管・配線等）について事前調査を行う。既設構造物の位置及び既設埋設物の経路等が不明な場合は探査方法及び試験操作方法を監督職員と協議する。

○見本施工の実施

図面による。（図面番号）
(1.1.5.4)<1.1.6.5>

○化学物質の濃度
測定

※実施する。（〇着工前 ※施工完了後）
測定対象化学物質 ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、フタル酸エステル等
測定対象室及び測定箇所数

名					
間所数					

○中間技術検査の
実施

○県土マネジメント部建築工事監督及び検査必携（奈良県県土マネジメント部）に定める中間検査による。

●完成図等

○完成図（機器取付含む）
※作成する。（1.1.6.2)<1.1.7.2>
※誤用者において完成図を作成し、複製製本「2」部提出する（原図方）
※完成図は、原則として文字表など、上記紙の書き方は監督職員の指示とする。
○完成図CADデータの提出 ○あり ○なし
参考CADデータの貸与 ○あり ○なし
●保全に関する資料等
保全に関する資料等（建築物の利用に関する説明書、機器取扱説明書、機器保証記録簿、官公署届出書類、主要機器一覧表、総合調整測定表）を提出する。
●その他引き渡し書類
保証書、施工図（制御システム図・機器配置固定図の施工図等）、施工計画書、各種承諾図、工事写真、その他各種検査書類等を整理し、監督職員の指示する部数を提出する。
●既存完成図の修正（多次度継続工事の場合）
既存完成図を今回工事の内容を含んだものに修正し、全体完成図として提出する。

●工事写真・完成
写真

※工事写真 「工事写真の撮影マニュアル（奈良県県土マネジメント部監修）」による
○完成写真 ※工事写真に準じて作成する。
(1.1.2.4)<1.2.4>

分類・規格	掲載枚数	印刷版数の大きさ(mm)
●カラーサービス版	○Q6 ○Q9 ○Q12	○24×36以上
○カラーキャビネット	監督職員指示箇所	○100×125以上

●工事写真 完成写真の部数

（ただし、上記写真は、アルバム製本とする。）
●工事写真 完成写真の部数 工程1部 完成2部提出以下

○制御及び操作盤

機器に付属する制御及び操作盤の仕様の優先順位は、次の（1）～（3）の順番のとおりとする。
（1）図示による。（図面番号）
（2）標準仕様書第2編表2.1.6～2.1.8による。
（3）ただし、標準仕様書編で文字表での明示されたものは除く。また、同表の各機材ごとの△印の項目の適用は、○適用する ○適用しない インターフェイス制御及び操作盤の仕様に沿って標準仕様書第2編1.2.2.2(2)～(4)の規定を ○適用する ○適用しない (2.1.2.2)

●総合調整

※本工事 ○別途工事 総合調整を行う項目は下記による。(2.1.2.2)<2.1.3.2>
○風量調整 ○水量調整 ○室内外空気の温度調整
○室内気流及び塵埃の測定 ○騒音測定 ○初期運転状態の確認
○飲料水の水質測定 ※水道法施行規則第10条による水質検査 ●飲料水適格検査
○雑用水質の測定

●継手

管端コア付鋼管を除く塩化ビニルライニング鋼管、耐熱性塩化ビニルライニング鋼管及びポリ粉体鋼管で、ねじ接合する場合の継手は管端防食継手とし、パイプニップルは管端防食継手に用いるパイプニップルとする。(2.2.1.2)

●一般用弁の耐圧

図面に明記なき一般用弁の耐圧は、下記による。(2.2.2.1)
水直結給配管に使用する弁は、JIS 0.98MPa(10K)弁とする。
その他配管に使用する弁は、 JIS 0.49MPa(5K)弁 ○ JIS 0.98MPa(10K)弁

○鋼管用伸縮継手

※ベローズ形 ○スリッパ形 (2.2.2.7)

●耐火二層管伸縮継手取付箇所は図示による

(2.2.5.15)<2.3.15>

●異種管の接合及び
絶縁継手

●異種管の接合要領
※標準図（施工3） ○図示 （図面番号） (2.2.5.17)<2.3.17>
○機器接続部の金属材料と配管材料のイオン化傾向が大きく異なる場合（銅とステンレス、銅と鉄）は、絶縁継手を使用し、配管が大きい場合は配管と絶縁継手の仕様を図示による。（図面番号） (2.2.2.12)<2.2.4.1>

○量水器

呼称13のもの ※単相縦形接続流羽根式（乾式ゲージ形） (2.2.2.16)
呼称20～40のもの ※縦形接続流羽根式（乾式ゲージ形） (2.2.2.16)
呼称50以上のもの ※た型接続流羽根式（乾式ゲージ形）

○緊急遮断弁装置

適用する (2.2.2.22)

●駆動方式

電気式 ○機械式 (2.2.2.22)

○水栓柱

※合成樹脂製 ○7Φmm以上合金製 ○ｽﾍﾟﾙﾄﾞ製 ○人造石とぎ出し製 (2.2.2.23)
寸法 ※約70mm×約70mm×約1,300mmH ○

○不凍水栓柱の寸法

※全長約1,500mm (2.2.2.24)

○スリッパ

（1）外壁の地中部分で水を密に要する部分のノブ ※つば付鋼管 ○
（2）地中部分で水を密に要しない部分のノブ ※ビニール管（VU） ○
（3）柱及び梁以外の箇所で、開口強度が要求されており、かつ、スリッパ径200mm以下の部分 ※樹脂製 ○
（4）上記以外の鋼管製スリッパ ※白鋼 (2.2.2.27)<2.2.6.0>

共

●誘導電動機

電動機出力が75kW以上の低圧三相かご形誘導電動機の規格は、JIS C 4213（低圧三相かご形誘導電動機—低圧トランスフォーマー）による(2.1.2.1)

●瞬間流量計

○固定形 個 ○若脱可能形(測定用)×1/個、本体 個 (2.2.3.8)

●建物導入部配管

不同況下の恐れがある場合は、標準図（施工4）の7/4×1/2のジョイントを使用した方法で工する。ただし、排気及び通気管を除く。(2.2.4.1)

○空調機用ドクトの形式

図示による。(図面番号) (2.2.4.2)

○ファンコイルの流量弁

○流量調整弁（図面番号） ○定流量弁（図面番号） (2.2.4.2)

●管の接合

●ビニル管 (※接着接合 ○ゴム管接合) (2.2.5.10)<2.3.10>
○架橋ポリエチレン管 ○電気融着接合 ○熱加接合) (2.2.5.12)<2.3.12>
○ポリチン管 ○融着接合 ○電気融着接合 ○熱加接合) (2.2.5.13)<2.3.13>

●耐火二層管 (※接着接合 ○ゴム管接合) (2.2.5.15)<2.3.15>
(伸縮継手の設置箇所は図示による (図示番号))

○溶接部の非破壊検査

※適用しない (2.2.5.16)<2.3.16>
○適用する (○放射線透過検査 ○透過探傷検査又は磁粉探傷検査)
判定基準
採取率は下記による。

溶接部	種 別	使用圧力	蒸気配管	冷却水、冷温水、 消火用水及び 油配管
の種別	検査の種類		1.0MPa未満	1.0MPa未満
溶接部	放射線透過検査(RT)	※ 5 %	※ 10 %	※ 5 %
溶接部	透過探傷検査又は 磁粉探傷検査	※ 5 %	※ 10 %	※ 5 %
溶接部	(PT又はMT)	○ ()	○ ()	○ ()
すみ肉 溶接部	透過探傷検査又は磁粉 探傷検査(RT又はMT)	○ ()	○ ()	○ ()

工場溶接部については適用外(採取率は1/5として可)

●配管・ダクトの
吊り及び支持

(1) 土間埋設配管の吊りはビニル管(材質はポリエチレン)に準じる。
(2) 鋼管、鉄鍍金又はステンレス鋼管の配管径はφ40以下、ビニル管、架橋ポリエチレン管及び鋼管の呼び径20以下の管の形質修正は支持は、(2.2.6.3)<2.2.4.3>
※不要 ○要(支持間隔は図示による。)

○地中埋設管の埋
戻土

コンクリート管以外の管を地中埋設とする場合は、管及び被覆樹根を傷めぬよう山の類で管の周囲を埋戻した後、掘削土の良質土で埋戻す。(2.2.7.1)<2.2.5.1>

○管の埋設深さ

(1) 一般敷道 ※ 300mm ○ (2.2.7.2)<2.2.5.2>
(2) 埋設車道 ※ 600mm ○

○地中埋設管及び
埋設表示用パイプ

(1) 給水管 地中埋設機 (※要 ○不要) 埋設表示パイプ (※要 ○不要)
(2) 排水管 地中埋設機 (※要 ○不要) 埋設表示パイプ (※要 ○不要)
(3) ガス管 地中埋設機 (※要 ○不要) 埋設表示パイプ (※要 ○不要)
(4) 油 管 地中埋設機 (※要 ○不要) 埋設表示パイプ (※要 ○不要)
(5) 地中埋設機の設置箇所は図示による (図面番号)
(6) 埋設給水管管の分岐、曲り部等の衝撃防護措置は図示による。(2.2.7.1)<2.2.3.3>
(図面番号) (2.2.7.1)<2.2.3.3>

○区画貫通部の処理

標準図（施工1）による。(2.2.8.1)<2.2.6.1>

●保温

(1) 保温種別は、標準仕様書第2編表2.3.2及び表2.3.5による。ロック
ウォール保温種別及び断熱種別及びポリスチレンフォーム保温材が併記
されている箇所は、どれを使用してもよい。ただし、給水管、排水管、床下、
暗室内(ビートル室を含む)、屋外露出及び浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井
内は含まない)は、ポリスチレンフォーム保温材とする。
(2) 共同管の保温種別は、図示による。(図面番号)
(3) 冷媒管の保温処理は、下記による。
【屋内】 露出部 ※ 不要 ○ 要
※ 露出部 ※ 保温化粧ケース(化粧ビニル樹脂製) ○
【屋外】 ○ ステンレス鋼板 ○ 溶融塩化カルシウム亜鉛板製 ○ アルミ合金製
○ 保温化粧ケース(化粧ビニル樹脂製) ○ アルミ合金製
○ 溶融塩化カルシウム亜鉛板製 ○ ステンレス鋼板製
保温化粧ケースの下部カバー ○ 要 ※ 不要
断熱材被覆鋼管を使用した場合は保温種別は、図示による。
(4) 鋼板製タンクの保温は、※ 行わない ○ 行う (蓋の部分は行わない)
(5) 次のダクト等には保温を行う場合は、図示による。(図面番号)
○ 換気用ダクト ○ 外気取入れ用ダクト ○ 屋外露出ダクト
○ 空調している建物内の送りダクト ○ 屋外露出排煙ダクト
○ 内貼りのダクト及びチャージャー
○ 断熱材付フレキシブルダクト及びたわみ継手
(6) 屋外露出の煙突及び煙突
(7) 次の管、弁、フランジ等に保温を行う場合は、図示による。(図面番号)
○ 放熱器廻り蒸気配管及び温水管 ○ 蒸気廻り
○ 蒸気管及び温水管で、屋内及び暗室内の各種装置廻りの配管
○ 蒸気管及び温水管で、屋内及び暗室内の弁、フック、伸縮管継手、防振継手、
7/4×1/2のジョイント等
○ 冷凍機の冷却水管
○ ポンプ廻りの防振継手、フックジョイント等
○ 各種タンク類のオーバーフロー管及びドレン管
(冷水、冷温水ダクトの第1バルブまでを要する)
○ エア抜き以降の配管及び排水弁以降の配管等 ○ 油管
○ 衛生器具の付属品と見られる器具及び配管
(流し下部の排水上排水管を含む)
○ 給水用配管で、ポンプ廻りの防振継手、フックジョイント
給水及び排水の地中又はコンクリート埋設配管 ○ 消防水
○ 給湯管で、屋内及び暗室内の弁、フック、伸縮管継手、防振継手、7/4×1/2のジョイント等
○ 保温付被覆鋼管
○ 厨房機器及びガス湯沸器廻りの給水、排水及び給湯管
○ 排水管で、暗室内配管(ビートル室を含む)、最下階の下配管、屋外露出配管
及び耐火二層管
○ 通気管(排水管の分岐点より100mm以下の部分を除く)
(7) 寒冷地等での保温厚は、図示による。(図面番号)
○ 高圧(0.1MPa)以上の蒸気管の保温は、給排水設備、図示による。
(図面番号)
(8) ファンコイルユニット等のドレン管の保温は、給排水設備工事の排水管に
よる。
(10) エア抜き管の保温厚は20mmとし、仕様は当該配管の項に準ずる。
(11) 排水を施す空調用タンクの蓋の保温 ※ 要 ○ 不要
(12) 全熱交換機換気扇の給気ダクトの保温 ※ 要 ○ 不要
(13) 消火用充水タンクの保温 ※ 要 ○ 不要
(2.3.1.4)<2.3.1.5>(2.3.1.6)

○塗装

(1) 塗料を屋内で使用する場合は4747で放散 ※ F☆☆☆☆ ○
(2) 表2.3.10にない場合は、図示による。(図面番号) (2.3.1.1)
(3) 調査・判定済みの塗料 ※ JIS K 5516(合成樹脂塗料)の1種 ○
7432にない塗料 ※ JIS K 5492(7432にない塗料)の1種 ○
(4) 下記の金属電気管は、塗装を行う。
※ 屋外配管 ○ 屋内露出
下記の保温を施さない垂れ管を施した外及び配管は、塗装を行わない。
○ 扉庫 ○ 機械室

○土工事

○地中埋設管を除き、埋戻し及び盛土は、※ 要 ○ 不要
※ 根切り土の中の良質土を使用し、十分な締め固めを行う。(2.2.7.1)<2.2.1.1>
○山砂の類を使用し、十分な締め固めを行い、水締めを行う。
○ 残土処分
※ 構内指示の場所に分散せしめ ○ 構外処分

○コンクリート工事

図面に明記なきコンクリート設計基準強度及びスランプは、下記による。(2.4.4.1)
設計基準強度 ※ 18 N/mm²以上 ○
スランプ ※ 18 cm以下 ○

●鋼材工事

鋼管架台、はしご等の機器付属物及び配管、ダクトの支持物の屋外部分は、ステン
レス鋼(SUS304)又は溶融亜鉛めっき(※JIS H 5352(2種)50)とする。
ただし、ビートル室内等多湿箇所の吊り及び支持金物はステンレス鋼(SUS304)とする。
(2.4.6.2)<2.5.2>

● はつり

○ 容量等の表示

○ 防火区画

○ 掲示板

○ 天井仕上区分

○ マンホール、蓋類

○ 取替機器

● 天井点検口

○ 耐震施工

既存のコンクリート床、壁等配管貫通部の穴明けは、原則として「ヤモリ」か「カ」を使用する。
なお、復旧は「ヤモリ」を充てんする。（建築基準法令に適合させること）

機器等の能力、容量等は表示された数値以上とする。
ただし、電動機の出力、燃料消費量及び圧力損失は表示された数値以下とする。

○ 平面階 ○ 図示（図面番号） ○

機械室に操作順序、注意事項、連絡先及び系統図等を描いた掲示板を設ける。
() 書きの室名は直天井と表示し、その他は二重天井を示す。

用途入りとする。 ○ 黒名入りとする。

機器を取り替えた場合、取替日、譲渡者名、施工者名及び能力を記した銘板を取付ける。

天井点検口の裏面に用途名称を付す。

設備機器の固定は「建築設備耐震設計・施工指針（国土交通省国土技術政策総合研究所監修）2014年版」による。なお設計用水平地震力は、次に示す設計用標準水平地震に、機器の重量を乗じたものとす。
また、設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1/2とする。

設置場所	○ 特定の施設		※一般の施設	
	機器	水槽類	機器	水槽類
上層階、屋上及び塔屋	2.0(2.5)	2.0	1.5(2.0)	1.5(2.0)
中層階	1.5(1.5)	1.5	1.0(1.5)	1.0
1階及び地下階	1.0(1.0)	1.5	0.6(1.0)	0.6(1.0)

注 () の内の数値は、振振支持の機器の場合に適用する。
重要機器（水槽類）は、下記による。（水槽類にはオイルタンク等を含む。）
上層階の足場は、次に示す。
6階以下の場合には最上層、7～9階建の場合には上層2階、 (3.2.1.1) (5.2.1.1)
10～12階建の場合には上層3階、13階建以上の場合には上層4階 (3.2.1.1) (5.2.1.1)
建築設備耐震設計・施工指針(2014年版) による形骸破れ止め支持を行う場合は、SA値

仮

設

工

事

空

気

調

和

機

備

○ 監督職員事務所

○ 総合会議室

○ 監督職員事務所の備品

● 工事用水

○ 工事用電力

○ 工事用仮設物

○ 足場、さん橋類

○ 方式

○ 主要熱源機器

○ 設計時の温湿度条件

○ ダクトの種別

○ ダクトの工法

○ チャンパー等

○ 吹出口及び吸込口ボックスの材料

○ 風量測定口の取付位置

○ 配管材料

○ 備

※別途工事 () (2.4.1.1) (1.2.3.1)
○ 本工事（総棟 ※10m程度 ○20m程度 ○30m程度 ○65m程度 ○100m程度

部位	仕 様	
	内 装	外 装
天井	※化粧板張り又は石膏ボード張り＋塗装	○
屋根	※塗装遮熱車輪めつき鋼板張り又は鉄板張り＋塗装	○

※別途工事 () ○ 本工事（規模 m程度） (2.4.1.1) (1.2.3.1)

監督職員事務所を設ける場合の備品は、図面番号 () による。 (2.4.1.1) (1.2.3.1)

構内既存の施設 ※利用できない ○ 利用できる () ●有償 ○無償 (1.2.2.2)

構内につくることが ※できる ○できない

※関係者が設置したものは、無償で使用できる。
●本工事で設置する。
（足場を設ける場合は、「『手すり先行工法』に関するガイドライン」について、
国土労働基準第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「簡易な安全安心のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さ及び幅木の機能をもつ足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立てに関する基準」の2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。なお単管足場は組立足場を用いる場合の設置場所については図示による。 (2.4.1.1) (1.2.2.1)

場所	屋外		屋内（標準値目標値）			
	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)
冬期	0℃	58.0%	19℃	40%	℃	%
夏期	34.6℃	55.2%	28℃	50%	℃	%

※低圧ダクト ○高圧1ダクト ○高圧2ダクト (3.2.2.2) (3.2.2.2)

○アングルフラジエ工法 ○スライダラジエ工法 ○フレキシブルダクト
○コーナースリット工法 () ○非破壊フラジエ工法 () (3.2.2.5)
○（長さの長さが1500mm以下の部分） (3.2.2.1) (3.2.2.5)
※屋外に設置するダクト類にはシール等で水密を確保する。 (3.2.2.1) (3.2.2.5)

製作及び取付は、標準仕様書第3編2.2.2「アングルフラジエ工法」の当該事項による。
消音内貼 ※要 (標準仕様書第2編表2.2.2及び表2.3.4による。) (2.3.1.4) (3.1.14.5) (3.2.2.2) (3.2.2.7)

※亜鉛鉄板製 ○ガラスウール製 (3.1.14.6)
○ガラスウールの厚さは3点支持を標準とし、これによれない場合は監督職員との協議による。

図示による。（図面番号） (3.2.2.7)

図面に明記なき配管材料は、下記による。 (2.2.1.2)
(1) 冷水温水・膨張管：エアー抜き管・膨張タンクよりボイラー等への補給給水管
※配管用炭素鋼鋼管（白管）
○耐熱性ライニング鋼管 (SGP-HVA, SGP-H-FVA, SGP-H-FCA)
○ステンレス鋼管 (SUS304)（継手） ○架橋ポリエチレン管
○ポリブレン管
(2) 冷却水配管
※配管用炭素鋼鋼管（白管）
○硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VA, SGP-FVA)
○ポリエチレン粉体ライニング鋼管 (SGP-PA, SGP-FPA)
○ステンレス鋼管 (SUS304)（継手）
(3) 蒸気給気管
※配管用炭素鋼鋼管（黒管）
○圧力配管用炭素鋼鋼管 (SPG6370黒管Sch40)


					日 誠 建 設 株 式 会 社	承 認	照 合	製 図	縮 尺	工事名称 天理市井戸堂・柳本本小学校 トイレ改修等工事		
										設計年月日	図面名称 天理市立柳本小学校 特記仕様書 1	N o . M - 01

衛生器具。機器表 (現況撤去処分)

[illegible]

注記 上記リスト記載 形名は参考品とし、仕様・能力・形状を考慮のこと

					日 誠 建 設 株 式 会 社	承認	照 合	製 図	縮尺	工事名称 天理市井戸堂・柳本小学校 トイレ改修等工事		
									A2 1:50			
									設計年月日	天理市立柳本小学校		No. M - 03
									図面名称	衛生器具リスト (現況 撤去)		

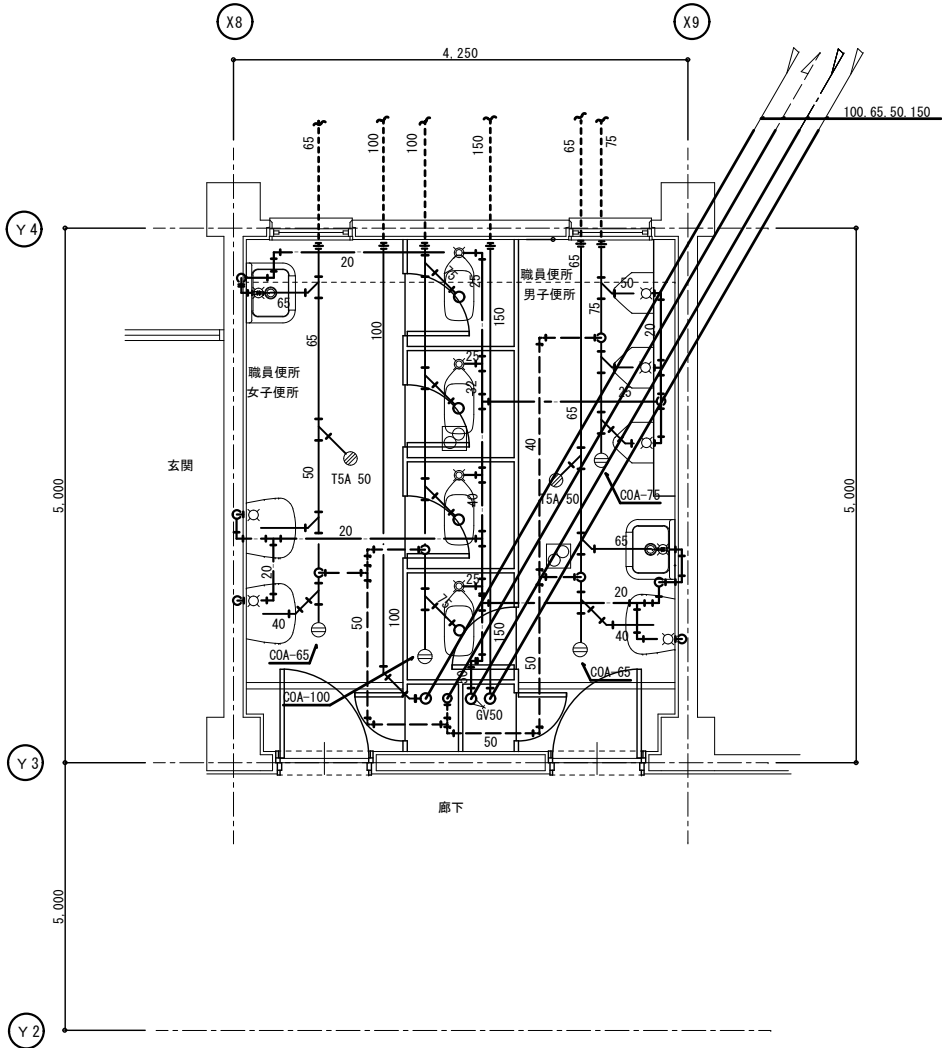
既設配管材料	
給水管	H1VP:耐衝撃性塩ビ管
汚水・雑排水管	VP:硬質塩ビ管
通気管	VP:硬質塩ビ管
	配管切断箇所
※便所・PS内 衛生器具・配管類はすべて撤去処分とする。	
※既設床コンクリート他 解体復旧は建築工事とする。	
※既設配管撤去に伴い不要配管は 現状放置とする。	
※既設配管撤去後 不要配管閉栓 穴埋補修とする。	
※既設配管図は参考とし、現場調査確認の事。	
※既設貫通穴補修・復旧は建築工事とする。	
※再使用可能部分を考慮にて施工のこと。	

12棟 職員便所 1階 (現況、撤去)			
名 称	品 番	備 考	数 量
和風便器	C-75 (FV)	撤去処分	4
小便器	U-307	〃	3
洗面器	L-230	〃	3
化粧鏡	TS119FR2	〃	3
化粧棚	S-3	〃	3
掃除流し	SK-22A	〃	2
床排水金物	T5A 50	〃	2
床上掃除口	COA-100	〃	1
〃	COA-75	〃	1
〃	COA-65	〃	2
天井換気扇			2

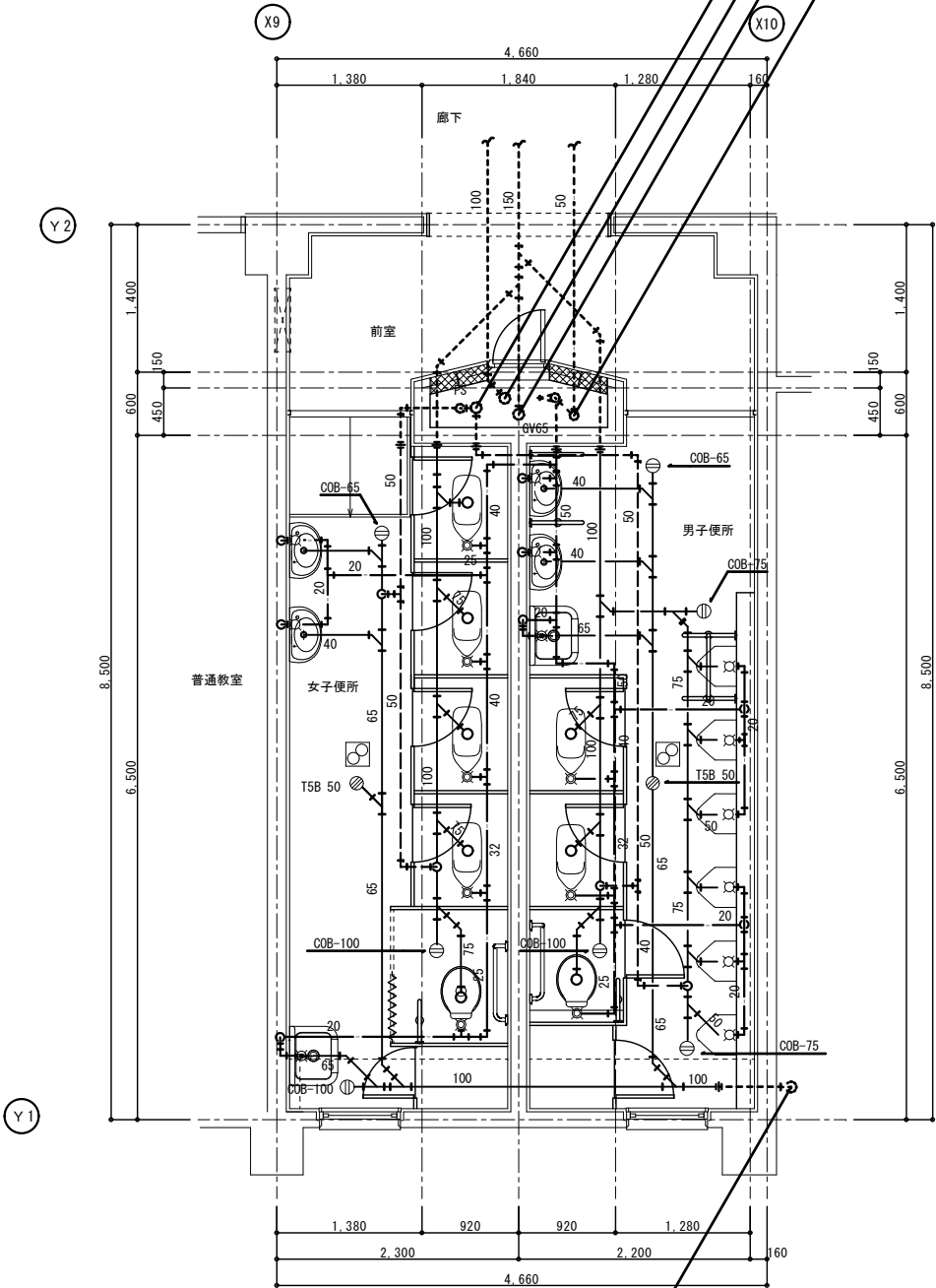
12棟 2階便所 (現況、撤去)			
名 称	品 番	備 考	数 量
和風便器	C-75 (FV)	撤去処分	6
洋風大便器	C-21 (FV)	〃	2
小便器	U-307	〃	6
洗面器	L-230	〃	4
化粧鏡	TS119FR2	〃	4
化粧棚	S-3	〃	4
掃除流し	SK-22A	〃	2
L型手摺		〃	2
小便器手摺		〃	1
床排水金物	T5B 50	〃	2
床上掃除口	COB-100	〃	3
〃	COB-75	〃	2
〃	COB-65	〃	2
天井換気扇			2

PS内床無し 給水 HIVP 排水水 VP

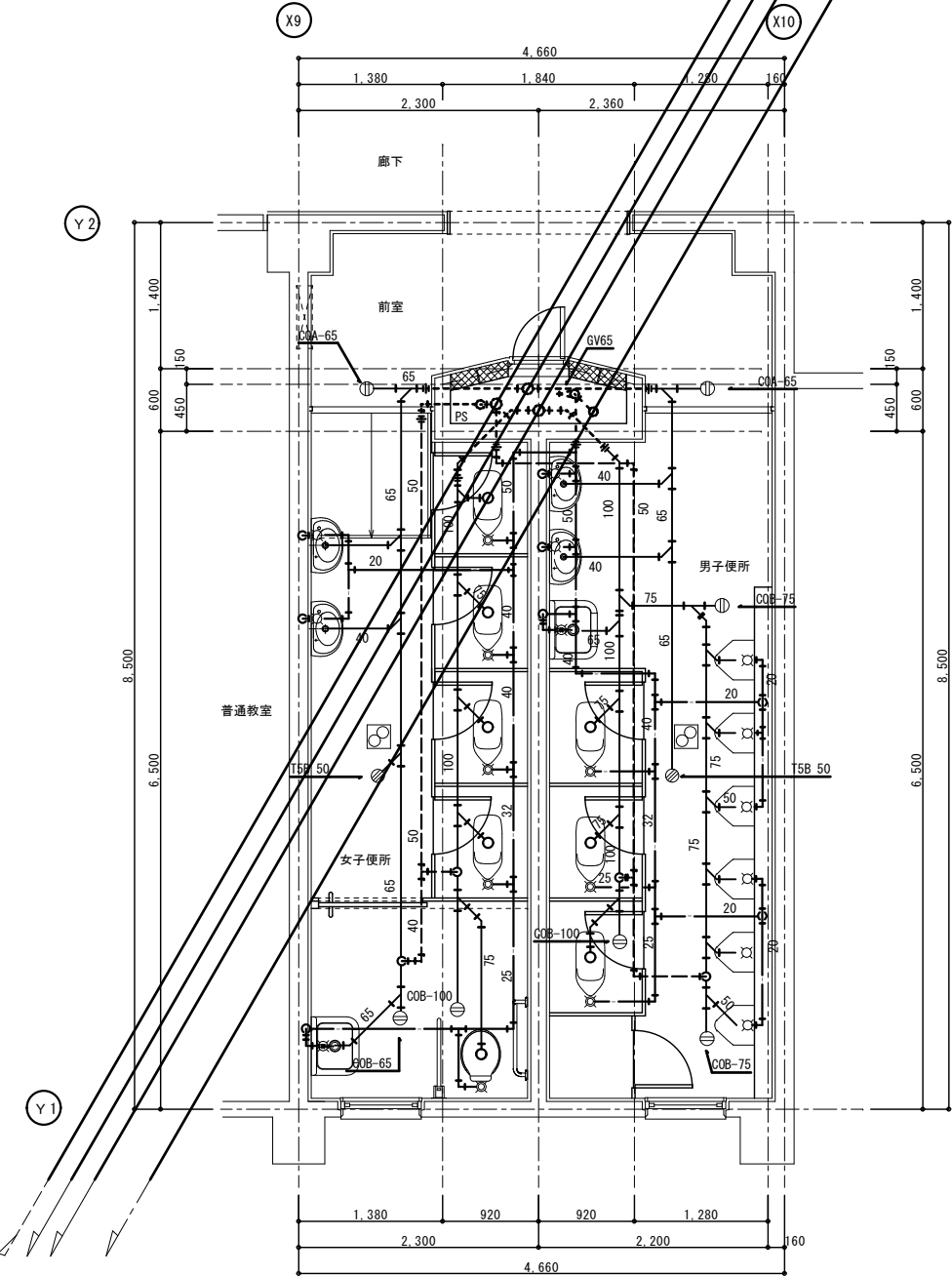
12棟 3階便所 (現況、撤去)			
名 称	品 番	備 考	数 量
和風便器	C-75 (FV)	撤去処分	7
洋風大便器	C-21 (FV)	〃	1
小便器	U-307	〃	6
洗面器	L-230	〃	4
化粧鏡	TS119FR2	〃	4
化粧棚	S-3	〃	4
掃除流し	SK-22A	〃	2
L型手摺		〃	1
床排水金物	T5B 50	〃	2
床上掃除口	COB-100	〃	2
〃	COB-75	〃	2
〃	COB-65	〃	3
天井換気扇		〃	2




撤去平面詳細図(1階) S=1/50
12棟 1階 職員便所



撤去平面詳細図(2階) S=1/50
12棟 2階 便所



撤去平面詳細図(3階) S=1/50
12棟 3階 便所

既設配管材料	
給水管	VLP：塩ビパイプ鋼管 H1VP：耐衝撃塩ビ管
汚水・雑排水管	VP：硬質塩ビ管
通気管	VP：硬質塩ビ管
	配管切断箇所
※便所・PS内 衛生器具・配管類はすべて撤去処分とする。	
※既設床コンクリート他 解体復旧は建築工事とする。	
※既設配管撤去に伴い不要配管は 現状放置とする。	
※既設配管撤去後 不要配管閉栓 穴埋補修とする。	
※既設配管図は参考とし、現場調査確認の事。	
※既設貫通穴補修・復旧は建築工事とする。	
※再使用可能部分を考慮にて施工のこと。	

6-1棟 1階便所 (現況、撤去)			
名 称	品 番	備 考	数 量
和風便器	C-75 (FV)	撤去処分	3
洋風大便器	C-21 (FV)	〃	2
小便器	U-307	〃	3
洗面器	L-230	〃	3
化粧鏡	TS119FR2	〃	3
化粧棚	S-3	〃	3
掃除流し	SK-22A	〃	2
L型手摺		〃	2
小便器手摺		〃	1
洗面器手摺		〃	2
床排水金物	T5A 50	〃	4
床上掃除口	COA-100	〃	2
〃	COA-75	〃	2
〃	COA-65	〃	1
換気扇	250φ	〃	2

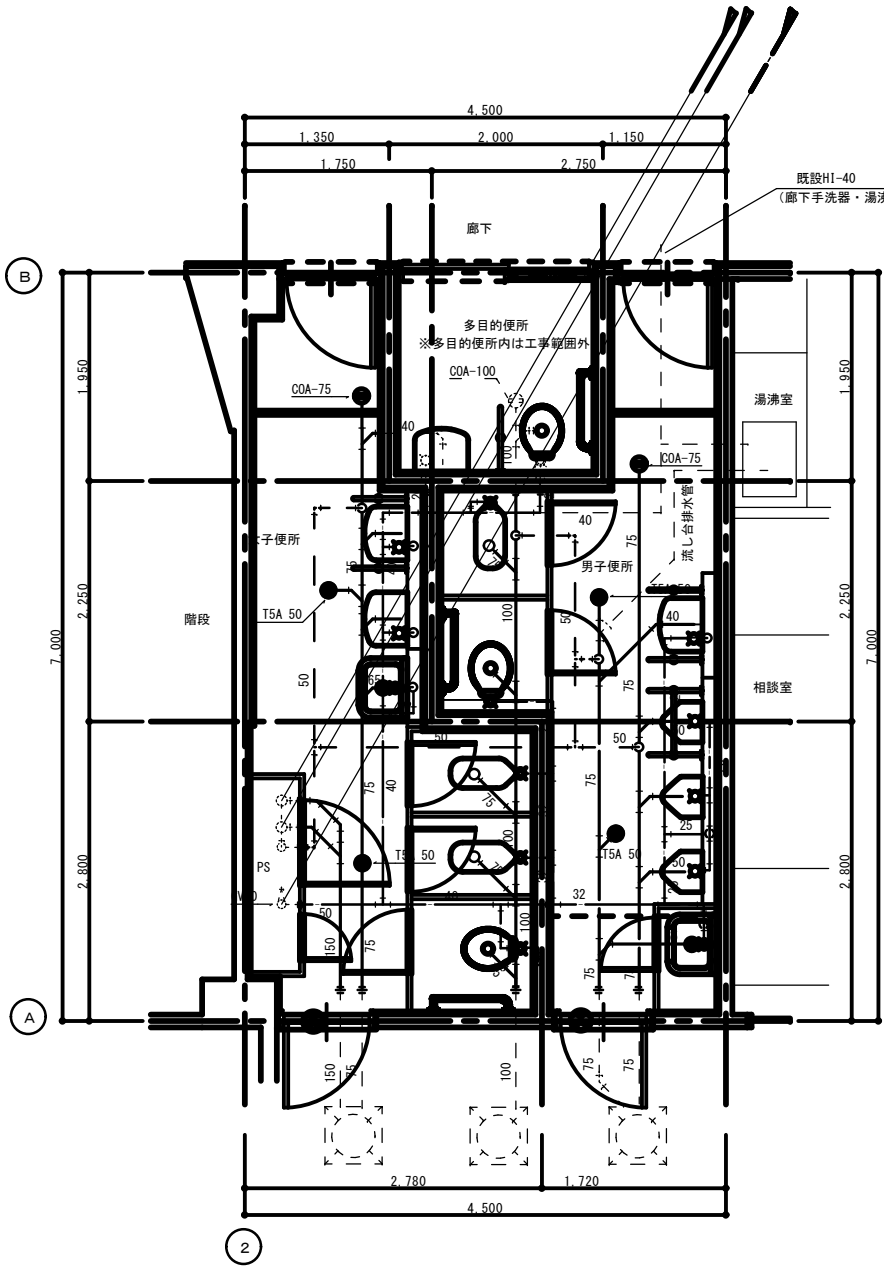
※多目的便所内は工事範囲外（現状存置）とする。

6-1棟 2階便所 (現況、撤去)			
名 称	品 番	備 考	数 量
和風便器	C-75 (FV)	撤去処分	3
洋風大便器	C-21 (FV)	〃	2
小便器	U-307	〃	3
洗面器	L-230	〃	3
化粧鏡	TS119FR2	〃	3
化粧棚	S-3	〃	3
掃除流し	SK-22A	〃	2
L型手摺		〃	2
小便器手摺		〃	1
洗面器手摺		〃	2
床排水金物	T5B 50	〃	4
床上掃除口	COB-100	〃	1
〃	COB-75	〃	1
〃	COB-65	〃	1
換気扇	250φ	〃	2

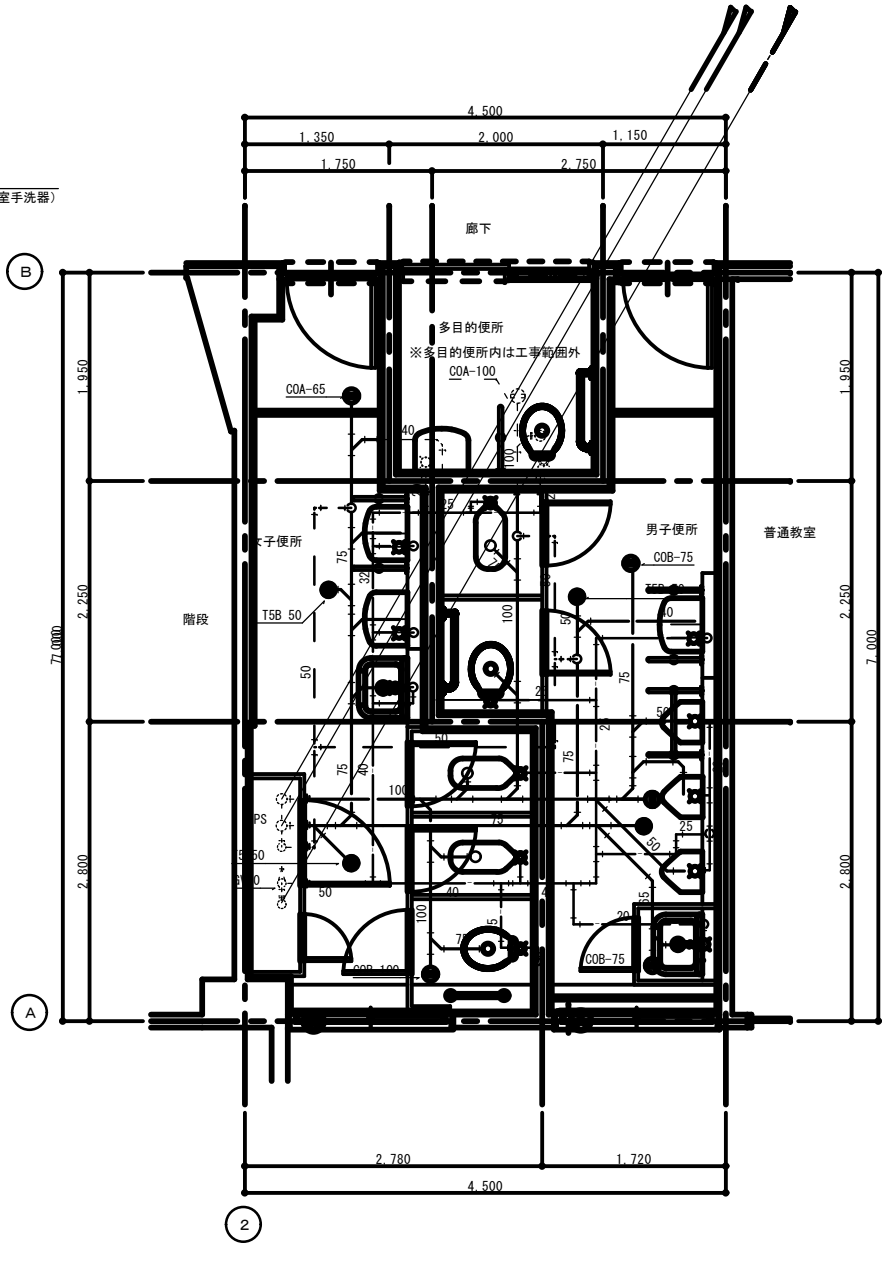
※多目的便所内は工事範囲外（現状存置）とする。

6-1棟 3階便所 (現況、撤去)			
名 称	品 番	備 考	数 量
和風便器	C-75 (FV)	撤去処分	3
洋風大便器	C-21 (FV)	〃	2
小便器	U-307	〃	3
洗面器	L-230	〃	3
化粧鏡	TS119FR2	〃	3
化粧棚	S-3	〃	3
掃除流し	SK-22A	〃	2
L型手摺		〃	2
小便器手摺		〃	1
洗面器手摺		〃	2
床排水金物	T5B 50	〃	4
床上掃除口	COB-100	〃	1
〃	COB-75	〃	1
〃	COB-65	〃	1
換気扇	250φ	〃	2

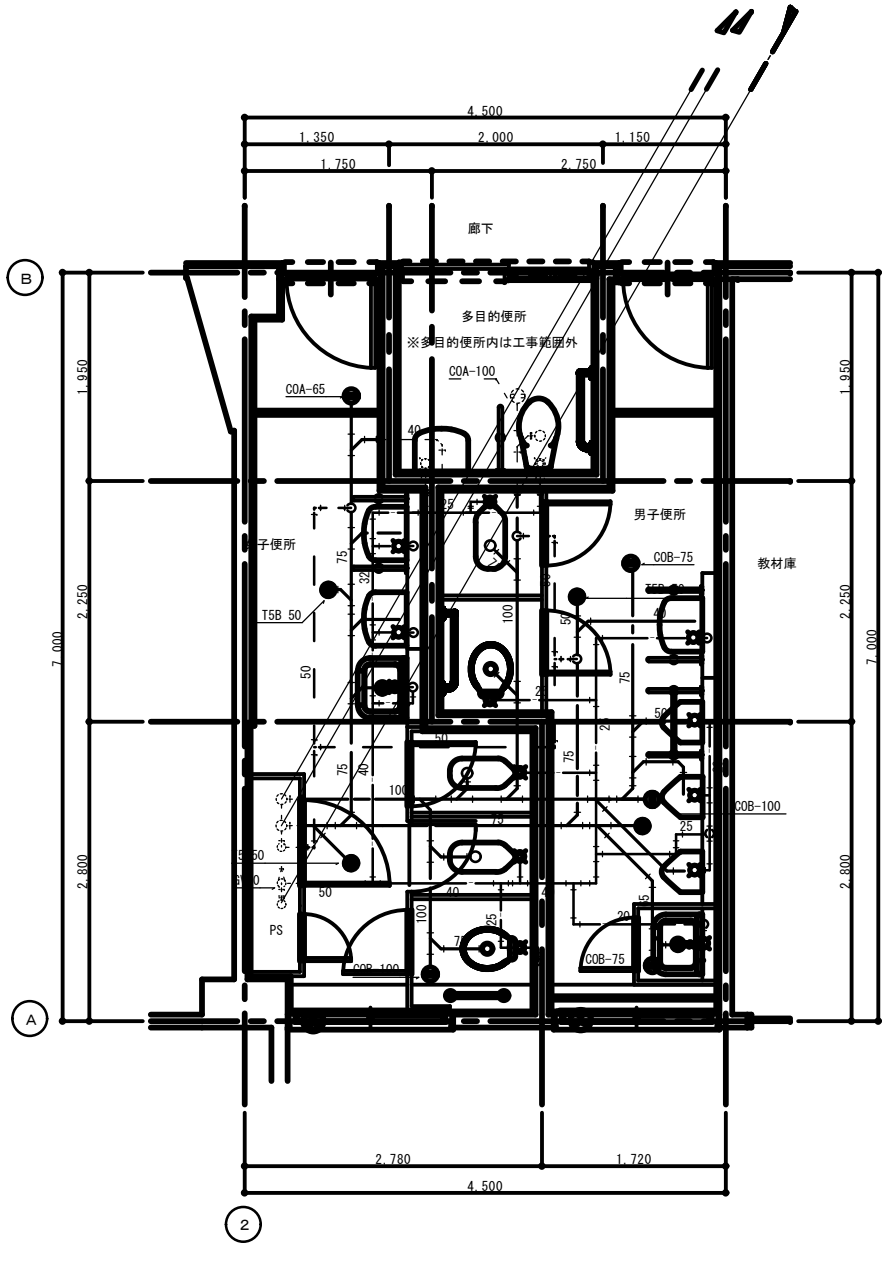
※多目的便所内は工事範囲外（現状存置）とする。



撤去平面詳細図(1階) S=1/50
6-1棟 1階 便所



撤去平面詳細図(2階) S=1/50
6-1棟 2階 便所



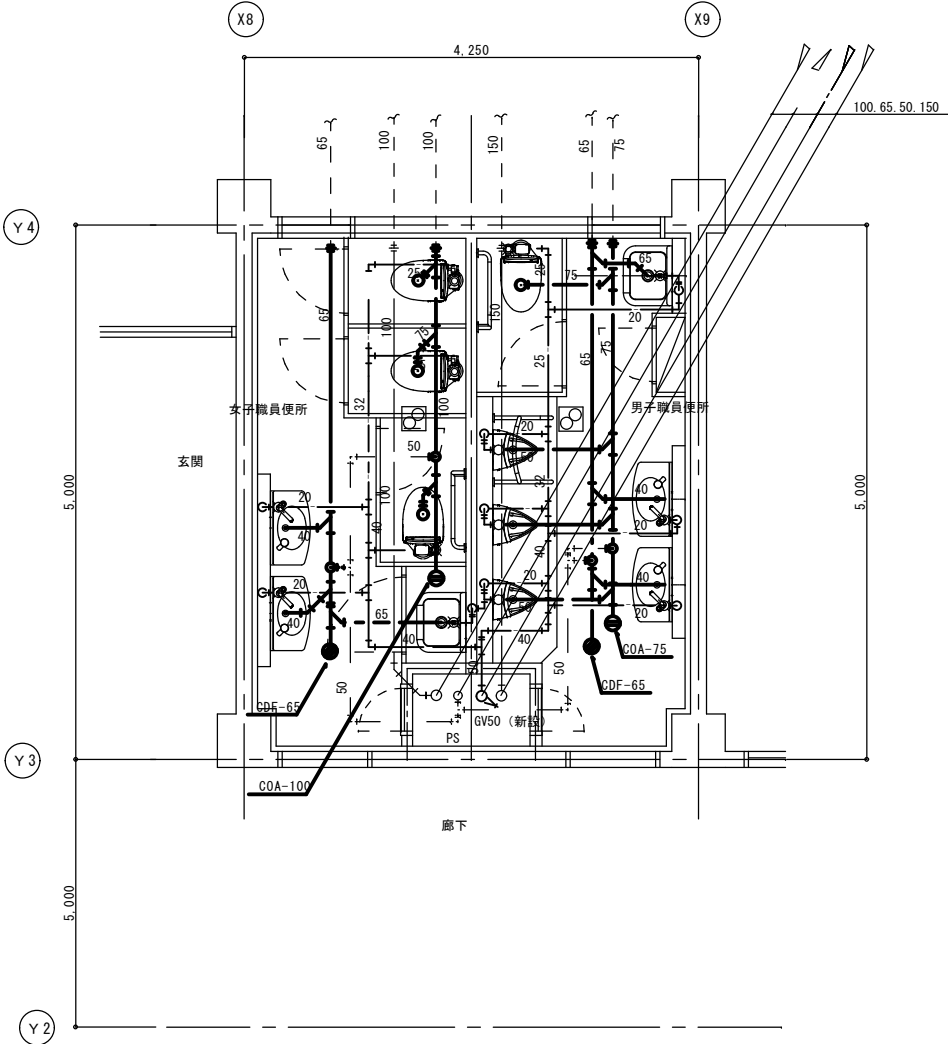
撤去平面詳細図(3階) S=1/50
6-1棟 3階 便所

改修配管材料	
給水管	H1VP：耐衝撃性硬質塩ビ管
汚水・雑排水管	VP：硬質塩化ビニル管
TMP	：耐火二層管
通気管	VP：硬質塩化ビニル管
	TMP：耐火二層管
揚水管	H1VP：耐衝撃性硬質塩ビ管
—+ —	既設配管との再接続部を示す
— — —	既設配管を示す
— —	既設配管が「サグ・キャップ」止の機械はつり補修（鉄筋探索の上）
※他系統への配管は再接続とする。	

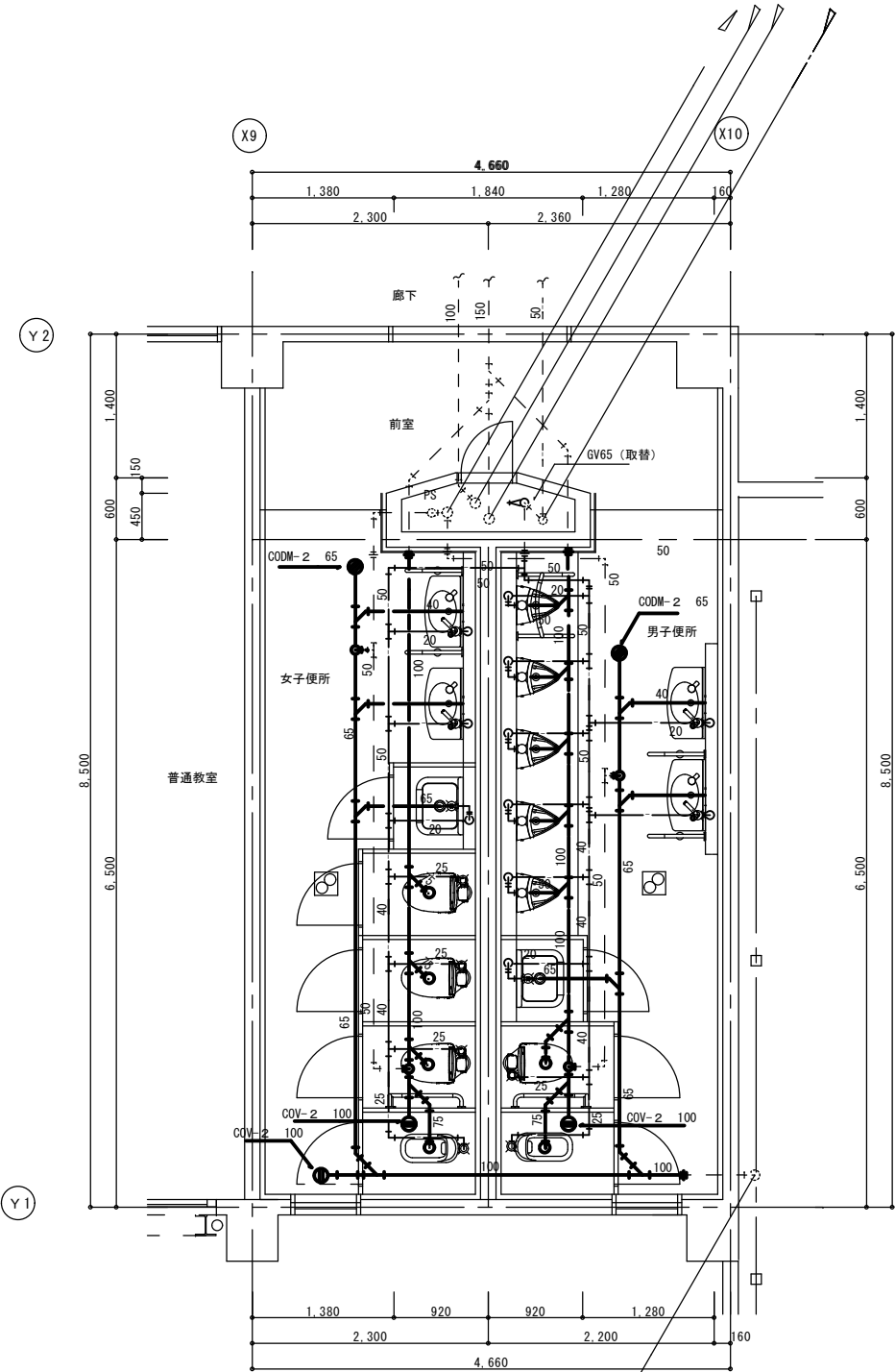
12棟 職員便所 1階 (改修)				
名 称	品 番	備 考	数量	
洋風大便器	CS494MJ	新設	4	
自動洗浄小便器	UFS900R	〃	3	
洗面器	L270CM	〃	4	
化粧鏡	YM4560A	〃	4	
掃除流し	SK-22A	〃	2	
床上掃除口	COA-100	〃	1	
〃	COA-75	〃	1	
床掃葉ドレン	CDF-65	〃	2	
天井換気扇	VD23ZB12	〃	2	

12棟 2階便所 (改修)				
名 称	品 番	備 考	数量	
洋風大便器	CS494MJ	新設	4	
和風大便器	C755VCU (FV)	〃	2	
自動洗浄小便器	UFS900R	〃	5	
洗面器	L270CM	〃	4	
化粧鏡	YM4560A	〃	4	
掃除流し	SK-22A	〃	2	
床上掃除口	COV-2 100	〃	3	
床掃葉ドレン	CODM-2 65	〃	2	
天井換気扇	VD23ZB12	〃	2	

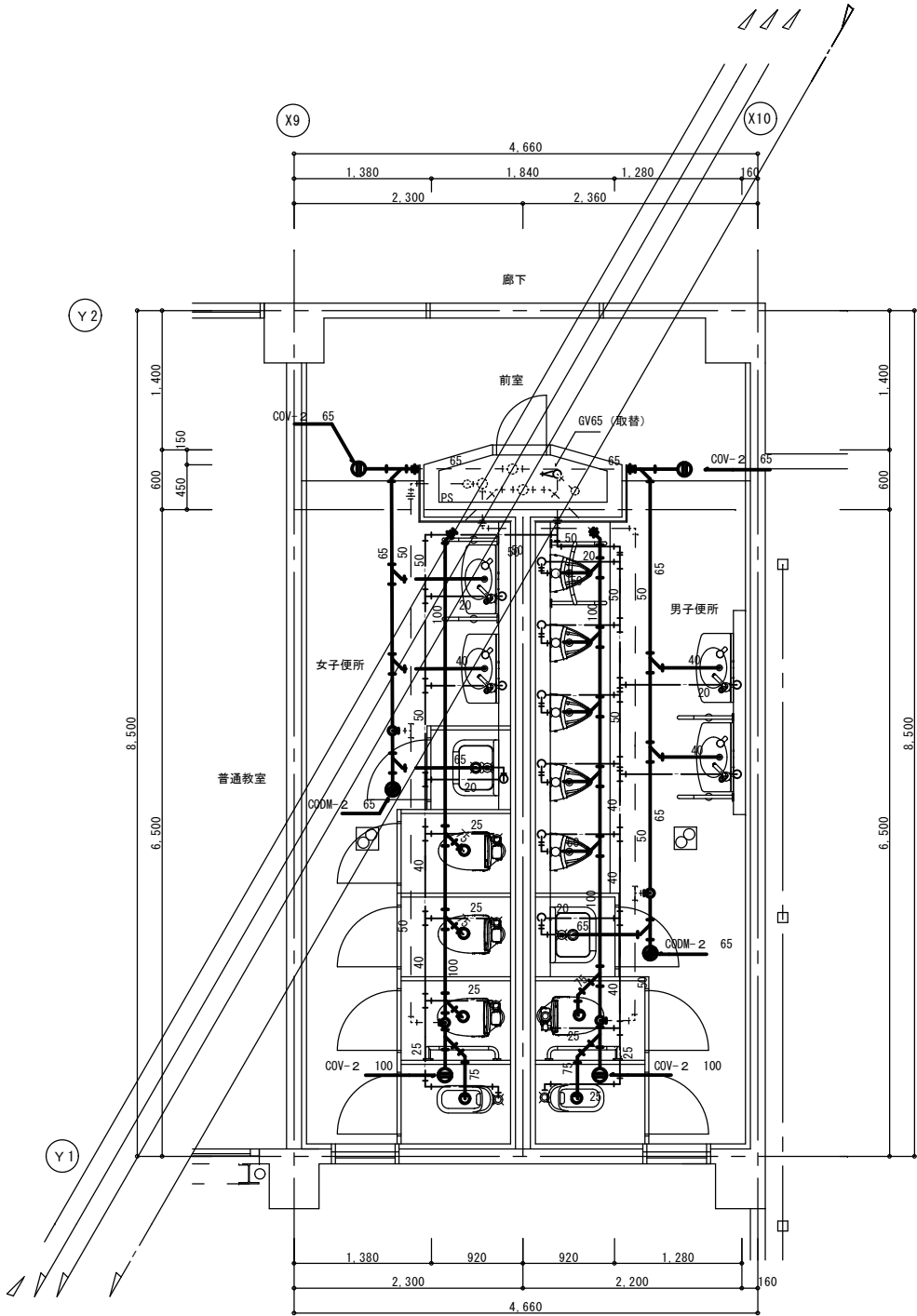
12棟 3階便所 (改修)				
名 称	品 番	備 考	数量	
洋風大便器	CS494MJ	新設	4	
和風大便器	C755VCU(FV)	〃	2	
自動洗浄小便器	UFS900R	〃	5	
洗面器	L270CM	〃	4	
化粧鏡	YM4560A	〃	4	
掃除流し	SK-22A	〃	2	
床上掃除口	COV-2 100	〃	2	
〃	COV-2 65	〃	2	
床掃葉ドレン	CODM-2 65	〃	2	
天井換気扇	VD23ZB12	〃	2	



改修平面詳細図(1階) S=1/50
12棟 1階 職員便所



改修平面詳細図(2階) S=1/50
12棟 2階 便所



改修平面詳細図(3階) S=1/50
12棟 3階 便所

日 誠 建 設 株 式 会 社

承認	照 合	製 図	縮 尺	工事名称	天理市井戸堂・柳本小学校 トイレ改修等工事	
			A2 1:50	設計年月日	天理市立柳本小学校	
				図面名称	12棟 1.2.3階便所 (竣工図)	No. M-07

改修配管材料	
給水管	H1VP：耐衝撃性硬質塩ビ管
汚水・雑排水管	VP：硬質塩化ビニル管
	TMP：耐火二層管
通気管	VP：硬質塩化ビニル管
	TMP：耐火二層管
排水管	H1VP：耐衝撃性硬質塩ビ管
— — —	既設配管との再接続部を示す
— — —	既設配管を示す
— — —	既設配管が「が」・「が」止り
	機械はつり補修（鉄筋探索の上）
	※他系統への配管は再接続とする。

6-1棟	1階便所（改修）			
名 称	品 番	備 考	数 量	
洋風大便器	CS494MJ	新設	3	
和風大便器	C755VCU（FV）	〃	2	
自動洗浄小便器	UFS900R	〃	3	
洗面器	L270CM	〃	4	
化粧鏡	YM4560A	〃	4	
掃除流し	SK-22A	〃	2	
床上掃除口	COV-2 65	〃	1	
床掃兼ドレン	CODM-2 75	〃	1	
床掃兼ドレン	CODM-2 65	〃	1	
換気扇	EX20SC3-S	〃	2	

※多目的便所内は工事範囲外（現状存置）とする。

6-1棟	2階便所（改修）			
名 称	品 番	備 考	数 量	
洋風大便器	CS494MJ	新設	5	
自動洗浄小便器	UFS900R	〃	3	
洗面器	L270CM	〃	4	
化粧鏡	YM4560A	〃	4	
掃除流し	SK-22A	〃	2	
床上掃除口	COV-2 100	〃	1	
〃	COV-2 75	〃	1	
〃	COV-2 65	〃	1	
床掃兼ドレン	CODM-2 75	〃	1	
床掃兼ドレン	CODM-2 65	〃	1	
換気扇	EX20SC3-S	〃	2	

※多目的便所内は工事範囲外（現状存置）とする。

6-1棟	3階便所（改修）			
名 称	品 番	備 考	数 量	
洋風大便器	CS494MJ	新設	5	
自動洗浄小便器	UFS900R	〃	3	
洗面器	L270CM	〃	4	
化粧鏡	YM4560A	〃	4	
掃除流し	SK-22A	〃	2	
床上掃除口	COV-2 100	〃	1	
〃	COV-2 75	〃	1	
〃	COV-2 65	〃	1	
床掃兼ドレン	CODM-2 75	〃	1	
床掃兼ドレン	CODM-2 65	〃	1	
換気扇	EX20SC3-S	〃	2	

※多目的便所内は工事範囲外（現状存置）とする。

